

会長のページ 日医との連携 - 代議員会報告 -	河野 雅行	3
日州医談 医療版事故調査委員会設置	濱田 政雄	4
控除対象外消費税について	立元 祐保	6
宮崎県医師会理事業務分担		8
各都市医師会役員等名簿		10
はまゆう随筆(その2)		12
松田 裕, 田尻 明彦, 藤本 孝一, 福田 健二, 小牧 文雄 帖佐 宣昭, 谷口 二郎, 原田 一道, 後藤 有人, 柳田喜美子		
エコー・リレー(468)	木原 康, 上山 貴子	24
宮崎大学医学部だより(機能制御学講座統合生理学分野)	高宮 考悟	26
専門分科医会だより(東洋医会)	川越 宏文	27
メディアの目 胆嚢始末記	森 耕一郎	28
診療メモ 出生前診断と遺伝カウンセリング	山口 昌俊	78

各都市医師会だより(宮崎市郡医師会, 都城市北諸県郡医師会)	20
あなたできますか?(平成 25 年度医師国家試験問題より)	25
薬事情報センターだより(327) 新薬紹介(その 71)	29
宮崎県感染症発生動向	30
第 15 回宮崎県医師会臨時代議員会(概要)	33
第 16 回宮崎県医師会定例代議員会(概要)	39
第 16 回宮崎県医師会臨時代議員会(概要)	43
平成 26 年度第 71 回宮崎県医師会総会	46
九州医師会連合会第 33 回常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議	50
九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会	52
九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議	53
日医インターネットニュースから	54
理事会日誌	57
県医の動き	64
みやざきメディカルトライアングル通信	65
会員の異動・変更報告	66
ドクターバンク情報	69
行事予定	73
ベストセラー	80
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	82
あとがき	94

お知らせ	カット, イラストの募集	7
	第 15 回宮崎県医師会医家芸術展	9
	クールビズについて	42
	第 16 回生命を見つめるフォトコンテスト作品募集	56
	日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	75
	平成 26 年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	77
	県医師会在宅医療協議会入会のご案内	91
	都市医師会への送付文書	92
ご案内	平成 26 年度宮崎県医師会医学会のご案内	32
	宮崎県医師会親善ゴルフ大会	80

医 師 の 心 得

- 1 . 私たちは、皆さまの
健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに
最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品 写真〕

盛夏

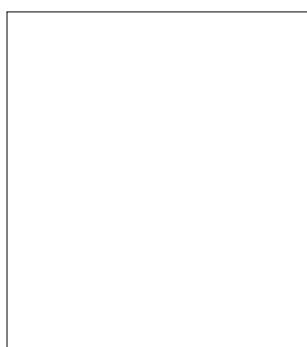
真夏の暑気は好きではありませんが、青い
山の上に発達した入道雲を眺めるのは夏の楽
しみの一つです。

特に霧島山周辺の峰雲は鮮明でついカメラ
を向けたくなります。

宮崎市 楠 元 正 輝

会長のページ

日医との連携 - 代議員会報告 -

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

6 月 28 日、29 日に日医代議員会が開催された。事業報告、決算、予算審議は問題なく了承され、次いで次期執行部の選挙があった。副会長以外の役員は会長以下、立候補者が定数内で挙手により信任、副会長は定数 3 に対して立候補 4 で選挙となった。落選したものの新人候補が 75/ 358 票を得た。新人候補の主張は、「医療を取り巻く様々な問題が山積している中、今の日医のあり方に危機感を抱いている。日医役員が大県医師会中心のため、地方の小県の意見が通り難い。現在のブロック選挙を見直すべし」というものであった。一方、チーム横倉側は、「医療を取り巻く問題が大きい程、更には、

より良い医療を求める日医の政策実現には、強い日医が必要であり、したがって、会長を中心として一致団結するためにキャビネット選挙が望ましい」との主張をした。確かに、選挙で組織のエネルギーを消耗し、頻回の会長交代により組織力の低下は覆うべくもないとの意見もある。双方共、日本医療の危機的現状は充分認識してそれぞれ理念を掲げており、日医に対する強い思いは同じと感じられたが、はたしてどちらに軍配を上げるべきであったか、単に蟻螂の斧と揶揄するに足る 75 票の意味するところは？皆様方のご判断は？

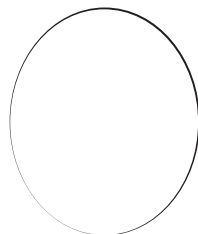
横倉会長は所信表明で、日医は、国民の安全・健康に資するか、公的皆保険が守れるか、の 2 点から国の施策を判断して対応すると語った。更に、日医の基本施策は、医師会を強くする、地域医療に貢献する、医療の将来を忖度する、の 3 点であると述べた。日医会長の挙げた上記事項は県医でも同様である。しかし、日医・県医が躍起になっても日本の医療は変わらない。偏に全会員の意思・参加に掛っており、目標に向かって常に皆で声を挙げ続ける必要がある。

次いで代表質問 8 題、個人質問 13 題が提出された。各質問は、昨今問題の重要事項ばかりで、数年間分を見れば医師会・医療の抱えている問題や日医の進む方向性がほぼ理解できる。例えば今回は消費税、在宅医療、日医生涯教育、医療関連政策と対応、日医活動と広報、医学部教育、新たな財政支援制度、会員認証、学校保健、予防接種、地域産保センター、医療事故調査制度、日医選挙、等々、多岐に渡るもので、それぞれに日医役員が回答した。代議員会は日医の重要な活動の場であり、全質問に対して真摯な回答であったが、定型的な模範解答の印象が強い。

それでも、以前に比べて日医が開かれた医師会に変貌した感はある。しかし、未だ会員にとって日医は敷居の高い存在であり、様々な場で理解を求める努力を要する。そのため、日医では代議員会を始めとして各種の会内会議の結果を日医ニュース等で積極的に情報を発信している。同様に県医でも知り得た情報は可及的早急に県医 F A X ニュース、その他で発信している。更に、情報伝達を兼ねて適時、研修会・講習会を開催している。会員諸氏におかれてはそれらの情報を有効に活用していただき、医師会活動への更なるご協力をお願いしたい。

(平成 26 年 7 月 25 日)

日州医談



医療版事故調査委員会設置

副会長 はま濱 だ田 まさ政 お雄

1999年横浜市立大学附属病院の患者取り違え事件・都立広尾病院入院患者死亡事件以降、「医療事故」がメディアで多く取り上げられ、「医療不信」に基づく医療訴訟の増加・訴訟額の高騰を背景に医療現場で、特に産科・救急医の減少をもたらした。「医療崩壊」が叫ばれたが、福島大野病院事件が「標準的医療は無罪」との判決を受けた結果、医療を巡る世間の動向は大きく揺れ動いたように思える。

医療事故の調査やその補償制度のありかたを巡っての厚生労働省内での検討会を通して、平成 19 年の第 3 次試案および平成 20 年の「医療安全調査委員会設置法案(仮称 大綱案)」が提示され、事故調査委員会からの調査結果を尊重し、捜査機関の刑事手続の対象は故意や重大な過失のある事例その他悪質な事例に事実上限定されるなど警察は謙抑的に対応するとした。大綱案は「医師法第 2 条の拡大解釈がもたらした医療現場の混乱と、医療提供者の不当な処遇及びそのために社会が被る不利益を改善する対策の第一歩」と位置付けられたが、「標準的な医療から著しく逸脱した医療に起因する死亡又は死産の疑いがある場合」には医療安全調査委員会から警察へ通知するとした点に問題があり、多忙や過労によるヒューマンミスである単純ミス事例が「標準的な医療から著しく逸脱した医療」から除外されず、刑事事件化する可能性があったことで法案化まで至らなかった。例えば「標準的な医療から著しく逸脱し、種々な背景因子を考慮しても許

容できない悪質な医療に起因する死亡又は死産の疑いがある場合」などに変更する必要があった。民主党への政権交代以降は宙に浮いた状態となった。

厚生労働省は医療安全推進総合対策の考え方に、医療の質の向上という視点から医療安全の柱として、1「医療の質と安全性の向上」、2「医療事故等事例の原因究明・分析に基づく再発防止対策の徹底」、3「患者・国民との情報共有と患者・国民の主体的参加の促進」を掲げ、現在の様々な施策の基本としている。今回国会承認された院内事故調査委員会・第三者委員会設置法案もその考え方に沿っている。

日本医師会では、第 2 条問題を含めて医療事故発生時の対応を検討し、平成 23 年 6 月に「医療事故調査制度の創設に向けた基本的提言について」を提唱し、提言に対する多くのアンケート調査結果をもとに「診療に関連した予期しない死亡の調査機関設立」を提示した。今回平成 26 年 6 月 18 日介護法改正法案とまとめて「医療版事故調査委員会設置」法案が成立したが、厚生労働省案では、医療での予期せぬ死亡事故などの際に「院内事故調査委員会」を設置して原因検索に当たるとしている。今回の厚生労働省案は、日医の提唱する多くの意見が反映されてはいるがいくつかの問題点があり、取りあえず来年の 10 月に「医療事故調査制度」を設置するという制度の概要が決まっただけである。事故調査委員会の組織や権

限などの細部については今後法案が作成される過程で明らかとなり、問題点を解消していく必要がある。

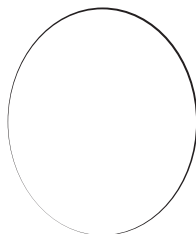
法案では、国内 18万のすべての病院や診療所は、第三者の立場で原因を調べる民間の事故調査機関(事故調)に死亡事故を届け出ることとしている。医療機関は、診療行為に関連した死亡事例が発生した場合、先ず遺族に十分な説明を行い、事故調に届け出るとともに、速やかに院内事故調査委員会を設置し、第三者性の観点から外部の医療専門家の支援を受け、必要に応じてその他の分野の外部支援を求めるとしている。外部支援を円滑・迅速に受けることが出来るように都道府県医師会・大学等を「支援法人・団体」として予め登録する仕組みを設けるとしている。また、民間の事故調査機関への届出としたことにより、国若しくは都道府県設置の事故調への報告で懸念される医師個人の行政処分それにつながる刑事告発の危惧を無くし、事故原因調査に必要な情報が提供されることで精度の高い院内調査報告が期待でき、真の原因究明・再発防止目的の医療版事故調となり得るとしている。その上で、院内調査と結果の報告を義務付け、遺族が調査結果に納得がいけない場合は事故調が直接調べることも可能としている。

今回、院内事故調査委員会での調査に重点を置き、事故調は院内調査への助言、調査報告書の検証・分析などを担い、調査の目的も「再発の防止」と「医療の質の向上」とされ、責任追及が目

的ではないとした。「事故調から警察への通知」について厚労省案は通知しないこととしており、「異状死」に該当するような不審なケースは従来通り医師法に基づいて事故を起こした医療機関が警察に届け出るとした。

事故調が実施する調査は、医療事故の原因究明および再発防止を図るものであるとともに、遺族または医療機関からの申請に基づき行うものであることからその費用については、学会・医療関係団体からの負担金や国からの補助金に加え、調査を申請したもの(遺族や医療機関)からも負担を求めるものの、制度の趣旨を踏まえ、申請を妨げることとならないよう十分に配慮しつつ、負担の在り方について検討することとした。また、院内事故調査委員会設置に際して「原則として外部の医療専門家の支援を受ける」とこととしているが、本当に患者サイドが納得できる調査として委員会報告が訴訟に使われることがないのか、また、医師個人の責任追及に走らないのか。公正な調査を担う人材をどのように確保するかも含め課題は多い。特に宮崎県のように1県1医科大学の県においては、第三者性を担保する人材も少なく身内による調査となりかねず、遺族が調査報告書をもとに訴訟に動くことも否定できない。第三者性の確保のためにも九州ブロック内での人材交流も視野に入れて、院内事故調査委員会設置ガイドライン作成が必要となると思われる。

日州医談



控除対象外消費税について

常任理事 たつもとすけやす
立元祐保

今年 4 月から消費税は 5 % から 8 % に上がった。来年 10 月には 10 % に増税予定である。その際、社会保険診療報酬にかかる消費税はどのようなのか？ 控除対象外消費税は解消されるのか？

日本医師会は、「現行の消費税の非課税制度を、仕入れ税額控除が可能な課税制度に改めること。その際、患者負担・国民負担・保険者負担を増やさない制度に改善すること」を要望し、控除対象外消費税問題の解決に取り組んできた。

これまでの対応

控除対象外消費税に関するこれまでの対応としては、5 % 時点で合計 1.53% 上乗せ(平成元年に 0.76%, 平成 9 年に 0.77%)されている。ところが、実際に医療機関が支払っている消費税は 2.27%(医薬品・材料にかかる消費税 1.22%, 設備投資等その他にかかる消費税 1.05%)であり、差引 0.74% の控除対象外消費税が生じていることになる(0.62% とする計算もある)。

今回(平成 26 年 4 月)は新たな補てん不足が生じないよう、薬・材料 = $25.7\% \times (3/105) = 0.73\%$, 原価償却・その他 $22.7\% \times (3/105) = 0.63\%$, 合計 1.36% が加算されほぼ全額基本診療料に上乗せされた。一方、設備投資にかかる消費税への対応は今後の課題とされた。

10% 時の方針

控除対象外消費税については、これまで医療機関は企業努力で何とか乗りきってきた。しか

し、税率 10% となるともはや企業努力の限界を超え、倒産や撤退、縮小が続出し、国民医療・地域医療に大きな影響をもたらすと考えられる。医療者はじめ支払機関、厚労省や政治家、いずれもこの控除対象外消費税の問題を何とかしなければならぬという認識は共通している。しかし改善の方法となると、多くの関係団体から様々な意見があり集約できていない。

そんな中で、現在、日医が考えているスキームは表のとおり、課税制度への転換、非課税制度のまま還付を受ける方法である。

課税制度の問題点

当初、日医は課税制度への転換を考えていた。これは「課税化しなければ仕入れ税額の控除あるいは還付が不可能」との意見があったからと聞いている。

しかし、この懸念が薄れてきた一方で課税化する場合の問題点も顕わになった。

これまでの消費税非課税の大きな根拠は、医療の公共性・非営利性にある。もし、医師会自ら課税化を要求すればそれは公共性・非営利性の否定と考える政治家もいる。そのため、現在特例措置により免除されている事業税(注 1)を課税化してくるかもしれない。その額は控除対象外消費税より大きくなると試算されている。

また、課税化の上、還付を受けるとなれば請求書などに適用税率・税額の記載を義務付けた書類(インボイス)が必要となり、事務負担や

税理士に支払う費用等の負担も大きくなる。「そのような事務処理が可能なら」と4段階制(注2)の見直しに議論が及ぶかもしれない。このように、課税化した場合の問題点も浮き彫りになってきた。

日本歯科医師会は「非課税申告還付が望ましい」との方針であり、逆にいくつかの病院団体は「原則課税」のスタンスである。このように、医療関係団体の中でも方針は様々であり、意見はまとまっていない。日医はこのような団体と話し合いを重ねる一方、厚労省・自民党厚生労働部会・自民党税制調査会など様々なところに働きかけこの問題の解決に取り組んでいる。

(注1) 事業税の非課税の特例措置；医療の公共性・非営利性にかんがみこの特例措置がある。事業税は地方税であり総務省の管轄である。この数年、地方の税収アップ

のために特例措置の廃止が全国知事会や県議会議長会等で議論され、日医は存続のロビー活動を行っている。

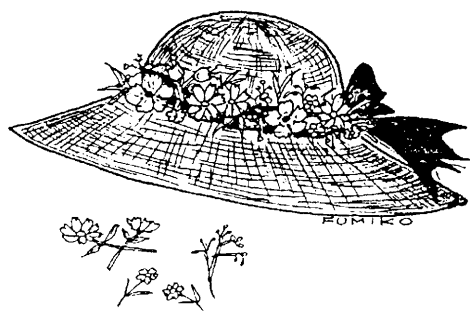
(注2) 診療報酬の所得計算の特例；社会保険診療報酬収入が5,000万円以下の小規模診療所では、その事務負担軽減のため、診療報酬の所得計算の特例(いわゆる4段階制)が認められている。

表 控除対象外消費税問題の解決策(日医要望)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 課税制度への転換 |
| a 軽減税率 |
| b ゼロ税率 |
| 2. 非課税のまま(税制のほかに予算による還付もあるが要望しない) |
| a 全額還付 |
| b 一部還付 |

お知らせ

カット、イラストの募集



日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。是非、作品をお寄せください。
なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。

原稿宛先

宮崎県医師会広報委員会
〒880-0023
宮崎市和知川原1丁目101
genko@m-iyazakim-ed.or.jp

宮 崎 県 医 師 会 理 事 業 務 分 担

(平成 26 年 6 月 21 日 ~ 平成 28 年 6 月の定例代議員会終結時まで)

(平成 26 年 7 月 1 日現在)

総 会 地 域 医 療 介 護 保 険 在 宅 医 療 学 校 保 健 予 防 接 種 富田副会長 情 報 シ ス テ ム 救 急 医 療 勤 務 医 医 師 確 保 対 策 女 性 医 師 医 療 関 係 者 対 策 (看護学校) (医療従事者) 治 験 (センター長) 税 制 河野会長 日 医 年 金	務 計 療 険 療 健 種 報 ム 療 医 策 策 験 制 金	立元常任理事・小牧常任理事
		吉田常任理事
		池井常任理事・立元常任理事・吉田常任理事
		牛谷常任理事・金丸常任理事・佐々木(幸)常任理事
		峰松理事・米澤理事・内村理事・富田副会長
		金丸常任理事・立元常任理事・牛谷常任理事
		米澤理事
		牛谷常任理事・立元常任理事・池井常任理事
		佐藤理事
		高村常任理事・佐々木(究)理事・佐藤理事・系数理事
		高村常任理事・峰松理事
		荒木常任理事・佐々木(究)理事
		吉田常任理事・荒木常任理事・系数理事
		小牧常任理事・池井常任理事・佐々木(幸)常任理事
		岩村理事・米澤理事
濱田副会長 上田理事・岩村理事・米澤理事 金丸常任理事・荒木常任理事・池井常任理事 荒木常任理事・金丸常任理事・系数理事 佐藤理事・内村理事 内村理事・牛谷常任理事・佐藤理事 荒木常任理事・佐々木(幸)常任理事・富田副会長 小牧常任理事 立元常任理事 立元常任理事・佐々木(究)理事 濱田副会長・富田副会長・立元常任理事 吉田常任理事・小牧常任理事・金丸常任理事 佐々木(幸)常任理事・上田理事・川野理事・佐藤理事 佐々木(究)理事・岩村理事・内村理事 小牧常任理事・上田理事・鮫島理事 小牧常任理事・鮫島理事・岩村理事 高村常任理事・吉田常任理事・峰松理事 佐々木(幸)常任理事・川野理事・佐藤理事・内村理事 佐々木(幸)常任理事・系数理事 金丸常任理事・佐藤理事・内村理事 川野理事・佐々木理事 川野理事・佐藤理事 佐藤理事・川野理事 金丸常任理事・牛谷常任理事・岩村理事 吉田常任理事・佐々木(幸)常任理事・高村常任理事 濱田副会長・鮫島理事・系数理事 高村常任理事・峰松理事 立元常任理事・金丸常任理事 濱田副会長・小牧常任理事・他 4 役 小牧常任理事・濱田副会長・他 4 役 立元常任理事	上田理事・岩村理事・米澤理事 金丸常任理事・荒木常任理事・池井常任理事 荒木常任理事・金丸常任理事・系数理事 佐藤理事・内村理事 内村理事・牛谷常任理事・佐藤理事 荒木常任理事・佐々木(幸)常任理事・富田副会長 小牧常任理事 立元常任理事 立元常任理事・佐々木(究)理事 濱田副会長・富田副会長・立元常任理事 吉田常任理事・小牧常任理事・金丸常任理事 佐々木(幸)常任理事・上田理事・川野理事・佐藤理事 佐々木(究)理事・岩村理事・内村理事 小牧常任理事・上田理事・鮫島理事 小牧常任理事・鮫島理事・岩村理事 高村常任理事・吉田常任理事・峰松理事 佐々木(幸)常任理事・川野理事・佐藤理事・内村理事 佐々木(幸)常任理事・系数理事 金丸常任理事・佐藤理事・内村理事 川野理事・佐々木理事 川野理事・佐藤理事 佐藤理事・川野理事 金丸常任理事・牛谷常任理事・岩村理事 吉田常任理事・佐々木(幸)常任理事・高村常任理事 濱田副会長・鮫島理事・系数理事 高村常任理事・峰松理事 立元常任理事・金丸常任理事 濱田副会長・小牧常任理事・他 4 役 小牧常任理事・濱田副会長・他 4 役 立元常任理事	立元常任理事・小牧常任理事
		吉田常任理事
		池井常任理事・立元常任理事・吉田常任理事
		牛谷常任理事・金丸常任理事・佐々木(幸)常任理事
		峰松理事・米澤理事・内村理事・富田副会長
		金丸常任理事・立元常任理事・牛谷常任理事
		米澤理事
		牛谷常任理事・立元常任理事・池井常任理事
		佐藤理事
		高村常任理事・佐々木(究)理事・佐藤理事・系数理事
		高村常任理事・峰松理事
		荒木常任理事・佐々木(究)理事
		吉田常任理事・荒木常任理事・系数理事
		小牧常任理事・池井常任理事・佐々木(幸)常任理事
		岩村理事・米澤理事
		上田理事・岩村理事・米澤理事
		金丸常任理事・荒木常任理事・池井常任理事
		荒木常任理事・金丸常任理事・系数理事
		佐藤理事・内村理事
		内村理事・牛谷常任理事・佐藤理事
		荒木常任理事・佐々木(幸)常任理事・富田副会長
		小牧常任理事
		立元常任理事
		立元常任理事・佐々木(究)理事
		濱田副会長・富田副会長・立元常任理事
		吉田常任理事・小牧常任理事・金丸常任理事
		佐々木(幸)常任理事・上田理事・川野理事・佐藤理事
		佐々木(究)理事・岩村理事・内村理事
		小牧常任理事・上田理事・鮫島理事
		小牧常任理事・鮫島理事・岩村理事
		高村常任理事・吉田常任理事・峰松理事
		佐々木(幸)常任理事・川野理事・佐藤理事・内村理事
		佐々木(幸)常任理事・系数理事
		金丸常任理事・佐藤理事・内村理事
		川野理事・佐々木理事
		川野理事・佐藤理事
		佐藤理事・川野理事
		金丸常任理事・牛谷常任理事・岩村理事
		吉田常任理事・佐々木(幸)常任理事・高村常任理事
		濱田副会長・鮫島理事・系数理事
		高村常任理事・峰松理事
		立元常任理事・金丸常任理事
		濱田副会長・小牧常任理事・他 4 役
		小牧常任理事・濱田副会長・他 4 役
		立元常任理事

宮崎県医師会役員等名簿は 7 月号に掲載しました。

お知らせ

第 15回宮崎県医師会医家芸術展

「優秀な作品を一堂に展示し、作品を通じて交流を図ると共に、創作する喜びや鑑賞する楽しさを味わえる開かれた芸術展」を目標に、平成 12年から始まった宮崎県医師会医家芸術展も、本年で第 15回を開催する運びとなりました。今回は 50名の皆様から 126点のご応募をいただきました(8 月 1 日現在)。

昨年は、2,416名の皆様にご来場いただき、ご好評いただいております。

今年は下記の日程で開催いたしますので、多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

展示期間：平成 26年 8 月 12日(火)～ 17日(日) (6 日間) 10: 00～ 18: 00
(但し、17日(日)は 10: 00～ 15: 00まで)

場 所：宮崎県立美術館 2 F 県民ギャラリー 1・2
(宮崎市船塚 3 -210 県総合文化公園内)

部 門：絵画、写真、書道

出 展 者：宮崎県医師会員とその家族(高校生以上)

問合せ先：宮崎県医師会 学術広報課 ☎ 0985-22-5118

絵 画 部 門

新 木 る い(日南市)	安 藤 宣(西都市)	石 川 万佐子(宮崎市)
江 藤 貴美子(宮崎市)	大 森 紹 玄(高鍋町)	沖 田 悦 子(宮崎市)
押 川 千賀子(宮崎市)	黒 川 基 樹(宮崎市)	酒 井 美絵子(都城市)
瀬戸口 敏 明(都城市)	竹 村 龍之助(宮崎市)	谷 口 飛 鳥(宮崎市)
谷 口 二 郎(宮崎市)	戸 田 淳 子(宮崎市)	中 島 知 徳(宮崎市)
長 沼 恭 子(延岡市)	長 沼 弘三郎(延岡市)	藤 木 洸(宮崎市)
政 所 治 道(都城市)	丸 田 眞 美(西都市)	山 内 旻(宮崎市)
吉 山 絢 子(都城市)		

写 真 部 門

井ノ口 信 子(宮崎市)	押 川 紘一郎(宮崎市)	木佐貫 冬 星(宮崎市)
楠 元 正 輝(宮崎市)	桑 原 淑 子(小林市)	酒 井 桂 子(都城市)
佐 藤 秀 子(高千穂町)	竹 尾 康 男(宮崎市)	田 崎 高 伸(宮崎市)
田 尻 明 彦(宮崎市)	田 中 宏 幸(宮崎市)	田 中 みどり(国富町)
谷 口 二 郎(宮崎市)	西 村 篤 乃(宮崎市)	原 政 樹(国富町)
日 高 利 昭(延岡市)	藤 浦 富 子(日南市)	藤 木 美津子(宮崎市)
丸 田 茂 徳(都城市)	丸 田 英 夫(西都市)	康 田 明 照(日向市)

書 道 部 門

岡 村 公 子(延岡市)	尾 上 孝 子(宮崎市)	篠 原 由紀子(宮崎市)
日 高 芳 則(日向市)	松 本 京 子(宮崎市)	山 内 旻(宮崎市)
弓 削 和 子(宮崎市)	吉 山 登志子(都城市)	吉 山 政 敏(都城市)

(敬称略・各部門 50音順・平成 26年 8 月 1 日現在)

各 郡 市 医 師 会 役 員 等 名 簿

紙面の都合により、会長、副会長、理事、監事、議長、副議長のみ掲載します。

宮 崎 市 郡 医 師 会

(平成 26 年 6 月 28 日定時総会終結時～ 平成 28 年 6 月定時総会終結時)	総務理事	長 倉 穂 積	理 事	金 井 一 男
	理 事	檜 原 進 一 郎	"	榎 本 雄 介
会 長	"	山 路 健	監 事	藤 本 孝 一
	"	木 村 健	"	佐 藤 靖 美
副 会 長	"	野 田 俊 一	"	岡 村 公 子
	"	吉 松 正 明	議 長	木 下 義 美
"	"	宇 宿 修 隆	副 議 長	川 名 修 徳
理 事	"	山 下 兼 一		
	"	久保田 秀 紀		
"	"	釘 宮 博 志		
"	"	政 所 治 道		
"	"	鵜 木 俊 秀		
"	"	瀬ノ口 洋 史	会 長	渡 邊 康 久
"	監 事	大 窪 利 隆	副 会 長	青 柳 淳 太 郎
"	"	坂 元 一 久	"	古 賀 正 広
"	"	田 口 利 文	理 事	和 田 徹 也
"	議 長	仮 屋 純 人	"	三 股 俊 夫
"	副 議 長	濱 田 義 臣	"	金 丸 吉 昌
監 事			"	千代反田 晋
	"		"	尾 崎 峯 生
"			"	今給黎 承
議 長			"	鮫 島 貴
副 議 長			"	長 田 浩 伸
			"	松 岡 敬 子
			監 事	白 石 正 浩
			"	椎 葉 睦 生
			議 長	大久保 史 明
			副 議 長	瀧 井 修

日向市東臼杵郡医師会

(平成 26 年 6 月 14 日定時総会終結後～
平成 28 年定時総会終結時)

延 岡 市 医 師 会

(平成 26 年定時総会終結時～
平成 28 年定時総会終結時)

会 長	吉 田 建 世
副 会 長	佐 藤 信 博
"	平 野 雅 弘
理 事	日 高 孝 紀
"	赤 須 郁 太 郎
"	溝 口 直 樹
"	宮 本 義 明
"	山 口 哲 朗
"	高 橋 博 和
"	今 田 真 一

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

(平成 26 年 5 月 28 日定時社員総会終結後～
平成 28 年 5 月定時社員総会終結時)

会 長	飯 田 正 幸
副 会 長	佐 々 木 幸 二
"	重 平 正 文
"	田 中 穰 式

児 湯 医 師 会

(平成 26年 6月 24日定時総会終結後～
平成 28年 6 月定時総会終結時)

会 長 永 友 和 之
副 会 長 蟻 塚 高 生
理 事 大 森 史 彦
" 黒 木 宗 俊
" 坂 田 師 隣
" 米 澤 勤
" 高 山 修 二
" 永 田 昌 彦
" 北 村 洋
" 喜 多 保 一 郎
" 内 田 俊 浩
" 永 友 淳 司
" 山 口 政 一 朗
" 野 津 手 大 輔
監 事 鶴 敬 雄
" 崎 濱 國 治
議 長 茂 木 晃
副 議 長 高 橋 政 見

西都市西児湯医師会

(平成 26年 6月 26日定時総会終結後～
平成 28年 6 月定時総会終結時)

会 長 岩 見 晶 臣
副 会 長 松 本 英 裕
理 事 上 山 裕 史
" 大 塚 康 二 朗
" 黒 木 重 晶
" 杉 尾 克 徳
" 鶴 田 明 土
" 水 田 能 久
監 事 相 澤 潔
" 大 塚 直 純

議 長 児 玉 健 二
副 議 長 上 野 尚 美

南 那 珂 医 師 会

(平成 26年 6月 6日定例総会終結後～
平成 28年 6 月定例総会終結時)

会 長 島 田 雅 弘
副 会 長 中 村 彰 伸
" 川 越 勝 秀
理 事 内 村 利 博
" 黒 木 和 男
" 竹 中 晃 司
" 新 名 洋 美
" 河 野 秀 一
" 江 良 幸 三
" 峰 松 俊 夫
" 山 見 信 夫
" 木 佐 貫 篤
" 川 西 昭 人
監 事 長 鶴 和 美
" 満 留 武 宣
議 長 津 曲 俊 郎
副 議 長 河 野 清 秀

理 事 坪 内 斉 志
" 杉 原 純 次
" 丸 山 賢 幸
" 井 尻 裕 司
" 河 内 謙 介
監 事 吉 永 一 春
" 丹 光 明
議 長 志 戸 本 宗 徳
副 議 長 榎 健 一 郎

西 臼 杵 郡 医 師 会

(平成 26年 6月 1日定例総会終結後～
平成 28年 5 月 31日定例総会終結時)

会 長 佐 藤 元 二 郎
副 会 長 植 松 昌 俊
理 事 箕 田 誠 司
" 白 石 達 史
" 田 上 恒 雄
監 事 後 藤 幸 一
" 田 崎 清 廣
議 長 古 賀 志 朗

宮崎大学医学部医師会

(平成 26年 7月 1日～
平成 28年 6 月 30日)

会 長 吉 原 博 幸
副 会 長 中 里 雅 光
理 事 鮫 島 浩
" 荒 木 早 苗
" 直 井 信 久
" 布 井 博 幸
" 東 野 哲 也
監 事 帖 佐 悦 男
" 竹 島 秀 雄

西 諸 医 師 会

(平成 26年 6月 13日第 3 回定時総会終結後～
平成 28年 6 月第 5 回定時総会終結時)

会 長 高 崎 直 哉
副 会 長 内 村 大 介
" 矢 野 裕 士
理 事 花 田 武 浩
" 莫 根 隆 一
" 池 井 義 彦
" 立 山 洋 司

はまゆう随筆

その 2

(7 , 8 , 9 月号に分けて掲載いたします)

障がい者が安心して 地域で暮らせるように

宮崎市 宮崎県
精神保健福祉センター まつ だ ゆたか
松 田 裕

私の父の話で、大変恐縮です。すでに 20 年前に他界していますが、盲学校(現在は視覚支援学校)で教師をしていました。その関係もあり、私は物心ついた頃から、視覚障がい者の方々と接する機会も多く、毎年のように盲学校の文化祭や運動会に参加しました。参加というか遊んでもらっていた感じでしょうか。父自身も視覚障がい者(全盲)で、出かける時は父の手を握って一緒に歩きました。しかし、一緒に歩いた方が、父は電信柱や看板とか色んな物にぶつかって怪我するんですね。自分が幼かったからでしょうが、相手の視点で歩くことの大切さを自然と学ばせてもらっていたように思います。

寡黙な父親でしたが、今でも印象に残っている話が 2 つあります。公共トイレの洗浄ボタンの場所が分かりにくくなってきたこと、紙幣の金種を識別するためのくぼみが出来ることを楽しみにしていたが、実際の紙幣を触り「これぐらいでは分からない」と悲しそうに話していたことです。障がい者にとっては、効率化、合理化されていく物や社会が逆に使い勝手の悪い結果になり得ること、日常生活で何気なく簡単に行っていることに対して、困難さを抱えていることが良く分かります。

精神障がい者を取り巻く環境も大きく変わりとつあります。地域移行、地域定着に向けた精神保健福祉法等の種々の法律の改正が行われました。私が手を引かない方が父の怪我が少なかったように、出来る所を中心に自立を促しながらも、相手の立場に立ってニーズに合わせながら支援することが重要だと考えます。そのためには我々が当事者、家族や支援者と本音で話し、相手の立場を理解していくこと。障がい者の方が安心して地域で生活するためには必要なことではないでしょうか。

カット

趣味

宮崎市 たじり皮膚科医院 た じり あき ひこ
田 尻 明 彦

中学 2 年の時に「大いなる男たち」という映画を観た。ジョン・ウェイン主演の西部劇である。南北戦争直後の西部を舞台に、元北軍と元南軍の兵士がくりひろげる男と男のドラマで、その友情に目頭が熱くなった。映画ってなんて面白いのだろう。以後多数の映画を観てきたが、ジョン・フォードの西部劇、ヒッチコックのサスペンス映画、フランソワ・トリュフォーの恋愛映

画、ビリー・ワイルダーの人情喜劇、黒澤明の時代劇などの作品群は、今でも私の宝物である。

その宝物を所持したいというのは自然な願望だろう。70年代はテレビで放送された作品をビデオに録画した。80年代になってレーザーディスクが出現し、当時7,800円するソフトを買い漁った。90年代になるとDVDが出てきたが、画質がいいのでレーザーディスクをDVDに買い替えて、レーザーディスクは全て廃棄処分した。2000年代になってブルーレイが出現したが、DVDの6倍の高画質である。今度はDVDをブルーレイに買い替えなければならない。テレビも高画質になったので、現在はWOWOWとケーブルテレビのハイビジョン画質のものをブルーレイに録画している。録画すればそのままにしてお

くわけにはいかず、ネットでその映画のラベルを見つけてディスクに印刷している。さらにジャケットまで印刷して棚に並べるのである。油断をするとハードディスクが一杯になるので次々に録画しなければならないが、毎日のようにテレビの前に座って作業をしている。

「趣味は何ですか？」と聞かれたら、以前は即座に「映画鑑賞」と答えていたが、最近は録画が忙しくて映画を観る暇がない。そこで最近「趣味はテレビの録画」と答えるようにしている。6月からはハイビジョンの4倍の画質である4Kの試験放送がケーブルテレビで始まる。将来はブルーレイを4Kに変えることになるのだろう。より高画質になるのは嬉しいことだが、何とも複雑な心境である。

同級生急死す

延岡市 藤本内科小児科医院 藤本孝一

医学部の同級生と久々に急病医となりしばらく話す

医学部の同級生が急死せり会ひばかりに思ひもよらず

旧友の入院したりあまつさへ医院閉つとぞ身に沁みて聞く

お互に先に逝くのはわれなりと卒中病みたりわれら夫婦は

川水を五右衛門風呂に汲みたるは少年の日のわれの日課ぞ

医師は製薬会社の セールスマンになっていないか

宮崎市 ふくだ整形外科 ふく だ けん じ
福田 健 二

最近、医療のどの分野でも新薬ラッシュである。私の知る限りでも、関節リウマチ、骨粗鬆症、高血圧、糖尿病の治療薬が次々に発売され、どれを使っていいのか迷う程である。それに伴って製薬会社主導の研究会やセミナーが頻繁に開催されている。Web セミナーと称してインターネット経由でも薬の宣伝がされている。どの宣伝も「他社の製品と比べてここが優れている」とか「従来品と比べてここが優れている」とか当然の事ながらいい事しか言わない。スライドでもっともらしい統計データを出されたり、大規模試験と称して何やら高尚な試験名を出されたり、ある分野で影響力のある大学教授や先生が講演の中である薬を推奨したりすると、そのデータソースを疑う事なく、そうなのかなと納得してしまう。しかしながら、某外資系製薬会社の高血圧治療薬のデータ改竄事件、白血病治療薬の副作用調査の臨床研究に同社社員が関与した問題等が公になり、図らずもこれらの臨床試験があまりあてにならない事が露呈した。これは、この会社だけの特異な事件であって、製薬会社全体に蔓延する体質ではないと言い切れるだろうか。以前は接待や販促品の提供等で医師に取り入って薬を処方してもらう事もあった。しかし、昨今は製薬会社の自主規制で接待も禁止されており、薬を売るカギは、医師をどれだけ納得させ、その薬を処方して貰うかにかかっている。その中で、我々医師は知らず知らずの内に製薬会社主導の研究結果に洗脳され、洗脳とま

では言わないが、少なくとも何らかの誇大広告が無意識の内に刷り込まれているのではないか。そういう事を考えながら講演を聞き、最後は医師自身が、単なる製薬会社のセールスマンに成り下がらない様に自らが考え判断して薬を選ばなければならないと思う。大学院時代に指導教官から論文は常に批判と疑いの目を持って読めと言われた事を今しみじみと思い出している。

尾鈴のアケボノツツジ

三股町 一心外科医院 こ まき ふみ お
小 牧 文 雄

東九州自動車道が延岡まで伸びたのを期に諸塚山にアケボノツツジというものを見に行こうと思っていたら、つい先頃夫婦で日本百名山を制覇されたばかりの S 氏が外来に来られた。氏は「アケボノツツジなら諸塚まで行かんでも尾鈴も素晴らしいですよ」と言われたので、あっさり百名山の重みに負けて予定を変更して尾鈴山に行くことにした。4 月末頃が見頃らしいが花は行ってみなくてはわからない。朝、夜明けとともに家を出て、途中のコンビニで水、食糧を買い、高速で都農まで行きあとは登山口までひた走る。途中の名貫川沿いの崖下の道は車の離合ができず、対向車がきたら離合できるところまでどちらかがバックすることになる。この日は尾鈴の山開きの日で、駐車場には既に 20 台くらいの車が止まっていたがここは素通りして、車を登山口近くまで進める。一部未舗装のところどころ水が出た処もあるが構わずどんどん行く

と三叉路が現れ、その先が登山口である。道路脇に車を駐車して登山準備をする。他に誰もいない。谷川の音だけが聞こえる。

最初はゆっくりやがて黙々と登山道をたどり高度を上げていく。汗がしたたり落ちる。2時間近く登り山頂まであと一息というところで小休憩しつつ周囲を見渡すと、木々の間から薄紫の花をつけた一本の木が目に入った。一瞬アケボノかと喜んだが近寄ってみればこれはミツバツツジだった。やがて山頂、まだ午前9時だから私の他に誰もいるわけもなくセルフタイマーで一人記念撮影してすぐ出発。実は尾鈴山頂を過ぎてしばらく行くと長崎尾という変わった名前のもう一つの峰がありそこに至る山道がアケボノツツジの群生地であることをS氏から聞いていたので先を急いでいた。アケボノツツジは1,000m以上の高山でしか花を咲かせない。やがて登山道のあちこちに鮮やかなピンクの花を付けた高さ5～6mの木々が現れ始め、思わず足を止め見上げた。先ほどのミツバとは似ても似つかないやや大ぶりの丸みを帯びたピンクの花を空いっぱい咲かせている。枯れ木のような枝先に微笑むように咲いた花。何という優しい花の木なのだろう。植込みの低いツツジしか見たことのない私には頭上に花を咲かせたこの木が目的とするアケボノツツジだとすぐには分からなかった。柔らかなピンクのレースでできたような花、青空を背に風に揺れる花々はあたかも木の枝先に止まった蝶の群れのように見える。桃源郷に踏み込んだような美しい姿についてカメラのシャッターを切りまくればし時間忘れていた。ひと気のない高山に咲くその美しい姿を独り占めしたような感激で、来てよかったと思えた尾鈴であった。

これから

宮崎市 古賀総合病院 ^{ちよう}帖 ^さ佐 ^{のぶ}宣 ^{あき}昭

最近、「～40周年」という文字がよく私の目に止まる。戦後から日本が復興し、発展し、人口が増え、“Japan as Number One”へ向け活気にあふれ、その頃にいろいろな団体や学校などが創設されたのだろうか、と愚考する。現在の日本の発展にこれまで力を尽くされてこれた先人達の血のにじむ努力には、尊敬と感謝しかない。

私達の世代は「第2次ベビーブーム」と言われ、本来「第3次ベビーブーム」形成に寄与する世代であったと思われるが、そうはならなかった。

新聞などをみていると、世界では各地で絶えることのない紛争、犠牲になる多くの子供達。爆発的な人口増加とそれに伴う食料、エネルギー枯渇問題と争奪戦。地球温暖化の進行。餓死する多くの子供達。異常なまでの経済至上主義…。一方、日本では超高齢化、労働人口減少、総人口減少社会。国の借金、1,000兆円を突破、生まれた時から一人あたり800万円超の借金、貿易赤字の持続、拡大、経常利益赤字目前。現役世代が高齢者を支えるのに、今の騎馬戦型から2050年には肩車型へ…。未来を生きていくのがつらくなるような文言が、毎日のように私の目には飛び込んでくる。

私の20～30代は、正に「失われた20年」と言われる時期そのものにあたる。ただただ日々を過ごしてきた自分が恥ずかしい。

私は宮崎以外で生活をしたことがないため、以下を言う資格はないのだが、最近、宮崎はいい所だな、と思うようになってきた。温暖な気

候、豊かな自然、恵まれた食材、等々。子供を育てるにも良い環境である、との記事も見た。私は宮崎大学のスローガン『世界を視野に地域から始めよう』が好きだ。これからは私達の子孫が生きる現在、未来に対し、私にできることを考え、行動したい。

ボンカレー怖い

宮崎市 たにぐちレディース たにぐちクリニック 谷 口 二 郎

私にはどうしても苦手な食べ物がある。それは「ボンカレー」である。

36年前、家内が長女を妊娠した時、妊娠初期に出血があり入院が必要になった。それまで2回も流産を繰り返し、今回ももしかしたら流産するかもしれないと判断し入院をさせたのだ。

入院させてほっとしたと同時に、食事はどうしようと思った。何せ1回も一人暮らしをしたことないので、自分で料理を作ったことがないのである。当時はコンビニなんてない時代である。スーパーも7時位には閉まる。何か良い解決策はないかと思案していた。

するとTVのCMで「温めるだけで、カレーが食べられる」というのをやっていた。パックに入ったカレーを、お湯に3分間つければ、美味しいカレーの出来上がりだという。「これだ!」と早

速買いに行った。家内は暫く入院が必要だということ、スーパーのカゴ一杯にそれを買求めた。

家に帰りシメシメこれで何とかメシの心配はしなくていいとほくそ笑んでいた。早速お湯を沸かし、ボンカレーの袋を中に投入。3分間待った。その封を切りご飯にかけ食べてみた。何ということだ。それはレストランで食べるカレーと何ら変わらない味だった。こりゃいい。今の時代こんな便利なモノがあるんだと感激しながら食べた。

ボンカレーを朝・昼・晩食べ続け3日目。少しその味に飽きてきた。そしてついに5日目、食べることが出来なくなってきた。完全に飽きたのである。その上TVのボンカレーのCMを見ると気分が悪くなるようになった。

スーパーなどでボンカレーが山積みしてあるとそのコーナーを避けて通る。完全な「ボンカレーアレルギー」である。暫くはそんな状態が続いたが、そのうちに色んなインスタントカレーが始め、ボンカレーのCMもなくなり店頭からその姿がなくなるとそれも治まった。

ところが先日、TVでその時代の画期的なモノの特集をしていた。すると昭和52年のヒット商品としてボンカレーの特集をやっていた。そう、そういうこともあったなあと懐かしく見ていたら、突然沖縄のカレー事情のレポートがあった。するとTV画面一杯にボンカレーの箱が映し出されていた。

今もボンカレーは近くのスーパーで売っているのだが、デザインは全く新しい。ところが沖縄ではどういう訳か、今でも当時のボンカレーのデザインのモノを売っているという。それが画面に出てきた。それを見た瞬間、当時のトラ

ウマが起こった。やはり気分が悪くなったのである。そのオレンジ色の丸い環が私にとってはトラウマの原因であるらしい。

「食べ物の恨みは怖い」とよく言われるが、私にとってボンカレーそのものが怖いのである。あの箱を水戸黄門の印籠みたいに「これが目に入らぬか」と目の前に出されたら「何でもします。お願いですからそれを出さないで下さい。」と叫ぶだろう。

時々、田舎の古びたお店の壁に、その大きな看板が飾ってあることがある。今でもそういう店には、入れない。私にとってまさに「ボンカレー、怖い」なのである。

高齢者の“めやに”

宮崎市 生目眼科クリニック はら だ かず みち
原 田 一 道

最近眼科診療でハマっているものと問われたら、ギムザ染色事始めと、答える事にしている。初期研修の話題で、今更塗抹検鏡でもなかりうとお叱りを受けそうですが、卒後再教育とおもっているのご容赦願いたい。

ご多分にもれず当施設でも高齢者の受診が多く、主訴が“めやに”のケースも多い。

特に眼科の手術歴や長期療養型施設入所歴を持つものに多い感がある。

閑話休題：“めやに”即ち medical term は邦

語、眼脂。独逸語，Augenbutter。

英語，flora ? mucus ? gum ? discharge ?
... 5年来英訳の適訳に悩んでいます，どなたか伝授ください...

高齢者の“めやに”については，元来エビデンスがないまま，その性状から empirical therapy にて投薬を行っていた。あるとき検鏡のスキルトランスファー講習会が開催され，スキルアップのつもりで受講し，その後“めやに”を診る度にエビデンスを得る為多用している。

その高齢者の“めやに”を検鏡するとコリネバクテリウム，表皮ぶどう球菌，黄色ぶどう球菌，連鎖球菌が検出されるのが一般的であるが，中には壊れやすいと言われている核が温存されたエオジン細胞や，難治性の結膜炎に，結膜特有の封入体細胞が見つかり小躍りしたくなる事もある。一方細菌性結膜炎と予測したものが，実はアレルギー性結膜炎と診断されて，検査の有用性を確認すると共にへこむことも多々ある。

下世話な話だが，診療報酬改定ごとに微増であるがコストアップの傾向にあることは，その意義が認められたかと自画自賛している。

たかが“めやに”，されど“めやに”である。

カット

シーボルトと娘いねの医学足跡

西都市 西都児湯医療センター 後藤 有 人

1988年、国立博物館主催日本・オランダ修好 380 年記念「ライデン国立民族学博物館所有のシーボルトによる日本コレクションの里帰り展」が開催された。それらは日本の動植物、鉱物、地図、絵画、屏風、羅針盤、花器、土器、シーボルト使用手術器具などで、その膨大な資料は見るものを圧倒させるものであった（筆者もそのひとり）。

出島オランダ商館付医師 シーボルト（1796-1866）とシーボルト事件

ドイツ国籍で、日本探訪を願望していたシーボルトは、志かなってオランダ商館付きの医師として 1823 年に長崎の当時日本の外国との窓口であった出島に着任。シーボルトに与えられた使命は日本のコレクションと、西洋の科学的知識就中、医学の教授と患者の診療。腹水穿刺、失明した目の回復手術、陰嚢水腫の治療、兔唇、乳がんの外科治療、分娩に鉗子の使用など。鳴滝塾には全国各地から参集した 60 有余人がシーボルトのもとで蘭学を志した。二宮敬作、石井宗謙、高野長英、高良斎などの名前があがる。シーボルトは最初の江戸参府の際、眼科医土生玄碩に開瞳術を教授。シーボルト事件は天文奉行高橋作左衛門（景保）とシーボルトがお互いに願望し交換した資料、すなわちシーボルトが景保から入手した国禁の日本の地図などが、これらを掲載したコルネリウス・ハウトマン号が台風で坐礁し積荷から発覚したことから起こる。国立公文書館に獄死した景保に改めて罪状を申し渡しするため塩付けにされた詳細な墨絵が展

示（不定期）されている。

シーボルトの愛娘、日本最初の女医 楠本いね（1827- 1903）

シーボルトが滞在 6 年余で追放となった時、いねは 2 歳 7 か月であった。父と同様医師を志す。当時女性は子宮がん罹患しても、羞恥心から診察を受けるのを嫌がり手遅れになって次々に死んでいくのを目のあたりにして、女性のために産科医を志した。東京日帰りができる現代、当時の旅が徒歩、海路でいかに難行であったか思いを馳せたい。

1840-1845: いね 13-18 歳、長崎 - 臼杵 - 八幡浜 - 卯之町（愛媛県西予市）。この地でシーボルトから託されたいねの後見人二宮敬作から内科診断学と治療法を学ぶ。

1845-1851: いね 18-24 歳、長崎 - 柳川 - 小倉 - 海路岡山。石井宗謙のもとで産科学を学ぶ。父シーボルトが離日の際弟子宗謙に与えた鉗子に出会う。この地で宗謙から性的暴行を受け、ただ（高子）を出産。宗謙を終世徹底的に嫌悪する。失意のもと長崎に帰る。

1854-1858: いね 27-31 歳、卯之町。暴行、出産という失意から立ち直り、再度医学研修のため二宮敬作のもとで西洋の産科学を学ぶ。11-1858 敬作と共に長崎に帰り、再来日したシーボルトと 29 年ぶりに再会、初めて父親を認識。

1862-1867: いね 35-40 歳、この間 4 回にわたり宇和島へ、伊達藩に医師として知遇を受け、敬作の下で産科を修行する。

1869- : いね 42-76 歳、東京。来日し終始いねに好意的であったシーボルトの子アレクサンダーが提供した鳴滝の土地の売却資金で、東京で産科を開業。1866 年シーボルト死亡、70 歳。1903 年いね東京で死亡、76 歳。

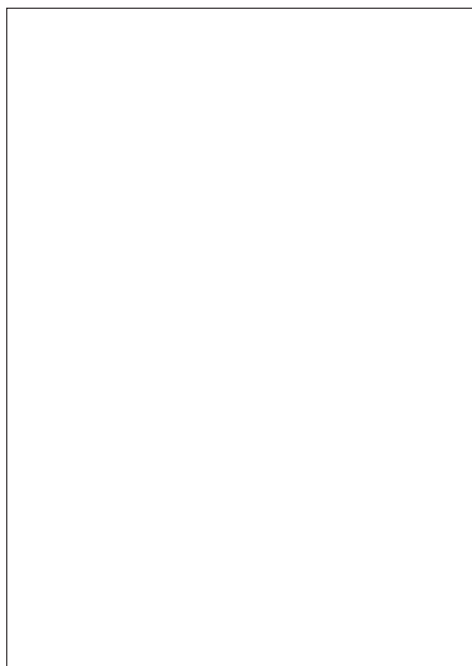
その後、いねの娘高子は敬作の甥で医師であり、阪大の前身大阪医学校の著名な教師で、蘭学に精通していた三瀬周三(1839-1877)と結婚、子のないまま死別。その後、医師片桐重明からいねと同様に暴行を受け、男子出産。母いねはその子を三瀬周三と同名の周三と名付け、楠本家の養子楠本周三(慈恵医院専門学校 -医師))とし、その子孫が現存。その後高子は医師山脇泰助と結婚し 3 女をもうけ、子孫は米山家として現存している。

道づくりを考える 都城広域女性の会、発足に思う

都城市 柳田病院 ^{やなぎ た き み こ}
柳 田 喜美子

都城志布志道路は地域高規格道路として都城を起点に曾於市を経て、志布志に至る延長 44km の自動車専用道路である。東九州自動車道が完成した今、ここと一体となってアジアへのゲートウェイとしての国際バルク戦略港湾に選定された志布志港に直結し、広域交流ネットワークの形成を担う重要な道路である。この道路は食料供給基地である当地域にとって、農林畜産業の活性化を始め、企業の誘致など経済の道として地域経済の発展に寄与すること、又防災の道として南海トラフ地震や津波、豪雨災害などが発生した場合の沿岸地域の後方支援を強化することが期待される。更に平成 27 年に都城 IC に近い位置に医師会病院が新築移転するが、「命の道」として救急搬送の迅速化が格段に向上し、より安心な救急医療圏を確立し、地域救急医療の充

実に寄与することが出来ると期待されているところである。防災医療においてもしかりである。ちなみに各所よりの搬送車両の到達度時間は 10 数分程度短縮され、たとえば志布志から新病院までは今までより約 1 分短縮される(所要時間 35 分)。この道路は 20 年前に計画指定を受けてから今日までに 3 割程度の供用にとどまっている。去る 5 月 30 日には市長をはじめとする整備促進大会が約 1,700 名の参加のもとに開催された。さてこのような背景から早期全線開通をめざして、地域発展の一翼を担うべく団結して行動するとして道づくりを考える都城広域女性の会が新たに発足した。6 月 24 日から 2 日にかけて私も市、県の関係者と共に生の声を伝えるべく自由民主党本部、財務省、国土交通省など関係省庁に要望活動を行うことになっている。道はやはりたしかに医療に通じていたと思いながら、診療の外で、長年の悲願である道づくりと向かい合っている今日この頃である。



(都城志布志道路建設促進協議会)

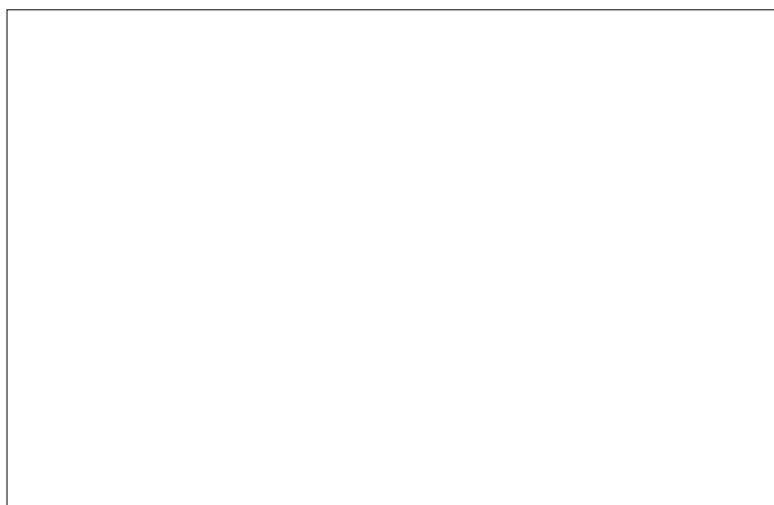
各都市医師会だより

宮 崎 市 郡 医 師 会

会 長 かわ川 な名 たか隆 し司

6 月 28 日に開催された本会定時総会の役員選挙において、当執行部は再選され 2 期目の舵取りを担うことになりました。今期の目標は 本会諸施設（医師会病院・看護専門学校・検査センター・検診センター・事務局）を新築集約移転して医療福祉ゾーンを構築する建替整備計画を更に進めることです。移転先につきましては宮崎市と共同で協議し、東九州自動車道や国道 10 号線からの乗り入れの利便性、災害時の後方支援拠点である生目の杜運動公園との連携等を考慮して、6 月の宮崎市議会で「宮崎西インターチェンジの北東地域」と報告されました。本会は現在、施設の規模や配置、部屋割りについて、各部門へ要望の聴取を行っており、その後、設計・工事を経て、平成 32 年度の竣工を目指しています。県都の都市医師会として、県・市や宮崎大学医学部と連携しながら、2 次医療圏を越えた広域救急・災害医療にも対応し、また一方、2025 年問題を見据え、地域包括ケアの充実にも取り組む所存です。

今期、本会の監事に 2 名の交代がありました。監事の役職は、単に会計を監査するだけでなく、policy watcher として理事者の業務及び理事会が行う事業の監査・監督も重要な使命と考えます。公益法人の「不特定且つ多数の者の利益に寄与する」という理念の基に、本会役職員一同、襟を正し緊張感を持って職責を果たしたいと思います。会員の皆様のご協力、ご支援を切にお願い申し上げます。



宮崎市郡医師会新役員

役 員 等 名 簿 (任期 平成 26年 6 月 28日定時総会終結時～平成 27年 6 月定時総会終結時)

役職名	氏 名	診 療 科	所 属 医 療 機 関	担 当 業 務
会 長	川名 隆司	外科, 消化器外科, 小児外科, 内科, 消化器内科, リハビリテーション科	川名クリニック	総括
副会長	済陽 英道	内科, 消化器科, アレルギー科, 外科, 整形外科, 肛門科, リハビリテーション科	わたよう外科胃腸科	看護専門学校 地域保健 (成人・介護)・地域医療 (成人) 医事紛争, 庶務・在宅医・開業相談 社保・国保, 会員福祉・共済・互助会・慶弔 労務
"	山村 善教	内科, 神経内科, リハビリテーション科	山村内科	検診センター 検査センター 地域包括支援センター 産業医 医師連盟 医師会病院, 地域医療 (救急) 夜間急病センター, 審査基準公開
"	高村 一志	小児科	たかむら小児クリニック	学校保健 地域保健 (母子・小児)・地域医療 (小児) 勤務医 新臨床研修制度・医師確保 学術・健康教育・生涯教育, しのめ 会員広報・情報システム, 夜間急病センター小児科 会計
理 事	菊池 郁夫	内科	県立宮崎病院	勤務医 新臨床研修制度 医師確保 学術・健康教育・生涯教育 地域保健 (母子・小児) 地域医療 (小児)
"	原田 雄一	内科, 循環器内科	原田内科クリニック	検診センター 地域包括支援センター 地域保健 (成人・介護)・地域医療 (成人), しのめ 会員広報・情報システム
"	尾田 朋樹	整形外科, リウマチ科, リハビリテーション科	尾田整形外科医院	医師連盟 会員広報・情報システム 医事紛争 医師会病院 地域医療 (救急)
"	市来 能成	内科, 循環器内科, 消化器内科	市来内科・外科医院	庶務・在宅医・開業相談 医師会病院, 地域医療 (救急) 医師連盟
"	牛谷 義秀	外科, 内科, 消化器内科, 消化器外科, 肛門外科, 整形外科, リハビリテーション科, 放射線科	クリニックうしたに	地域保健 (成人・介護)・地域医療 (成人) 県医師会 (常任理事) 地域包括支援センター 新臨床研修制度 医師確保
"	神尊 敏彦	産婦人科	神尊産婦人科	医事紛争 労務 地域保健 (母子・小児)・地域医療 (小児) 会員福祉・共済・互助会・慶弔 会計
"	田中 宏幸	内科, 呼吸器内科, 消化器内科, 循環器内科, 小児科	神宮医院	社保・国保 夜間急病センター (内科・外科), しのめ 検査センター 産業医
"	首藤 謙二	精神科	野崎病院	会員福祉・共済・互助会・慶弔 産業医, 労務 勤務医
"	弘野 修一	内科, 消化器内科	ひろの内科クリニック	看護専門学校 検査センター, 審査基準公開 学校保健
"	玉置 昇	内科	たまきクリニック	学校保健 会計 庶務・在宅医・開業相談, 検診センター 夜間急病センター小児科, 学術・健康教育・生涯教育
"	白尾 一定	外科, 消化器外科, 乳腺外科, 呼吸器外科, 気管食道	宮崎江南病院	看護専門学校 審査基準公開 社保・国保, 夜間急病センター (内科・外科)
* 議 長	谷村 俊次	整形外科, リハビリテーション科	谷村整形外科医院	
* 副議長	丸田 眞一	胃腸科, 外科, 内科, 整形外科, リハビリテーション科, 肛門科	丸田医院	
監 事	中山 健	泌尿器科, 皮膚科, アレルギー科	中山医院	
* "	桑原 正知	循環器内科, 外科, 心臓血管外科	くわばら医院	
* "	楠元 直	胃腸科内科, 放射線科	楠元内科胃腸科医院	
顧 問	綾部 隆夫	内科, 循環器内科	綾部医院	
"	中村 典生	外科, 内科, 消化器内科, 肛門外科	加納中央医院	

*は新任

各都市医師会だより

都城市北諸県郡医師会

会 長 いい飯 だ田 まさ正 ゆき幸

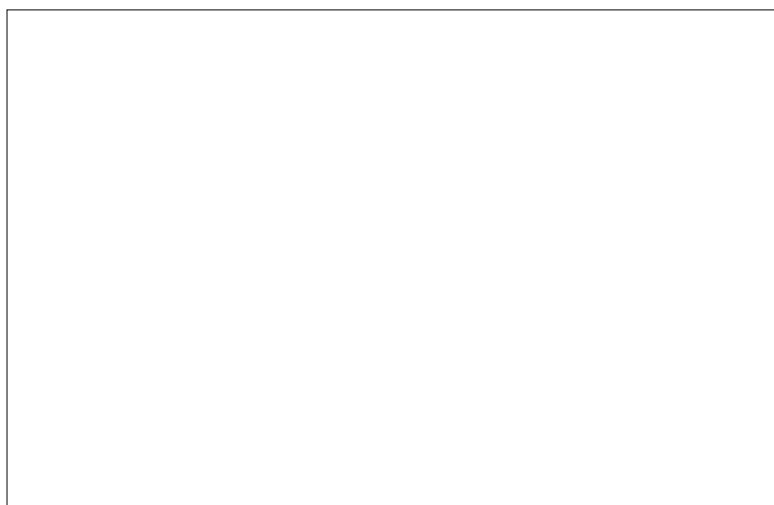
平成 26 年 5 月の定時社員総会において承認していただき、会長として 2 期目を担当させていただくことになりました。

執行部のメンバーは、昨年 8 月に理事の欠員により釘宮博志先生、政所治道先生、鵜木俊秀先生の 3 人に加わっていただいています。それ以外の理事はほとんど変わっていませんが、今回、5 期 10 年理事を務めていただいた橋口兼英先生が退任されました。橋口先生は理事会で様々な有益な意見を提言され一期目を支えていただきました。また新しく理事として、都城医師会若手のホープである瀬ノ口洋史先生に就任していただきました。

前執行部から引き継いでおります、都城地域健康医療ゾーン整備事業の都城市郡医師会病院、健康サービスセンター、夜間救急センターの建設も 5 階までの鉄骨が組み上がり床面のコンクリート打設も進み、都城インターチェンジを都城方面に出ますと右側に建物の鉄骨が見える段階にあります。来年 2 月の完成、4 月の移転その後の運営に今期は忙殺されることになります。

行政の責任で行われる救急医療の施設の完成後、医師会はその運営に携わり、都城市民、三股町民の理解を得、行政の協力を得ながら先輩諸氏が残してくれた医療体制を維持し続けなければならないと思います。

今期も当医師会に対し県医師会、各都市医師会の先生のご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



都城市北諸県郡医師会新役員

役員等名簿（任期 平成 26年 5 月 28日定時社員総会終結後～平成 26年 5 月定時社員総会終結時）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	飯田 正幸	麻酔科	飯田病院	会務総括、全施設総括、医師会病院総病院長、 渉外、看護専門学校校長
副会長	佐々木幸二	循環器科、内科、 消化器科	佐々木医院	会務総括補佐、救急医療センター所長、 訪問看護ステーション所長、 県医師会常任理事
〃	重平 正文	内科	しげひらクリニック	会務総括補佐、医師会病院病院長、 渉外
〃	田中 穰次	内科	久保原田中医院	会務総括補佐、健康サービスセンター所長、 すこやか苑副施設長、 医師会病院担当副会長
総 務 理 事	長倉 穂積	内科、循環器科	長倉医院	総務、医師連盟、定款諸規程、自賠責、広報、 開業相談、医事紛争
理 事	檜原進一郎	皮膚科	ならはら皮膚科医院	3施設移転（主）、医苑（副）、 地域医療マスタープラン、会計管理（総括）
〃	山路 健	外科、内科	山路医院	すこやか苑担当理事、介護保険（主）、 福祉施設、救急医療センター副担当理事、 救急医療（副）
〃	木村 健	内科、外科、小児科	原田医院	訪問看護ステーション担当理事、 スポーツ医学（総務（副））、3施設移転（副）
〃	野田 俊一	産婦人科	野田医院	看護専門学校副校長（管理部長）、会員福祉、 苦情処理
〃	吉松 正明	外科、消化器科	吉松病院	医師会病院担当理事、医療保険、保険診療（副）、 レセプト査定対策
〃	宇宿 修隆	内科、消化器科、 胃腸科	宇宿医院	健康サービスセンター担当理事、公衆衛生、 成人病検診
〃	山下 兼一	外科、内科、消化器科	山下医院	救急医療センター担当理事、救急医療（主）、 災害・感染症対策、医師会病院副担当理事、 保険診療（副）
〃	久保田秀紀	眼科	くぼた眼科	医苑（主）、労務福祉、勤務医部会、 健康教育（副）、学術生涯教育（副）、 医療情報システム
〃	釘宮 博志	循環器科、内科	ベテスダクリニック	学術生涯教育（主）、病院部会、健康教育（主）
〃	政所 治道	小児科、内科	政所医院	学校保健・検診、乳幼児保健、学校医部会
〃	鷗木 俊秀	循環器科、内科	鷗木循環器内科医院	保険診療（主）、医師会病院副担当理事、 介護保険（副）
＊ 〃	瀬ノ口洋史	内科、消化器科	瀬ノ口醫院	産業医部会、労災医部会、 地域産業保健センター、 救急医療センター副担当理事、救急医療（副）
監 事	大窪 利隆	循環器科、内科	おおくぼクリニック	
〃	坂元 一久	胃腸科、内科	坂元医院	
〃	田口 利文	循環器科、内科	田口循環器科・内科 クリニック	
議 長	飯屋 純人	内科、循環器科	飯屋医院	
副議長	濱田 義臣	外科、内科、胃腸科	たかお浜田医院	

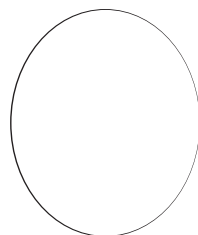
＊は新任

エコー・リレー

(468 回)

(南から北へ北から南へ)

般若心経

宮崎市 古賀総合病院 きはら やすし
木 原 康

癌治療は、抗癌剤の開発や
治療法の進歩などで治療成績
は向上しているものの、予後
不良の患者が多いのも現実で
す。こういった予後の悪い人
に病状を説明するのは難しい
ものです。あまり予後が長く

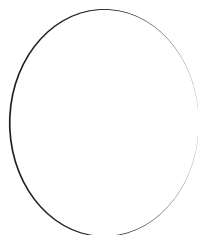
ないことを伝えたために、患者が自殺でもした
らと心配になります。医者の説明が悪いから患
者がショックを受けるのだと説明の仕方を批判
する人もいます。しかし、予後不良の人にどの
ように説明してもショックを受けると思います。
医学では死に対する不安を取り去るのは困難だ
と思います。こういう苦しみを救えるのは宗教
ではないかと思います。自分の余命が数か月と
いう話を聞いて淡々と受け止められる方には宗
教は不要かもしれませんが、困難な人も多いの
ではないでしょうか。

そういうわけで、最近仏教の勉強をしていま
す。仏教というと葬式などの弔いを連想される
方も多いかと思われませんが、仏教は生きる人の
ための教えなのです。池に石を投げた後に石を
戻してくださいと仏様に頼んでも石は浮かんで
きません。

お釈迦様が目指したのは苦(四苦八苦)からの
解放のようです。医学では救えない患者の苦し
みを仏教の教えで救えれば幸いと思っています
が、仏教の教えを理解するのはかなり難しいよ
うです(出家せねば無理?)。最近は日本で人
気が高いといわれる般若心経(ちびまる子ちゃんも
困ったときに唱えたそうです)を唱えています。

〔 次回は、宮崎市の稲倉 琢也先生にお願いします 〕

がんばれ 道子さん

宮崎市 うえやま貴子 うえ やま たか こ
クリニック クリニック 上 山 貴 子

今回のお話をいただいた時、
何を書こうかと考えている矢
先に、事は起こったのです。
6月6日午後9時ぐらいだっ
たでしょうか。私はテレビを
見ながらくつろいでいた時の
ことでした。ボタンという音
と、あ〜という悲鳴が聞こえ、

台所の方を見ると、何と、母、道子さんが倒れ
ていたのです。幸い頭は打っておらず、意識は
しっかりしていました。しかし、立てないのだ
す。結局は、救急車を呼び病院に搬送となりま
した。診断は、左大腿骨頸部骨折。そのまま入
院です。さっそく主治医から病状の説明を受け、
結局、6月9日に手術を受けましたが、これか
らがたいへんでした。私も患者さんの家族の一
人となったのです。家族が入院したために、こ
れまでの日常生活が変わりました。母もそうで
すし、私もそうです。これまで母にまかせてい
たことをすべてしなければならなくなったので
す。合わせて、母の身の回りのこともしてい
かなければなりません。最初は、慣れないことも
あり、何度も家と病院を往復したこともありま
したが、幸い回復が早く、術後1日目から少し
ずつ動けるようになりました。ところが、手術
をしたらずきに動けるようになると本人は思っ
ていたようで、なかなか思うように体が動かな
いことにいらだちを感じ、手術をしなければよ
かったとまわりの方々に愚痴を言って困らせた
こともあったようですが、幸い順調に回復。現
在、転院し、毎日コツコツとリハビリを一生懸
命頑張っています。家族のなかに入院している
者がいるということは、本人はもちろんのこと、
家族にとっても大変なことであり、毎日のこと
なのでお互いが共倒れにならないようにするた
めにはどのように過ごしていかなければならな
いのか、ということを考えさせられる今日この
頃です。でも、頑張れ、道子さん。

〔 次回は、宮崎市の町田 英一郎先生にお願いします 〕



あなたできますか？

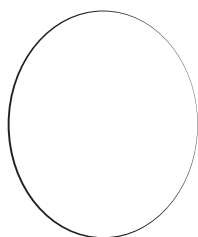
— 平成 25年度 医師国家試験問題より —

(解答は 93ページ)

1. 健常成人において体温が最も低い時間はどれか。
 - a 午前 0 時
 - b 午前 6 時
 - c 正午
 - d 午後 6 時
 - e 午後 9 時
2. 慢性肝炎において肝炎活動性の指標となる血液検査項目はどれか。
 - a ALT
 - b 血小板
 - c アルブミン
 - d 総コレステロール
 - e プロトロンビン時間
3. 夜間救急外来に「1歳の息子がコインを飲んだようだ」と母親から電話があった。10分前、母親が目を離したすきに、手に持って遊んでいた2つのゲーム用コインのうち1つが見当らなくなり、飲み込んだのではないかと心配している。本人の機嫌はよいとのことである。当直医として適切な対応はどれか。
 - a 「明日来院してください」
 - b 「それはお母さんの責任です」
 - c 「口の中に指を入れて吐かせてください」
 - d 「もっと周りをよく探してからご連絡ください」
 - e 「残りのコインを持って直ちに来院してください」
4. アルコール依存症の治療について適切なのはどれか。
 - a 断酒会は匿名参加が原則である。
 - b 断酒より容易な節酒を目標とする。
 - c 離脱症状にベンゾジアゼピン系薬を投与する。
 - d 脳症の予防としてビタミンDを大量に投与する。
 - e 抗酒薬を患者に知らせず家族に食事に混ぜさせる。
5. 高齢者の複雑部分発作の治療薬として最も適切なのはどれか。
 - a バルプロ酸
 - b ジアゼパム
 - c クロナゼパム
 - d カルバマゼピン
 - e フェノバルビタール
6. 適応障害に含まれるのはどれか。
 - a 気分変調症
 - b 短期抑うつ反応
 - c うつ病エピソード
 - d 急性ストレス障害
 - e 外傷後ストレス障害
7. 骨髄異形成症候群の予後の指標となるのはどれか。2つ選べ。
 - a 血清LD値
 - b 染色体異常
 - c 血球形態異常
 - d 骨髄芽球比率
 - e 網状赤血球数
8. 神経性食思不振症について正しいのはどれか。3つ選べ。
 - a 強迫行為を示すものが多い。
 - b 安静時にも頻脈であることが多い。
 - c 過食・嘔吐を伴うものは含まない。
 - d 抑うつとの合併が高率に認められる。
 - e 我が国では10年以内に約10%の患者が死亡する。
9. 厚生労働省の患者調査(平成20年)による重症度の状況にみた推計入院患者の構成割合において、「生命の危険がある」患者の割合はどれか。
 - a 約5%
 - b 約15%
 - c 約25%
 - d 約35%
 - e 約45%
10. 地上における死体の腐敗速度を1とした場合、土中での腐敗速度として正しいのはどれか。
 - a 1/8
 - b 1/2
 - c 1
 - d 2
 - e 8

宮崎大学医学部だより

機能制御学講座 - 統合生理学分野 -



たかみや こうご 教授
高宮 考悟 教授

私が、ここ統合生理学分野の教室主任として赴任して5年が経過しました。この5年間でさまざまな変化がありましたので、この場をおかりして皆様にご紹介いたします。

当教室は、かつての第一生理学教室であり、前任の河南名誉教授より私が引き継ぎ、医学部医学科2年生の神経生理学を中心とした系統講義と、3年生の神経科学というオムニバス形式の講義を担当しています。

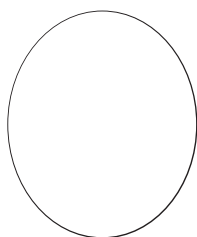
まず系統講義では、神経系の機能を中心として神経解剖、生化学、薬理学などを交えながら包括的に神経系を理解できるように心がけています。また、私が講義することによる知識の偏りを防ぐために指定教科書を使用し、私が学生時代に習った普遍的な内容から最新の研究成果まで触れられるような講義内容としています。私の学生時代に比べると、科学の急速な進展のために学生として学ばなければならない内容は膨大となっています。教科書も少なくとも5倍は厚くなったのではないのでしょうか。その中で、将来医師として絶対に知っておかなくてはならないこと、実際の臨床では現在学んでいる知識がどのように反映されるのか、また、卒業後彼らは40年程医学に携わっていくでしょうから、それを見越して学生レベルではかなり高度とは思われる知識でも、できるだけ最先端の学問に接することができるように心がけて講義しています。

系統講義を無事終了した学生には、翌年の3年生の時に神経科学と称する講義を受けてもらいます。そこでは、臨床の先生方とタイアップし、毎週様々な神経関連の疾患にフォーカスをしぼり、系統講義で学んだ基礎的な知識から臨

床への連続的な流れを理解してもらいたいと思って講義をデザインしています。加えてその分野で最新の研究論文を紹介したり、さまざまな資料を調べることでプレゼンテーションとリサーチ能力のトレーニングになればと思っています。

私達の教室のもう一つの大きな柱である研究ですが、私がこれまでやってきた“中枢神経におけるグルタミン酸受容体を中心としたシナプス可塑性の分子制御機構の解明”を軸に研究を進めています。研究表題だけ聞くと、なにやら難しそうに聞こえますが、簡単に申しますとほとんどの神経機能に存在する“可塑性”という特徴がどのように人の神経機能にかかわっているのか、またその詳細なメカニズムはどうなっているのかを明らかにしたいと研究をしています。一例といたしまして“学習や記憶はどのようにして形成・維持されるのかを分子レベルで理解したい”ということを経験に研究を進めています。これまでに新たなスタッフとして生化学・分子生物学・細胞生物学の実験を担当する緑川良介博士とマウスやゼブラフィッシュを用いた遺伝学とイメージングを組み合わせた実験を行う松井秀彰博士の両名が助教として加わりました。緑川助教は、もともと細胞生物学を中心に研究を行ってきた方でショウジョウバエを用いた研究にも習熟されてすばらしい論文を世に送り出しています。また松井助教は、もともと神経内科の出身でパーキンソン病の研究を行ってきました。さらに教室の発足当初から研究室の立ち上げに尽力してくれていたパッチクランプを用いた電気生理学を専門とする若園助教と一昨年度より本学医学部神経生物学の西森名誉教授のもとで痛みの研究を中心になって進めてきた直野(中山)博士がメンバーとして加わり、神経科学の研究を分子レベルから生物・個体レベルと幅広いテクニックを用いてひとつの研究室で総合的に研究できる環境が整ったと思っています。それではあとなにが必要かと申しますと、それをうまく方向付けて研究を展開する、まさに私の能力が問われる時期だと自分自身に言い聞かせています。今後の私達の仕事にご期待していただけたらと思います。(高宮 考悟)

専 門 分 科 医 会 だ よ り (東 洋 医 会)



かわごえ ひろふみ
川越 宏文 会長

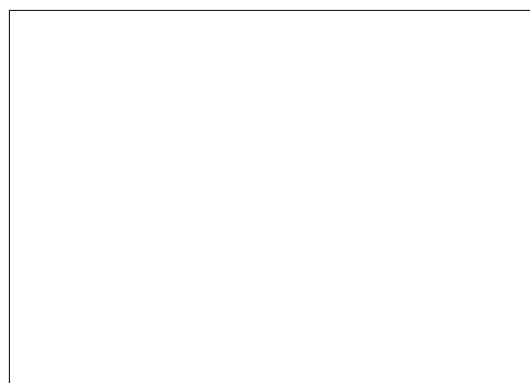
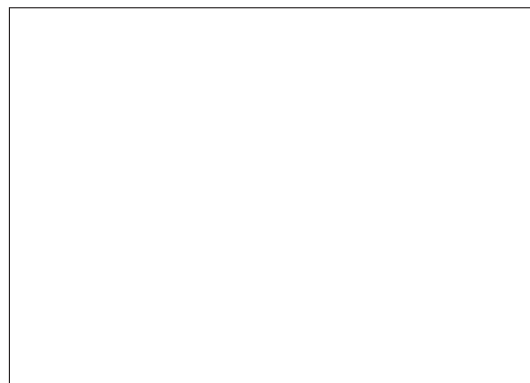
宮崎県東洋医会は例年 3 月に総会および教育講、夏に都城医師漢方研究会との共催で県民講座、秋に宮崎・日南・延岡を巡回する形で県民講座を開催しています。昨年度の教育講演は飯塚病院漢方診療部の矢野博美部長に、また県民講座は日南市の先生を中心に開催されました。

今年度は 7 月 19 日の土曜日の 14 時からメディカルシティー東部病院総合診療部の前田修司先生によって「老若男女も科も問わないよろず科、漢方内科へいらっしやい」と題して市民向けの講演会が開催されました。当日の会場である都市ウエルネス交流プラザには 125 名もの漢方に興味を持つ市民が集まり、熱心に講演に耳を傾けておられました。その中で最近の漢方に関する問題も取り上げられました。それは漢方の保険外しがくすぶっているということです。具体的に申しますと、財務省の経済財政諮問会議の財形健全化に向けた基本的考え方が示され、公的給付見直しの議論の中に以下の文言が入っています。

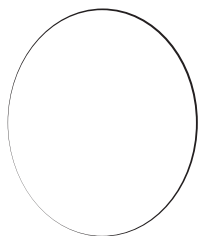
「我が国の後発医薬品シェアが主要先進国と比較して最低の水準であることを踏まえ、特許の切れた医薬品の保険償還額を後発医薬品に基づいて設定し、それを上回る部分は患者負担とする制度の導入を図るべきである。加えて、湿布、漢方薬など市販類似薬品の更なる保険適用除外を進める必要がある」

漢方薬を保険収載時に尽力した武見太郎先生

のご子息、武見敬三先生より直接聞いた話では、先生ご自身は治療で漢方を処方することはなかったが、医師がもっている処方の選択権を広げることの一環であったとのこと。漢方外しはアリの一穴、生活習慣病などの薬剤についても徐々に OTC にスイッチされ、医師の裁量権がさらに狭くなるという噂もあります。国民皆保険とともに医師の裁量権が縮小されませんよう強く願っています。
(川越 宏文)



メディアの目



胆嚢始末記

宮崎日日新聞社 報道部長

もり
森こういちろう
耕一郎

今年 4 月の定期検診を受けた直後、担当の保健師さんから携帯に連絡が入った。「 γ -GTP が 1,000 を超えています。何か理由があるんでしょうか」と心配している。当方、心当たりは大いにあった。1 か月ほど前に、胆嚢に石が詰まって腹痛や肝機能障害を引き起こす胆石症を指摘されていたのに、放ったらかしにしていたからだ。

忘れもしない 2 月 23 日、日曜の朝。朝食をとりながら情報番組を見ていた最中に突然、経験したことのない痛みで襲われた。みぞおちの辺りが締め付けられ、息ができない。救急車を呼ぼうとまで考えたが、脂汗を流しつつ車のハンドルを握って近所の内科へ駆け込んだ。

休日当番医の先生は問診からすぐに胆石症と見抜き、エコー検査と当日の血液検査の GTP 値から確信に至ったようだった。紹介していただいた宮崎市内の総合病院の専門医は早期の胆嚢摘出手術を勧めたが、何せ年度末の繁忙期。「1 週間の入院が必要」と言われて躊躇し、経過観察することになった。

胆嚢は、肝臓でつくられた消化液の胆汁を濃縮する役割を持つ。その胆嚢内に胆汁のコレステロール成分が固まってできる石が胆石である。この石が胆嚢や胆管を動くことで胆汁の流れを邪魔し、痛みの原因になる。

胆嚢内に石ができていたことは 4 年前、肺の CT 検査で偶然判明していた。胆石症は不規則な食生活が原因の一つと言われるが、それもそのはず、胆石持ちと分かるまで単身赴任していた

延岡市での暮らしは放埒そのものだった。朝食はほぼ毎日抜いて昼は好物のラーメンかとんかつ。仕事ははねたら週 3 日は居酒屋へ通い、休肝日はほとんどなかった。

長い潜伏期間を経て突如、症状が現れたのだが、それでも節制すれば収まると思い込んだのが甘かった。経過観察中も食後や飲酒中に激しい痛みで襲われ、外出していないのに「日に焼けたんですか？ 色が黒いですよ」と声をかけられることもあった。下痢や肩こりに悩まされ、今振り返れば、尿もコーラ色をしていた。

肝機能の異常を保健師に電話口で指摘された翌日の 4 月 9 日、手術を勧められていた総合病院の門を再び叩き、「即入院」を言い渡された。この日の血液検査で GTP 値はさらに上昇して 1,970。聞いたこともないような数値にめまいを覚えた。

それから断食と点滴を続けて GTP 値を落とし、腹腔鏡手術で胆嚢を摘出して社会復帰するまで要した日数は 1 週間。医師の助言に素直に従わなかったばかりに 10 日余計に入院したことになる。

ちなみに、胆嚢に詰まっていた石はシジミ大のものから破片まで計 50 個。手のひらに乗せたら山盛り状になる。画像で紹介できないのが残念だが、経験豊富な看護師さんが「こんな量の石は見たことがない」と驚いていたのが、なぜかうれしかった。

薬事情報センターだより (327)

新薬紹介(その 71)

今回は 5 月に薬価収載された抗血小板剤エフィエント錠 3.75mg・5mg (一般名: プラスグレル塩酸塩) と抗悪性腫瘍剤ロンサーフ配合錠 T 15・T 20 (一般名: トリフルリジン・チピラシル塩酸塩) について紹介いたします。

エフィエント錠 3.75mg・5mg (一般名: プラスグレル塩酸塩)

エフィエント錠 (一般名: プラスグレル塩酸塩) は、第一三共株式会社と宇部興産株式会社が創製した ADP 受容体阻害剤です。プラスグレル塩酸塩はプロドラッグであり、生体内で活性代謝物に変換された後、血小板膜上の ADP 受容体 P2Y₁₂ を選択的かつ非可逆的に阻害することで血小板凝集を抑制します。

本剤は、2009年 2 月に欧州、7 月に米国において承認されて以来、世界 70 以上で承認 (2014年 3 月現在) され、経皮的冠動脈形成術 (PCI) 施行予定の急性冠症候群 (不安定狭心症、非 ST 上昇心筋梗塞、ST 上昇心筋梗塞) 患者における血栓性イベントの抑制を適応症として使用されています。本邦においては、「経皮的冠動脈形成術 (PCI)」が適用される下記の虚血性心疾患: 急性冠症候群 (不安定狭心症、非 ST 上昇心筋梗塞、ST 上昇心筋梗塞)、安定狭心症、陳旧性心筋梗塞」を効能・効果として、2014年 3 月に承認され、5 月に第一三共株式会社から発売されました。

国内第 Ⅲ 相臨床試験において、総症例 1,055 例中 48 例 (4.6%) に副作用 (臨床検査値異常を含む) が認められました。主な副作用は、皮下出血 109 例 (10.3%)、鼻出血 72 例 (6.8%)、血尿 58 例 (5.5%) 等でした (承認時)。また、重大な副作用として、出血、血栓性血小板減少性紫斑病 (TTP)、過敏症があらわれることがあります。また、類薬 (他の抗血小板剤) の重大な副作用として、肝機能障害、黄疸、無顆粒球症、再生不良性貧血を含む汎血球減少症が報告されています。

ロンサーフ配合錠 T 15・T 20 (一般名: トリフルリジン・チピラシル塩酸塩)

ロンサーフ配合錠は、大鵬薬品工業株式会社が創製された薬剤であり、有効成分としてトリフルリジンとチピラシル塩酸塩を 1: 0.5 のモル比で配合された新規経口ヌクレオシド系抗悪性腫瘍剤です。トリフルリジンは、複製時にチミジンの代わりに直接 DNA 鎖に取り込まれ、DNA の機能障害を引き起こして抗腫瘍効果を示すと推定されています。チピラシル塩酸塩はトリフルリジンの分解酵素であるチミジンホスホリラーゼの特異的阻害剤であり、チピラシル塩酸塩の配合により、トリフルリジンの分解を抑制し、高い血中濃度が維持されます。

フッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤、イリノテカン及びオキサリプラチンを含む前治療 2 レジメン以上が施行され不応又は不耐の治療切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌を対象とした国内臨床第 Ⅲ 相試験の結果、プラセボ投与に対し、全生存期間を有意に延長することが報告されました。

本剤は、「治療切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌 (標準的な治療が困難な場合)」を効能・効果として、2014年 3 月に承認され、5 月に大鵬薬品工業株式会社から発売されました。

本剤の投与方法は、朝食後及び夕食後の 1 日 2 回経口投与し、5 日間連続経口投与したのち 2 日間休薬し、これを 2 回繰り返したのち 14 日間休薬します。28 日間を 1 コースとして投与を繰り返します。

国内臨床試験における副作用発現率は 96.6% (115/119 例) でした。主な副作用は、白血球減少 76.5% (91 例)、好中球減少 73.1% (87 例)、ヘモグロビン減少 63.9% (76 例)、悪心 63.0% (75 例) 等でした (承認時)。なお、重大な副作用として、骨髄抑制、感染症、間質性肺疾患があらわれることがあります。

参考資料

エフィエント錠 3.75mg・5mg、ロンサーフ配合錠 T 15・T 20 各添付文書・インタビューフォーム

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

宮崎県感染症発生動向 ～ 6 月 ～

平成 26 年 6 月 2 日～平成 26 年 6 月 29 日(第 23 週～26 週)

■ 全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類 ○結核 19 例 保健所別報告数を【図 1】に示した。
患者が 8 例，無症状病原体保有者が 9 例，疑似症患者が 2 例であった。患者は肺結核が 6 例，その他の結核では結核性ぶどう膜炎が 1 例，脊椎結核が 1 例であった【表 1】。性別は男性 7 例・女性 12 例で，年齢別報告数を【表 2】に示した。

3 類 ○腸管出血性大腸菌感染症 2 例 宮崎市保健所管内で 1 例，日向保健所管内で 1 例報告された。
・患者は 70 歳代で，腹痛がみられた。原因菌の O 血清型は O 26 VT1 産生)
・患者は 40 歳代で無症状病原体保有者。原因菌の O 血清型は O 6 VT1 産生)

4 類 ○重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 2 例 延岡保健所管内で 1 例，日南保健所管内で 1 例報告された。

・患者は 80 歳代で，発熱，下痢，嘔吐，食欲不振，全身倦怠感，血小板減少，白血球減少，リンパ節腫脹がみられた。刺し口は確認できず海外渡航歴もなかった。
・患者は 60 歳代で，発熱，下痢，嘔吐，血小板減少，白血球減少，刺し口がみられた。海外渡航歴はなかった。

○日本紅斑熱 2 例 日南保健所管内で 1 例，日向保健所管内で 1 例報告された。

・患者は 80 歳代で，発熱，発疹がみられた。
・患者は 50 歳代で，発熱，頭痛，刺し口，食欲不振がみられた。

○レジオネラ症 2 例 宮崎市保健所管内で 1 例，日南保健所管内で 1 例報告された。

・患者は 80 歳代で肺炎型。主な症状は発熱，呼吸困難，肺炎であった。
・患者は 60 歳代で肺炎型。主な症状は発熱，咳嗽，呼吸困難，肺炎であった。

5 類 ○後天性免疫不全症候群 2 例 いずれも宮崎市保健所管内で報告された。

・患者は 20 歳代の男性で，無症候性キャリア。
・患者は 40 歳代の男性で AIDS。主な症状は呼吸困難，指標疾患はニューモシスティス肺炎であった。

○侵襲性肺炎球菌感染症 1 例 宮崎市保健所管内で報告された。

・患者は 80 歳代で，発熱がみられた。発症した翌日に死亡。肺炎球菌ワクチン接種歴は不明であった。

■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 3,492 人(定点あたり 105.8)で，前月比 83%と減少した。また，例年の 96%とほぼ横ばいであった。

前月に比べ増加した主な疾患は百日咳，ヘルパンギーナ，手足口病で，減少した主な疾患は咽頭結膜熱と感染性胃腸

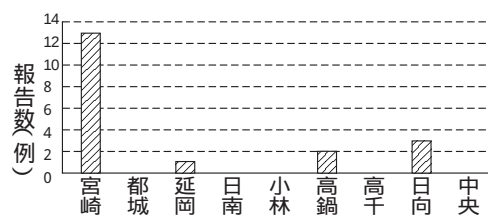


図 1 結核 保健所別報告数

表 1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	6
その他の結核	2
無症状病原体保有者	9
疑似症患者	2

表 2 結核 年齢別報告数(例)

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	1	1	4	2	3	5	1

前月との比較

	2014 年 6 月		2014 年 5 月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	50	0.8	267	4.5	
RSウイルス感染症	5	0.1	20	0.6	
咽頭結膜熱	193	5.4	232	6.4	
溶レン菌咽頭炎	429	11.9	426	11.8	
感染性胃腸炎	1,232	34.2	2,224	61.8	
水痘	271	7.5	347	9.6	
手足口病	587	16.3	409	11.4	
伝染性紅斑	16	0.4	19	0.5	
突発性発しん	167	4.6	203	5.6	
百日咳	12	0.3	8	0.2	
ヘルパンギーナ	432	12.0	84	2.3	
流行性耳下腺炎	30	0.8	36	1.0	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	65	10.8	54	9.0	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	3	0.4	17	2.4	

例年同時期(過去 3 年の平均)より報告数が多い
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

炎であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は咽頭結膜熱、手足口病、百日咳であった。

咽頭結膜熱の報告数は193人(5.4)で前月の約0.8倍、例年の約1.4倍であった。日南(22.3)、中央(10.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1～4歳が全体の約6割を占めた。

手足口病の報告数は587人(16.3)で前月の約1.4倍、例年の約1.2倍であった。日南(43.7)、高千穂(32.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約6割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は432人(12.0)で前月の約5.1倍、例年の約0.9倍であった。日向(31.3)、延岡(26.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約6割を占めた。

■ 病原体検出情報(微生物部)

	検 出 病 原 体	件
ウイルス	エンテロウイルス7型	10
	エコーウイルス1型	1
	パラインフルエンザ3型	1
細菌	<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳)	5
	<i>Salmonella Thompson</i> (O7 k 1,5)	2
	EPEC(O15 H UT ea e a s t A)	1

■ 月報告対象疾患の発生動向 6 月

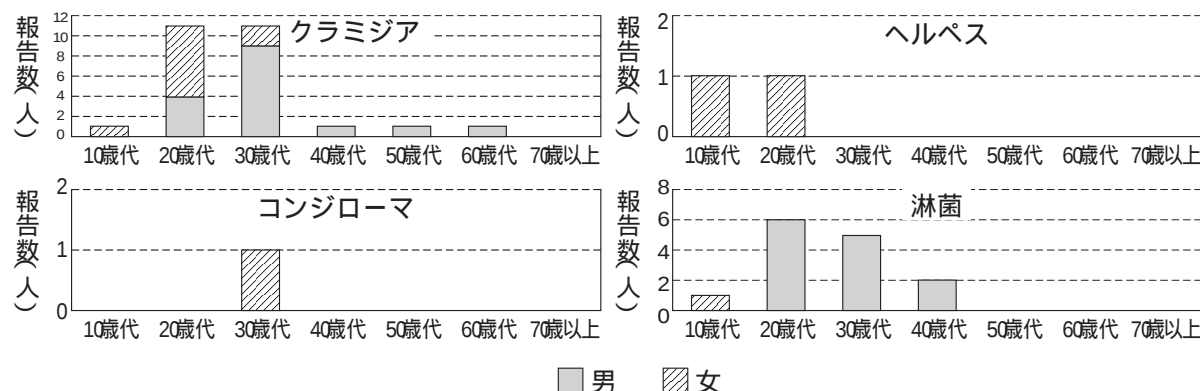
□ 性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数 13

定点医療機関からの報告総数は43人(3.3)で、前月比108%と増加した。また、昨年6月(1.7)の約2.0倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症 報告数26人(2.0)で、前月と同程度、昨年6月の約1.7倍であった。年齢別では20歳代、30歳代が共に全体の約4割を占めた(男性16人・女性10人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症 報告数2人(0.15)で、前月の約0.7倍、昨年6月の約0.5倍であった(女性2人)。
- 尖圭コンジローマ 報告数1人(0.08)で、前月の約0.3倍、昨年6月と同程度であった(女性1人)。
- 淋菌感染症 報告数14人(1.08)で、前月の約1.8倍、昨年6月の約7.0倍であった。20歳代、30歳代が共に全体の約4割を占めた(男性13人、女性1人)。



□ 薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数 7

定点医療機関からの報告総数は20人(2.9)で前月比74%と減少した。また昨年6月(5.3)の約0.5倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 報告数14人(2.0)で、前月の約0.6倍、昨年6月の約0.4倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 報告数5人(0.71)で、前月、昨年6月の約2.5倍であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症 報告数1人(0.14)で、昨年6月と同程度であった(前月報告なし)。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症 報告はなかった。(宮崎県衛生環境研究所)

ご 案 内

平成 26 年度宮崎県医師会医学会のご案内

標記医学会を下記のとおり開催いたします。県医師会医学会は、毎年さまざまなテーマにそって県内外の先生方を講師に招き、年 1 回開催させていただいております。多数のご参加をお待ちいたしております。

と き 平成 26 年 9 月 6 日(土) 15: 00~ 17: 00
ところ 宮崎県医師会館 2 階研修室

特別講演

「遺伝カウンセリングはなぜ必要か」

講師 宮崎大学医学部附属病院産婦人科病院教授 山口 昌俊 先生

遺伝カウンセリングとは患者・家族のニーズに対応する遺伝学的情報およびすべての関連情報を提供し、患者・家族がそのニーズ・価値・予想などを理解した上で意志決定ができるように援助する医療行為である。この文章だけを見ると、なぜ遺伝カウンセリングが必要かは見えてこない。もともと、まれな遺伝性疾患に対応するものだと考えられ、一般臨床では関係がないと思われていた。ところが、近年遺伝子診断が一般臨床で用いられるようになり、見つかった遺伝子変異が Germ cell line の変異であると、同じ変異が家系内で共有されている可能性があるため、一人の患者の問題が家系内すべての構成員の問題となる。つまり遺伝性疾患では、家系全体のケアが必要になる。このようなポイントから、遺伝カウンセリングの意義を説明したい。

特別講演

「海外旅行者の発熱」

講師 国立国際医療研究センター国際感染症センター
国際感染症対策室医長 加藤 康幸 先生

日常診療で経験することが少ない輸入感染症について、マラリアを中心に代表的な疾患について紹介する。また、演者がアウトブレイク対策に関わった西アフリカにおけるエボラ出血熱についても情報提供したい。

申込み：所属とお名前を 8 月 26 日までに県医師会までお知らせ下さい。

FAX 0985-27-6550 電話 0985-22-5118

第 159回宮崎県医師会臨時代議員会(概要)

と き 平成 26年 5 月 27日(火)

ところ 県医師会館

1. 開 会

今回は、代議員改選後、最初の代議員会であることから、定款施行細則第 17条により、増田好治代議員(宮崎)を仮議長に選出した。続いて増田仮議長が、代議員の定数は 34 名、現在の出席代議員は 32名で、定款第 30条の規定に基づき代議員会は成立することを宣言した。

次に、定款第 25条第 2 項の規定に基づき、議長、副議長の選挙に入り、選挙細則第 4 条及び第 5 条の手続きを行ったところ、候補者が定数通り各々 1 名であった旨の説明が行われ、議長は渡邊康久代議員、副議長は岩見晶臣代議員とすることが決定した。

議 長 渡邊 康久(日向)

副議長 岩見 晶臣(西都)

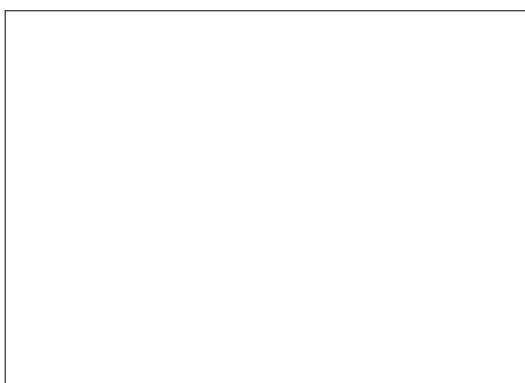
ここで、議長を渡邊代議員に交代し、定款第 3条第 2 項の規定に基づく議事録署名人に、田中俊正代議員と済陽英道代議員を選出した。

2. 県医師会長挨拶(要旨)

診療で疲れた後の、また、お忙しい中、第 159回宮崎県医師会臨時代議員会に出席賜り、深く感謝申し上げます。

まず、理事の辞任について報告させていただく。矢野理事が、5 月 1 日から代議員に選出されており、定款第 15条第 2 項の規定により、代議員は理事を兼ねることができないので、4 月末日付けで「理事の辞任届」が提出され、受理していることを報告する。

本日は、2 件の報告事項と 4 件の議案の審



議、役員選挙をお願いすることとしているので、代議員の先生方には、慎重な審議をお願いして挨拶とさせていただきます。

3. 報 告

1) 平成 26年度宮崎県医師会事業計画について

河野副会長が、定款第 61条及び同条第 2 項に基づき、3 月 11日の理事会で承認された、平成 26年度事業計画について説明を行った。

我が国の医療を取り巻く環境は、一段と厳しくなっており、効率的な運営を迫られている。医学・医療の進歩、国民の要求の高度化・多様化に、国の医療政策が対応できず、多くの医療機関が疲弊し、救急医療・周産期医療・小児医療のみならず、地域医療全体が危機的状況にある。少子高齢化の急速な進展・産業構造の変化などにより、地域の人口規模や年齢構成が大きく変わりつつある。医療計画・老人保健福祉計画、医師会事業計画等の策定にあたっては、十

分に考慮する必要がある。

医師の絶対数の不足，地域及び診療科間の偏在を是正すべく，県行政・宮崎大学医学部・医師会・県内医療機関の協力体制ができつつある。特に，宮崎大学医学部の救急医学部門の充実及びバックアップ体制の構築，地域医療学講座の充実，各診療科間の協調体制の確立及び臨床研修プログラムの充実など明るい展望が見られ，初期臨床研修医の増加が期待される。次は後期臨床研修医及び若手医師の確保が喫緊の課題である。また，医療機関における看護職員の不足は緊急に解決すべき深刻な問題である。

宮崎県医師会は，県民の生命と健康を守るため，県民が安全で安心な医療を受けられるように，地域共生の理念のもと，地域医療の充実・医療の地域間格差の解消に努め，次の重要課題に取り組む。

本年度の重点項目として，

- 1．国民皆保険制度の堅持
- 2．地域医療の充実
 - 1) 医師不足及び偏在の是正
 - 2) 看護職員不足の解消
 - 3) 安定した医業経営が可能な診療報酬の確保
 - 4) 地域医療連携の推進
 - 5) 在宅医療の推進
 - 6) 医療と介護の連携推進
- 3．医療崩壊に繋がる TPP 参入の阻止

以上が本年度の重点項目となる。「1．国民皆保険制度の堅持」と「2．地域医療の充実」は，医師会の普遍的な使命で，置かれている危機的状況も残念ながら変更がない。TPP の問題は，3 月に安倍総理大臣が TPP 交渉に参加を表明したため若干文言を変更した。政府の対応如何では，新たな策を講ずる必要がある。

今までの事業を踏襲し，新たな諸問題については，積極的に情報収集及び発信，各都市医師会長協議会及び担当理事者会を開催する等して，迅速に対応したいと考えている。

2) 平成 26 年度宮崎県医師会暫定収支予算について

平成 26 年度は役員改選年次にあたり，平成 26 年 6 月末から新役員が就任することとなる。そのため，吉田常任理事が，3 月 11 日の理事会で承認された。平成 26 年 4 月から 7 月にかかる暫定予算を説明した。

暫定収支予算書(正味)前年度予算比較について，収益は受取会費，事務室貸与収益，受取負担金については平成 25 年 4 月から 7 月までの実収入額を計上し，その他については，25 年度予算を参考に編成した。費用は役員報酬，給与手当，福利厚生費，総会費，各都市医師会事務局事務研修費，雑費については 25 年 4 月から 7 月までの実支出額を計上し，その他については，25 年度予算を参考に編成した。代議員会費については，役員改選年次は，5 月，6 月の 2 回開催につき，2 回分計上した。予算額ゼロの科目については，7 月まで収入，支出が発生しない科目である。

以上により，平成 26 年度 4 月から 7 月までの暫定予算は，経常収益計が 1 億 3,126 万円，経常費用計が 1 億 2,273 万 4 千円で経常増減額がプラス 852 万 6 千円になる。

4．議 事

- 議案第 1 号 宮崎県医学会会則の変更に関する件
- 議案第 2 号 宮崎県医師会議事細則の変更に関する件
- 議案第 3 号 宮崎県医師会裁定委員会規程の変更に関する件

議案第 4 号 宮崎県医師会会費賦課徴収規程 の変更に関する件

立元常任理事より、以下のとおり説明が行われた。

平成 20年度に諸規程検討委員会を設置して、諸規程の見直しについて検討し、本年 2 月 6 日に諸規程検討委員会の最終答申をいただいた。平成 24年度に本会の公益法人化がなされ、その時点で県の承認を受ける必要のあるものはすでに承認済みである。本日提出の 4 つの規程については、3 月 11日に開催した県医師会理事会で承認いただいたが、代議員会において最終承認が必要である。

議案第 1 号の医学会会則の変更については、第 1 条から 10条までの主に文言の整理と、第 10条の会議の整理を行った。

議案第 2 号の代議員会議事細則については、現行条文の最後の附則を見ると、昭和 24年 6 月 30日施行され、その後変更もされていない面が多くあり、全面的に変更して、日医の規程を参考にして全く新しく作成した。第 1 章は「総則」、第 2 章は「議事」について、日医は第 9 条に議事運営委員会を設けているが、本会はこれまで通り設置しないこととした。第 3 章は「発言」、第 4 章は「表決」、第 5 章は「議題及び議案」についてである。第 32条の議題の請求権だが、日医も本会も代議員 30分の 1 以上となっている。日医は 350名を超える代議員がいるので 12、13名以上が必要だが、本会は 2 名の代議員で請求できることになる。これは一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(法人法)第 43、44条の規定によるもので、30分の 1 以上は変えられない。第 6 章「委員会」について、これは代議員会に設置する委員会のことである。日医の 49条では秘密会について規定してあるが、県医師会では秘密会

は設置しない。第 7 章は「規律」、第 8 章は「議事録」についてである。なお、議事録は法人法 5条により、請求があれば代議員及び債権者に公開せねばならない。

議案第 3 号の裁定委員会規程については、現行第 2 条は定款 5条 4 項と重複するので削除。また現行 3 条と 4 条を削除し、変更案に 5 条と 12条を設けた。第 5 条は郡市医師会の裁定に不服がある場合は裁定を申し出ることができる。また、会員として不適当な場合は県医師会が独自に裁定できるとある。第 12条では郡市医師会間の紛議に関して規定してある。現行第 15条から 18条の合同審査会は廃止することとした。

議案第 4 号の会費賦課徴収規程については、既に公益法人化の際、一部変更施行されているが、出産育児に関して、第 7 条の 3 項で、いつまでに減免申請しなければならないかという始期がはっきりしていなかったので、出産の翌年度まで申請可と規定し明確化した。

以上の説明を行い、採決の結果、議案第 1 号から第 4 号は、賛成全員で原案どおり承認可決された。

5 . 協 議

1) 次期理事の数について

立元常任理事より、定款施行細則第 11条第 3 項の規定に基づき理事の数が提案された。理事の定数は、定款第 3条により会長、副会長、常任理事を含んで 15名以上 23名以内となっている。先に開催した理事会において、業務量等も勘案して理事数を 22名とする案を決め、代議員会に上程したいとの説明が行われ、賛成全員で次期理事の数を 22人とすることが決定した。

2) 新たな財政支援制度に係る事業提案について

川名代議員から質問が行われ、今年 3 月

に新たな財政支援制度に係る事業提案について、県医師会から求められて提出した。その後、県医師会から県に提出していると思うが、その後どうなっているのか。詳細はまだ決定されていないと思うが、決定にいたるスケジュール等を説明いただきたい。また、優先順位をつけて県医師会に提出したが、優先順位のどこまでを県に提出したかを教えていただきたい。

古賀常任理事が、3月中旬に各都市医師会、各専門分科医会、県医師会病院部会、県内二次救急医療施設に対し事業の募集を行い、限られた情報の中、3月末締切という短い期間ではあったが30近い事業の提案をいただいた。県医師会として類似する事業等を合体させる等の作業を行い、既存事業を除く20の新規事業にまとめ、4月9日に県に対し回答した。4月23日に厚労省において第1回目のヒアリングが行われたが、この時には個別事業の具体的な内容についての検討はなかった。

今後は6月中旬以降に厚労省との第2回目のヒアリングが行われ、補助額や事業の進行状況の確認が行われる予定と聞いている。国会における法案成立を経て、9月に県の計画を策定し、10月に内示、11月に補助金交付決定を予定しているとのことである。県医師会としては、すべての事業提案を県に提出しており、引き続き県と密接に協力しながら多くの予算獲得に向けて働きかけを行っていきたいと考えている。

6. 役員選挙

投票方法の確認。

渡邊議長より、各選挙の候補者は、選挙細則第1条及び13条第4項の規程に基づき、候補者名簿が配布され議場に掲示されていると説明があり、候補者が、その選挙の定数と同

数なので、選挙細則第20条第1項の規程に基づき、投票を行わずに挙手で決議するとすることを全員の賛成で決定した。

複数定員を選任する役職についての一括選任の確認。

渡邊議長が、複数の定員を選任する役職について、定数と候補者が同数であることから一括して選任するとすることを全員の賛成で決定し、選挙細則第1条第1項の規定に基づき、会長候補者、副会長候補者、理事、監事、裁定委員、日本医師会代議員、同じく予備代議員の順に選任することを決定した。また、当選人が決定したときは、選挙細則第20条第1項の規程に基づき、議長から会長に口頭で報告する旨が説明された。

1) 会長候補者選挙

会長候補者を選任すると同時に、理事としての選任を兼ねる。任期は、平成28年6月の定例代議員会終結の後から、平成28年6月の定例代議員会終結の時までとなることを説明。定数1人に対し、届け出のあった候補者も河野雅行先生1人で、挙手により当選者と決定した。

会長候補者選挙当選者 河野 雅行(宮崎)

2) 副会長候補者選挙

副会長候補者を選任すると同時に、理事としての選任を兼ねる。届出があった候補者は、定数2人に対し富田雄二先生と濱田政雄先生の2人で、挙手により当選者と決定した(届出受付順)。

副会長候補者選挙当選者富田 雄二(西都)
濱田 政雄(宮崎)

3) 理事選挙

理事の定数は、定款第3条第1項第1号により15人以上23人以内となっているが、先の協議により次期理事の数は22人と決定。よって会長・副会長候補者を除く残り19人

となり、届出のあった候補者も 19人で、下記 19人全員を挙手により当選者と決定した（届出受付順）。

理事当選者 佐々木幸二(都 城)
米澤 勤(児 湯)
金丸 吉昌(日 向)
内村 大介(西 諸)
佐藤 信博(延 岡)
峰松 俊夫(南那珂)
池井 義彦(西 諸)
牛谷 義秀(宮 崎)
鮫島 浩(宮大医)
吉田 建世(延 岡)
上田 章(宮 崎)
立元 祐保(宮 崎)
荒木 早苗(宮大医)
高村 一志(宮 崎)
小牧 斎(宮 崎)
川野啓一郎(宮 崎)
佐々木 究(宮 崎)
岩村 威志(宮 崎)
系数 智美(宮 崎)

4) 監事選挙

監事の定数は、定款第 32条第 1 項第 2 項で 3 人と規定されており、届出があった候補者も小牧文雄先生、赤須巖先生、中村周治先生の 3 人であり、挙手により当選者と決定した（届出受付順）。

監事当選者 小牧 文雄(都 城)
赤須 巖(延 岡)
中村 周治(宮 崎)

5) 宮崎県医師会 裁定委員選挙

裁定委員の定数は、定款第 54条第 2 項で 11人と規定されており、届出があった候補者も 11人であり、下記 11人全員を挙手により当選者と決定した（届出受付順）。

裁定委員選挙当選者 貴島 亨(都 城)

宇和田 収(西 都)
糸井 達雄(児 湯)
浦上 裕(日 向)
宮崎 裕三(西 諸)
日高 隆徳(延 岡)
山口 和彦(南那珂)
楠元 正輝(宮 崎)
千阪 治夫(宮 崎)
石田 康(宮大医)
興梠 知子(西臼杵)

6) 日本医師会代議員及び予備代議員選挙

日本医師会の代議員及び予備代議員の定数は、日本医師会定款施行細則第 42条及び第 43条により、それぞれ 4 人となっていることを説明。届出があった候補者もそれぞれ 4 人で、挙手により当選者と決定した（届出受付順）。

日本医師会代議員当選者

河野 雅行(宮 崎)
富田 雄二(西 都)
濱田 政雄(宮 崎)
立元 祐保(宮 崎)

日本医師会予備代議員当選者

渡邊 康久(日 向)
永友 和之(児 湯)
岩見 晶臣(西 都)
飯田 正幸(都 城)

7. 当選役員挨拶

当選役員を代表して、次期会長候補者に選任された河野雅行先生より以下のとおり挨拶があった。

県医師会の運営という重責を担わせていただくことになったのでよろしくお願いしたい。医師及び医師会をめぐる環境は厳しいものが山積している。どの問題も混んとしており、先が見えないことばかりである。幸いなことに、先ほど選出していただいた役員は、ベテ

ランが多数残っていただいたし、新しい役員にも入っていただいた。今後は、役員と良く相談しながら、今までの先輩方の実績や宮崎県医師会の伝統を守りつつ、稲倉執行部の手法を踏襲しつつ、会の運営にあたっていくたい。代議員の先生方にも多々相談申し上げる機会が増えると思うが、今後ともよろしくお願いしたい。

出席代議員及び出席役員は下記のとおり。

1. 出席代議員

1 番 永 友 和 之
2 番 岩 見 晶 臣
3 番 島 田 雅 弘
4 番 中 村 彰 伸
5 番 高 崎 直 哉
6 番 矢 野 裕 士
9 番 帖 佐 悦 男
10 番 川 名 隆 司
11 番 市 来 能 成
12 番 尾 田 朋 樹
13 番 金 丸 禮 三
14 番 原 田 雄 一
15 番 神 尊 敏 彦
16 番 小 牧 齋
17 番 田 中 俊 正
18 番 中 山 健
19 番 成 田 博 実

20 番 原 田 一 道
21 番 増 田 好 治
22 番 三 宅 和 昭
23 番 山 村 善 教
24 番 済 陽 英 道
25 番 飯 田 正 幸
26 番 重 平 正 文
27 番 田 中 穰 式
28 番 長 倉 穂 積
29 番 仮 屋 純 人
30 番 平 野 雅 弘
31 番 日 高 孝 紀
32 番 牧 野 剛 緒
33 番 渡 邊 康 久
34 番 古 賀 正 広
出席 32 名(予備代議員)

8. 執行部謝辞及び議長閉会宣言

執行部を代表して、稲倉正孝会長より謝辞が行われ、渡邊議長が閉会を宣言し終了した。

2. 出席役員

会 長 稲 倉 正 孝
副 会 長 河 野 雅 行
" 富 田 雄 二
常任理事 立 元 祐 保
" 吉 田 建 世
" 濱 田 政 雄
" 古 賀 和 美
" 石 川 智 信
" 荒 木 早 苗
" 池 井 義 彦
" 牛 谷 義 秀
" 金 丸 吉 昌
理 事 高 橋 政 見
" 上 田 章
" 直 井 信 久
" 峰 松 俊 夫
" 佐々木 幸 二
" 青 木 洋 子
" 高 村 一 志

3. 出席監事

監 事 赤 須 巖
" 小 牧 文 雄

出席 21 名

第 160回宮崎県医師会定例代議員会(概要)

と き 平成 26年 6 月 21日(土)

ところ 県医師会館

1. 開 会

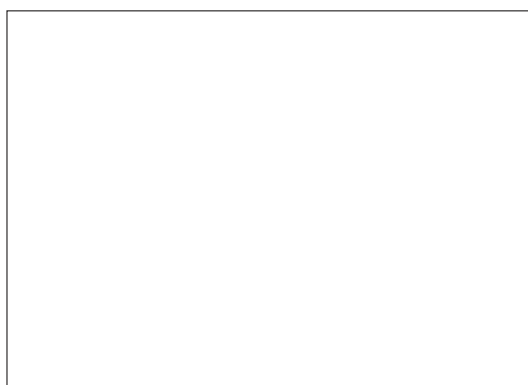
渡邊議長が、代議員の定数は 34名、現在の出席代議員は 28名で、定款第 30条の規定に基づき代議員会は成立することを告げ開会した。続いて、定款第 31条第 2 項の規定に基づく議事録署名人に、栗林忠信代議員と三宅和昭代議員を選出した。

2. 県医師会長挨拶(要旨)

本日にて、宮崎県医師会会長を退任することになった。平成 20年 4 月より、6 年 3 か月大過なく会務を遂行できたことは、会員の皆様をはじめ、役員・職員・関係各位のご指導・ご協力によるものと心より感謝申し上げる。振り返れば、前県医師会長の秦喜八郎先生のもとで、10年間、総務・医療保険担当の常任理事として勉強させていただいたことが大変役立ったと感謝している。

会長を仰せつかったからの最初の大きな仕事は、互助会の問題だった。互助会事業は、利息の部から給付される休業見舞金の給付がメインとなっていた。互助会は平成 22年 6 月 30日を以って解散した。全会員が支払っていた会費の全額に幾らかの利息をつけて支払うことができた。

平成 23年 3 月 11日に発生した東日本大震災を受け、日医は岩手・宮城・福島・茨城の 4 県に対し「日本医師会災害医療チーム」(JM A T)を派遣することを決定した。宮崎県医師会は日医の要請を受け、3 月 17日の平田東九州病院第 1 チームを皮切りに JM A T 20チーム



を、宮城県を中心に派遣することができた。今回の JM A T 派遣は、日本医師会としてはほとんど初めての大規模な医療支援活動だった。DM A T の災害発生直後の活動に協力して、合計 1,398チームの JM A T を日医は派遣することができ、国民、行政からも高く評価されており、概ね成功であったと思っている。

法人制度改革の方針に従って、平成 24年 4 月 1日から公益社団法人として新たにスタートした。役員・職員が一丸となって、県行政・顧問公認会計士の指導のもとに、大きな混乱もなく移行できた。

会長在任中に大きなイベントとして、第 112 回九州医師会総会・医学会を平成 24年 11月 24 日・25日の 2 日間にわたってシーガイアで開催した。7 つの分科会及び 5 つの記念行事が行われた。協力いただいた会員・役員・職員の皆様に大変苦勞をかけたが、成功裏に終わることができた。

日本はどの国も経験したことのないスピードで少子高齢化・人口減の社会に進んでいる。

しかも、巨額の借金を抱え、政府は医療費抑制策を強化しようとしている。平成 26 年 4 月の診療報酬改定は、薬価切り下げ分を考慮すると、1.26%の引き下げであった。横倉義武日本医師会長を中心とした懸命の努力にもかかわらず、診療報酬本体で 0.1%のプラス改定であったが、薬価・材料の切り下げ分(1.36%)が診療報酬本体の改定財源に充てられなかった。しかし、社会保障・税一体改革への対策として、医療法等の改正により創設される 904 億円の基金で対応することになった。本基金は消費税増税に伴う処置で、次年度以降も続く予定で、交付は官民公平とされており、充実した計画の立案が求められている。

団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年を見据えた「ビジョン」としては、病床の機能分化・連携、在宅医療・介護の充実、医療従事者の確保・勤務環境の改善等により、“かかりつけ医”を中心とした地域包括ケアを推進する必要がある。地域包括ケアとは、地域の医療・介護・福祉・生活サービス等を過不足なく提供することで、誰もが住み慣れた場所で最後まで安心して暮らすことができる社会をつくることである。

日本医師会は、昨年「日本医師会綱領」を策定した。わが国の宝である公的国民皆保険を柱に、医師が大同団結し、郡市区等医師会、都道府県医師会、日本医師会がそれぞれの役割を果たしながら、わが国の優れた医療システムを確立していくことが必要である。政府がすすめている「混合診療の全面解禁」、「選択療養」、「特区での自由診療」のように、医療を市場原理主義の自由競争に委ねれば、公的国民皆保険は崩壊し、平等で安全・安心の医療が失われることになる。最後になったが、皆様方の長年にわたってのご指導・ご協力に心より感謝する。後任としては河野雅

行会長を中心とした優秀な新執行部が担当される。

今後は、一会員として医師会活動に参加するので、宜しくお願いする。

3. 報 告

1) 平成 25 年度宮崎県医師会事業報告について

河野副会長より、定款第 62 条に基づき、6 月 10 日の第 2 回理事会で承認された平成 25 年度事業の報告があった。

事業が多岐に渡り、膨大であることや、詳細については、その都度、日州医事に掲載しているので、要点のみを説明させていただく。

公益事業 1 の「生涯教育の推進と充実を図る事業」は、医師に対する学術研修、医学向上を目的として行った事業を記載している。日医生涯教育制度では、平成 23 年度は 400 の学会を認定している。

公益事業 2 は「地域医療及び救急医療の充実を図り、県民に公平な医療供給の推進を行うとともに健康社会の構築に寄与する事業」であり、医師会の核ともなる地域医療に関する事業である。継続的に力を注いでいる医師確保に関する取り組みでは、県内臨床研修医の確保として、東京・大阪・福岡で開催されるレジナビフェアや e レジフェアへ県内 7 基幹型臨床研修病院が協力して出展しており、今年度の新研修医の数は 45 名となっている。平成 23 年度は 29 名しか新研修医が残らなかったものが、大学・県・医師会の三者で協力しながら取り組んだ結果、平成 24 年度からは、40 数名から 50 名台まで増えてきている。また、平成 25 年に設立した在宅医療協議会の他、救急医療、医療安全、介護保険、医療関係者への対応等である。

公益事業 3 の「県民の健康保持・増進に寄与する事業」では、県民への健康教育、予防接種、公衆衛生に関連する事業となる。今年で 33 回目となる県民健康セミナーや健康スポーツに対する取組み、インフルエンザ、麻しん等に関する事業である。

公益事業 4 の「保健事業の一体的推進を行う事業」では、母子、乳幼児、学校、産業保健活動に関する事業となる。これは、関係団体と連携する事業が多く、産婦人科医会と協力して行う母子保健活動、小児科医会並びに学校医部会と協力して行う学校保健事業、産業医部会と協力して行う産業保健活動等が中心である。

4 . 議 事

議案第 1 号 平成 25 年度宮崎県医師会収入 支出決算に関する件

吉田常任理事が、配布資料を基に、平成 25 年度決算の概要を 24 年度と比較して説明。正味財産増減計算書は、正味増減が 1,824 万 6 千円の増。資金収支計算書は、収支差額が 24 年度比でマイナス 6,100 万円余りであり、これは職員の退職金制度を見直し、旧制度で一旦支給したことに伴う支出増である。退職等取崩収入 7,100 万円余りの増で補てんしている。結果として 24 年度比 982 万 6 千円の収支差額が増となっている。貸借対照表は、固定資産の減少を上回る負債の減少があり、正味財産合計は 24 年度比 6,503 万 7 千円の増となり、順調に推移していると考えている。正味財産増減内訳書は、経常費用総合計と公益目的事業比率

を計算しているが、70.2%となり 50%以上という基準を満たしている。収支相償については、18,101,522 円を公益事業に繰り入れても、公益事業会計は 13,194,193 円のマイナスとなり、収支相償の基準を満たしている。

貸借対照表については、遊休財産額が公益目的支出額を上回って不適合となっているが、3 月 11 日の理事会で 26 年度当初 1 億円の長期借入金の繰り上げ返済を承認いただいた。返済後は遊休財産額は適合となるので、監督官庁には説明できると考えている等の説明を行った。その後、監事を代表して、赤須監事から「平成 26 年 5 月 21 日、中村・小牧監事と共に監査を実施し、出納正確で適正妥当と認めた」旨の監査報告が行われ、議長裁決の結果、議案第 1 号は、賛成全員で原案どおり承認可決された。

5 . 執行部謝辞

稲倉会長が、この時点で役員の任期が終了したが、医師会は難しい問題をたくさん抱えている。個別指導や不祥事が発生しており、次期執行部に引き継ぐことになるが、会員一人ひとりが反省をし、主張すべきことは主張していかなければならない。

長い間ありがとうございました。

6 . 議長閉会宣言

最後に、渡邊議長が閉会を宣言し、定例代議員会を終了したが、引き続き臨時理事会と第 16 回臨時代議員会が行われるので、暫時休憩をとるとの案内が行われた。

出席代議員及び出席役員は下記のとおり。

1. 出席代議員

1 番 岩 見 晶 臣
 2 番 島 田 雅 弘
 4 番 高 崎 直 哉
 5 番 矢 野 裕 士
 6 番 植 松 昌 俊
 9 番 川 名 隆 司
 10 番 市 来 能 成
 11 番 尾 田 朋 樹
 12 番 弘 野 修 一
 13 番 栗 林 忠 信
 14 番 神 尊 敏 彦
 15 番 田 中 俊 正
 16 番 中 山 健
 17 番 成 田 博 実

18 番 原 田 一 道
 19 番 増 田 好 治
 20 番 三 宅 和 昭
 21 番 山 村 善 教
 22 番 済 陽 英 道
 24 番 木 村 健
 25 番 重 平 正 文
 28 番 仮 屋 純 人
 29 番 宮 本 義 明
 30 番 日 高 孝 紀
 31 番 牧 野 剛 緒
 32 番 渡 邊 康 久
 33 番 青 柳 淳 太 郎
 34 番 永 友 和 之

出席 28 名(予備代議員)

2. 出席役員

会 長 稲 倉 正 孝
 副 会 長 河 野 雅 行
 " 富 田 雄 二
 常任理事 立 元 祐 保
 " 吉 田 建 世
 " 古 賀 和 美
 " 石 川 智 信
 " 荒 木 早 苗
 " 池 井 義 彦
 " 牛 谷 義 秀
 " 金 丸 吉 昌
 理 事 高 橋 政 見
 " 上 田 章
 " 直 井 信 久
 " 峰 松 俊 夫
 " 佐々木 幸 二
 " 高 村 一 志

3. 出席監事

監 事 赤 須 巖
 " 中 村 周 治
 " 小 牧 文 雄

出席 20 名

お 知 ら せ

クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成 26 年 5 月 1 日より平成 26 年 10 月 31 日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

第 161回宮崎県医師会臨時代議員会(概要)

と き 平成 26年 6 月 21日(土)

ところ 県医師会館

1. 開 会

渡邊議長が、代議員の定数は 34名、現在の出席代議員は 28名で、定款第 30条の規定に基づき代議員会は成立することを告げ開会した。続いて、定款第 31条第 2 項の規定に基づく議事録署名人に、栗林忠信代議員と三宅和昭代議員を選出した。

2. 県医師会長挨拶(要旨)

河野新会長より以下のとおり挨拶があった。

稲倉前会長の後を引き継ぎ、会長に選んでいただいた。秦執行部に常任理事として 10年、稲倉執行部に副会長として 6 年余お世話になり、経験を積ませていただいた。会長として会の運営を預かることになり、緊張で身の引き締まる思いである。皆で相談して医師会の方針を決定し、諸団体との良好な関係を構築してスムーズな連携をするという、稲倉前会長が取られた合議制による会の運営を踏襲したいと考えている。前執行部から多数のベテラン役員が継続し、新たにやる気に溢れた役員にも参加いただいた。役員の先生や事務局とも力を併せ、山積する問題の解決処理にあたりたい。

医師、医師会の使命は多々あるが、地域医療を守ることが最大使命の 1 つである。単に患者さんや地域を守るだけではなく、同時に医療提供者も守っていかなければならない。医療提供者の環境が劣悪では、患者さんに良い医療を提供することは困難である。医療提供者を守る一つの方策として、医師会力の強

化が考えられる。医師の団結並びに関連する他の組織や行政との協調が必要である。

医政の重要性、医師会の考え方を会員に根気よく説明していかなければならない。会員数を増やす努力もして、特に勤務医に対するアプローチが必要と考える。アンケートによると開業医と大病院勤務医との間には、地域医療に関する考え方にも相当なギャップがみられる。例えば、混合診療を容認する意見が、大病院勤務医では過半数に達している。これらのギャップを埋めるべく、勤務医にも医師会活動を紹介して、入会・勧誘するような努力が求められている。困難な状況であればある程、役員のみならず、会員全員一致である必要がある。

以上のような気持ちを持って、日医や各郡市医師会とも歩調をあわせながら、本会を運営していく。代議員の先生方に相談する機会がますます増えると思うが、今後とも更なる協力をお願いしたい。

3. 報 告

1) 新役員紹介について

立元常任理事より、さきほど開催した第 3 回臨時理事会で決定された新役員名簿が配付された。

5 月 2 日に開催した第 159 回臨時代議員会で選任されていた会長候補者の河野雅行先生が会長に、副会長候補者の富田雄二先生と濱田政雄先生が副会長に選定された。常任理事については、定款第 32 条第 2 項により、理事のうち 8 名以上 12 名以内を常任理事とするとあり、理事の中から、立元祐保先生、吉田建世先生、小牧斎先生、荒木早苗先生、池井義彦先生、牛谷義秀先生、金丸吉昌先生、佐々木幸二先生、高村一志先生の 9 名を常任理事とした。また、理事、監事、代議員会議長・副議長、日医代議員・予備代議員については、5 月 2 日の第 159 回臨時代議員会で決定したとおりである。

また、定款第 32 条 3 項により、河野会長及び富田副会長、濱田副会長を代表理事とし、9 名の常任理事をもって業務執行理事とする。定款第 32 条 5 項により、理事の職務及び権限については、配布資料のとおり業務分担とする。

2) 平成 26 年度宮崎県医師会収入支出予算について

吉田常任理事が、さきほど開催した第 3 回臨時理事会で決定された配布資料の収入支出予算を基に報告した。

損益ベースの事業別予算書では、欄外の公益目的事業比率は 68.13% で基準の 50% を上回っている。前年度比較では、収益見込みが前年度を下回っているが、それ以上に

費用の減少見込みが大きい正味財産増を見込む予算となっている。資金ベースの前年度比較予算では、財務活動支出が前年比 1 億円の増としているため、次期繰越収支差額がマイナス 9,510 万 3 千円となっているが、これは流動資産にある 2 億円余りの預金を利用して、長期負債を繰り上げ償還するもので、公益法人会計の要件の遊休財産制限のクリアに有効であり、何よりも長期債務の繰り上げ償還により利息の軽減が図られることになる。正味財産も増加、資金収支も 1 億円の繰り上げ償還を除けば、400 万円余りの次期繰越を見込んでいることから、無理のない予算と考えている。

4. 協 議

1) 顧問・名誉会員委嘱の件について

立元常任理事が、本会定款第 43 条の規定に基づき、顧問・名誉会員は代議員会の決議を経て、会長が委嘱することになっていることを説明した。

顧問については、元宮崎県医師会長の秦喜八郎先生と前宮崎県医師会長の稲倉正孝先生の 2 名の先生、名誉会員については、元宮崎医科大学長・宮崎医科大学名誉教授の森満保先生、松尾壽之先生、前宮崎大学長・宮崎大学名誉教授の住吉昭信先生の 3 名の先生について、任期は役員と同様、2 年後の定例代議員会の終結の時までとなるとの説明が行われ、賛成全員で、顧問 2 名と名誉会員 3 名の委嘱について承認された。

5. 議長閉会宣言

渡邊議長が閉会を宣言し、臨時代議員会を終了した。

出席代議員及び出席役員は下記のとおり。

1．出席代議員

1 番 岩 見 晶 臣
 2 番 島 田 雅 弘
 4 番 高 崎 直 哉
 5 番 矢 野 裕 士
 6 番 植 松 昌 俊
 9 番 川 名 隆 司
 10番 市 来 能 成
 11番 尾 田 朋 樹
 12番 弘 野 修 一
 13番 栗 林 忠 信
 14番 神 尊 敏 彦
 15番 田 中 俊 正
 16番 中 山 健
 17番 成 田 博 実
 18番 原 田 一 道
 19番 増 田 好 治
 20番 三 宅 和 昭
 21番 山 村 善 教
 22番 済 陽 英 道
 24番 木 村 健
 25番 重 平 正 文
 28番 仮 屋 純 人
 29番 宮 本 義 明
 30番 日 高 孝 紀
 31番 牧 野 剛 緒
 32番 渡 邊 康 久
 33番 青 柳 淳太郎
 34番 永 友 和 之
 出席 28名(予備代議員)

2．出席役員

会 長 河 野 雅 行
 副 会 長 富 田 雄 二
 常任理事 立 元 祐 保
 " 吉 田 建 世
 " 小 牧 斎
 " 荒 木 早 苗
 " 池 井 義 彦
 " 牛 谷 義 秀
 " 金 丸 吉 昌
 " 佐々木 幸 二
 " 高 村 一 志
 理 事 上 田 章
 " 峰 松 俊 夫
 " 川 野 啓一郎
 " 佐 藤 信 博
 " 佐々木 究
 " 岩 村 威 志
 " 米 澤 勤
 " 鮫 島 浩
 " 糸 数 智 美
 " 内 村 大 介
 3．出席監事
 監 事 赤 須 巖
 " 中 村 周 治
 " 小 牧 文 雄
 出席 24名

平成 26 年度第 71 回宮崎県医師会総会

と き 平成 26 年 6 月 21 日(土)

ところ 県医師会館

富田副会長が開会を宣言し、まず平成 26 年度総会以降の物故会員(下記 2 名)の先生方に対し、参加者全員で黙祷を捧げ弔意を表した。

続いて、河野県医師会長の挨拶、役員紹介、来賓祝辞、来賓紹介が行われた後、各種表彰・祝賀が行われた。

物故会員に対する弔意黙祷

貴島 信夫 先生(宮崎)

竹内 三郎 先生(〃)

河野 通 先生(〃)

効部 元継 先生(〃)

森下 博夫 先生(〃)

猪島 康公 先生(〃)

坂川 英昭 先生(〃)

山下 博 先生(都城)

田辺 龍樹 先生(〃)

折津 達 先生(〃)

宇宿不二夫 先生(〃)

野村 英輔 先生(延岡)

平田伊都子 先生(〃)

鮫島 哲也 先生(日向)

緒方 節生 先生(〃)

丸田 民昭 先生(南那珂)

渡辺 啓司 先生(西諸)

山中 積 先生(〃)

田苗 英次 先生(西臼杵)

千々岩一男 先生(宮大医)

木下 和夫 先生(名誉会員(元宮崎医科

大学学長・宮崎大学医学部名誉教授))

河野県医師会長挨拶(要旨)

本日は、河野俊嗣県知事をはじめ、多くの

来賓の皆様にご臨席を賜り、心より感謝申し上げます。

この度、稲倉会長の後を受け、県医師会執行部を任された。新執行部役員に就任された先生方や事務局と相談しながら、県医師会の伝統を守りつつ運営したいと考えている。

ご存知のように医療を取り巻く情勢は非常に厳しいものがあり、多くの難問が山積している。診療報酬改悪に伴う地域医療の崩壊、医師確保問題、医療関係者確保問題、TPP 問題、医療事故の取り扱いを巡る問題、我が国の健康長寿国達成に多大の貢献をした皆保険制度の見直しとも取れる混合診療の容認が成長戦略・規制緩和とやらでターゲットにされている。更には消費税や医療機関承継に関わる相続税等の諸税を巡る問題も深刻な影を落とし始めている。その他数え上げるのが困難な程多くの問題が挙げられ、新たな問題も次から次に発生している。

中でも地域医療の崩壊は由々しき問題である。医師会・医師の最大の存在目的は「県民の生命と健康を守る」ことに尽きる。即ち「地域医療を守る」ことであると申しても過言ではない。「地域医療を守る」ということは、患者さん・県民を守るのは勿論、医療提供者をも守らねばならないことも忘れてはならない。地域医療・福祉の充実は関係者だけの努力では限度がある。県民全体・皆で作り上げ、皆が幸福な状態に持っていくことではないだろうか。

様々な問題を解決するには日本医師会、各

県医師会，県内各都市医師会，県行政，大学，関連諸団体等々との協議や協調も欠かすことはできない。

更に，問題解決に当たって重要なことは，行政並びに政治家の先生方のお力をお借りしなければ何も動かないことである。しかし，お願いするばかりではなく我々も様々な相応の協力を惜しんではならないと考える。

県医師会としては，役員・事務局の総力を挙げて，一つひとつの問題に真摯に向き合いスピードを持って取り組んでまいる所存である。且つ，今まで通りに開かれた県医師会を目指す。皆様方の今後ますますの御協力をお願いする。

本総会では，宮崎県医療功労者知事表彰，功労会員表彰，退任役員感謝状贈呈，会員医療機関永年勤続職員表彰，永年勤続県医師会等職員表彰，高齢会員及び各種表彰祝賀の披露が予定されている。様々な御功績に対して改めて敬意を表し，心よりお祝い申し上げます。

先程，総会に先立って開催された県医師連盟執行委員会である宮崎県知事選挙に当たり，ひたむきに県政に取り組んでいらっしゃる，本日来賓としてご臨席いただいている，現職の河野俊嗣知事の推薦が全会一致で決定された。今後，全力で支援してまいりたいので，皆様の御協力・御支援をよろしくお願い申し上げます。

御来賓の方々，御参集の皆様方の今後ますますの御健勝を祈念して，挨拶に代えさせていただきます。

役員紹介

平成 26年 6 月 21日の定例代議員会終結後より就任した会長以下，監事，議長，副議長を含む新役員の紹介が行われた。

来賓祝辞及び来賓紹介

河野 俊嗣 県知事

福田 作弥 県議会議長

武井 俊輔 衆議院議員

田代 和久 県薬剤師会長

原田 宏 宮崎大学副学長

江藤 拓 衆議院議員(代理)

古川 禎久 衆議院議員(代理)

中山 成彬 衆議院議員(代理)

松下 新平 参議院議員(代理)

長峯 誠 参議院議員(代理)

宮崎県医療功労者知事表彰

皆内 康廣 先生(宮崎)

平田 宗勝 先生(都城)

戸島 信夫 先生(延岡)

高橋 政見 先生(児湯)

佐藤 幸憲 先生(西都)

以上 5 名の先生方に対し，宮崎県医療功労者知事表彰式が執り行われ，河野知事から表彰状と記念品が手渡された。

功労会員等表彰

本会表彰内規に基づき，法人運営等に多大な貢献が認められる会員等を表彰するもので，今回は，宮崎の王丸鴻一先生が受賞されることが紹介された。

退任役員表彰

前 議 長 山元 敏嗣 先生(南那珂)

前 副 議 長 牧野 剛緒 先生(延岡)

前 会 長 稲倉 正孝 先生(宮崎)

前常任理事 古賀 和美 先生(宮崎)

前常任理事 石川 智信 先生(宮崎)

前 理 事 高橋 政見 先生(児湯)

前 理 事 矢野 裕士 先生(西諸)

前 理 事 直井 信久 先生(宮大医)

前 理 事 青木 洋子 先生(宮崎)

以上の前役員に対し，感謝状と金一封が贈呈された。

永年勤続職員表彰

県内の会員医療機関において，昨年度，勤務年数が満 30年に達した職員 46名を代表して，東明様 潤和会記念病院)に表彰盾が贈呈され，

引き続き祝意に対し謝辞が述べられた。

永年勤続県医師会等事務職員表彰

県医師会等に 20 年以上勤務し功労があった職員 1 名に対し感謝状等が贈られた。

各種祝賀(高齢会員並びに各種表彰)

河野会長が高齢会員(米寿 [21 名], 喜寿 [12 名])の席に出向き、直接お祝い金と記念品を手渡し祝意を表した。

また、平成 25 年度総会以降、叙勲、大臣表彰、知事表彰等、県関係以上の各種表彰を受賞された 43 名の先生方に祝意を表した。その後、各種表彰者を代表して、河野会長から大塚直純先生にお祝いの記念品が贈呈され、引き続き祝意に対し謝辞が述べられた。

【高齢会員祝賀】

・米寿会員 21 名

(昭和 2 年 1 月 1 日～昭和 2 年 12 月 31 日生)

大田原文男 先生(宮崎)
黒田 隆 先生(〃)
高木 秀昭 先生(〃)
高山 幸子 先生(〃)
土居 博 先生(〃)
浜田 健三 先生(〃)
相良 直矢 先生(都城)
田中 昭彦 先生(〃)
政所 修治 先生(〃)
宮永 家昌 先生(〃)
岩淵 正賢 先生(延岡)
萩原 武雄 先生(〃)
廣田 昭三 先生(〃)
児玉三千男 先生(日向)
千代反田泉 先生(〃)
松岡 弘 先生(〃)
黒木 和裕 先生(児湯)
岩田 達男 先生(南那珂)
鬼塚恵一郎 先生(西諸)
前田 昭久 先生(〃)

森 憲正 先生(宮大医)

・喜寿会員 12 名

(昭和 13 年 1 月 1 日～昭和 13 年 12 月 31 日生)

後藤 勇 先生(宮崎)
小林 邦雄 先生(〃)
田崎 高伸 先生(〃)
前田 幸徳 先生(〃)
増田 好治 先生(〃)
福島 正明 先生(都城)
小池 祐一 先生(延岡)
鶴 敬雄 先生(児湯)
上山征史郎 先生(西都)
島田 鳴海 先生(南那珂)
松田 弘彦 先生(〃)
針貝 正純 先生(西諸)

【各種表彰受賞(章)】

(平成 25 年 6 月 15 日(出)総会以降～現在まで)

平成 25 年 8 月 22 日

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰

川島謙一郎 先生(宮崎)
湯田 鉄哉 先生(〃)
園田 光正 先生(都城)
藤元静二郎 先生(〃)
矢野 良英 先生(〃)
小池 祐一 先生(延岡)
野村 英輔 先生(〃)
藤本 孝一 先生(〃)
稲原 明肆 先生(日向)

平成 25 年 9 月 3 日

救急医療功労により県知事表彰

小牧 文雄 先生(都城)
岡村 博道 先生(延岡)
児玉 健二 先生(西都)

平成 25 年 9 月 9 日

救急医療功労により厚生労働大臣表彰

柳田 喜美子 先生(都城)

平成 25年 9 月 25日

国民健康保険関係功労により国保連合会中央会
長表彰

濱田 政雄 先生(宮 崎)

春田 厚 先生(")

佐藤 信博 先生(延 岡)

平成 25年 10月 2 日

産科医療功労により厚生労働大臣表彰

濱田 政雄 先生(宮 崎)

平成 25年 10月 22日

精神保健福祉事業功労により県知事表彰

川添 伸一 先生(日 向)

鮫島 哲郎 先生(")

金子 良一 先生(南那珂)

内村 大介 先生(西 諸)

平成 25年 10月 25日

精神保健福祉事業功労により厚生労働大臣表彰

瀧井 修 先生(日 向)

平成 25年 10月 25日

社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生
労働大臣表彰

本田 正之 先生(宮 崎)

平成 25年 10月 31日

国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰

蓑田 国廣 先生(宮 崎)

富田 雄二 先生(西 都)

平成 25年 11月 1 日

日本医師会最高優功賞

稲倉 正孝 先生(宮 崎)

平成 25年 11月 3 日

教育研究功労により瑞宝中綬章

南嶋 洋一 先生(宮 崎)

平成 25年 11月 3 日

警察協力功労により瑞宝双光章

小倉 克正 先生(宮 崎)

平成 25年 11月 7 日

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣
表彰

山中 正宣 先生(延 岡)

平成 26年 1 月 10日

公衆衛生事業功労により県知事表彰

出水 善文 先生(都 城)

野村 敏彰 先生(延 岡)

平成 26年 1 月 24日

第 42回医療功労賞(読売新聞社主催)

黒木 和男 先生(南那珂)

平成 26年 3 月 20日

公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰

土居 博 先生(宮 崎)

武田 信豊 先生(都 城)

泉 公美 先生(延 岡)

平成 26年 3 月 20日

公衆衛生事業功労により日本公衆衛生協会長
表彰

吉見多喜雄 先生(都 城)

黒瀬 明治 先生(延 岡)

平成 26年 4 月 29日

保健衛生功労により旭日双光章

大塚 直純 先生(西 都)

平成 26年 4 月 29日

保健衛生功労により瑞宝小綬章

内村 成良 先生(西 諸)

平成 26年 6 月 21日

医療功労により県知事表彰

皆内 康廣 先生(宮 崎)

平田 宗勝 先生(都 城)

戸島 信夫 先生(延 岡)

高橋 政見 先生(児 湯)

佐藤 幸憲 先生(西 都)

最後に、富田副会長の閉会挨拶で総会を終了
し、引き続き、同会場で懇親会を開催した。

九州医師会連合会第 334 回常任委員・ 九州各県医師会次期会長合同会議

と き 平成 26 年 6 月 7 日(土)

ところ 沖縄都ホテル

挨拶

宮城九医連会長の挨拶に続き、今期をもって勇退される宮崎県医師会の稲倉会長と新たに会長に就任する河野副会長の挨拶が行われた。

報告

- 1) 九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会(6月7日(土)那覇市)について(沖縄)
- 2) 九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議(6月7日(土)那覇市)について(沖縄)
- 3) 各地区代表者懇談会(4月20日(日))について(沖縄)

勤務医・女性医師登用に向けた日医理事増員に伴う選出方法の協議が行われ、全国8ブロックを東西にわけ、交互に勤務医、女性医師を選出する。西地区については、中部→近畿→中四国→九州の順で選出することが決定した旨の報告が行われた(平成32年九州ブロック勤務医選出)。

- 4) 春の叙勲等受章者への慶祝について(沖縄)
小森貴日医常任理事が藍綬褒章を受けられたことに対し、九医連から祝意を表した旨の報告が行われた。

5) その他

長崎県の佐藤健次郎委員の急逝に伴い、九医連から弔意を表した旨の報告が行われた。

協議

- 1) 日本医師会理事(勤務医・女性医師)選出について(沖縄)
福岡(平成32年)・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄の順とすることを承認

した。

- 2) 九州医師会連合会監査会・事務引継の開催について(沖縄)

平成26年7月19日(土)に沖縄県医師会館で開催することを承認した。

- 3) 九州地方社会保険医療協議会委員の推薦について(福岡)

平成26年10月13日に宮崎、沖縄の委員が任期満了になり、新たに熊本、鹿児島から委員を推薦することを承認した。

- 4) 九州ブロックから推薦する次期日本医師会役員等の候補者について(沖縄)

理事2名：蒔本恭先生(長崎)・近藤稔先生(大分)を推薦することを承認した。

裁定委員1名：福島建一先生(長崎)を推薦することを承認した。

- 5) 平成26年度・27年度における日本医師会代議員会の諸委員について(沖縄)

議事運営委員1名：池田秀夫先生(佐賀)、財務委員2名：富田雄二先生(宮崎)・野村秀洋先生(鹿児島)を推薦することを承認した。

- 6) 第133回日医臨時代議員会(平成26年6月29日(日))における質問者(ブロック代表及び個人)について(沖縄)

ブロック質問「診療報酬改定により生じた在宅医療の問題点について」長柄均代議員(福岡)、個人質問1「日医の活動方針などの会員への説明方法、広報について」佐藤光治代議員(長崎)、個人質問2「日医役員補欠選挙の際、現職役員が立候補する場合の辞任の要否について」立元

祐保代議員(宮崎)の3題を提出することを承認した。

- 7) 第132回日医定例代議員会・第133回日医臨時代議員会開催に伴う九州ブロック(次期)日医代議員連絡会議(平成26年6月27日(金)・28日(土)・29日(日))の開催について(沖縄)
平成26年6月27日(金)18:00から第一ホテル東京,平成26年6月28日(土)・29日(日)の両日9:00から日医会館九州ブロック控室で開催することを承認した。

- 8) 日本医師会次期会長候補者の推薦について(沖縄)

現職の横倉義武会長(福岡)を推薦することを再確認し,引き続き「横倉義武日本医師会会長候補選挙対策本部」本部長の松田福岡県医会長から,横倉会長が支持する役員候補者(3副会長及び10常任理事)への支援依頼があり,九医連として推薦することを承認した。

- 9) 日本医師会次期役員等候補者の推薦届出と都道府県医師会選出日医代議員への文書による協力依頼等について(沖縄)

九州ブロック所属の横倉会長候補,今村定臣常任理事候補,蒔本理事候補,近藤理事候補,福島裁定委員候補に対する支援依頼を,九医連及び九州各県会長等の連名で,日医代議員に対し送付することを承認した。

- 10) その他

- 九州医師会連合会災害時医療救護協定書等について(福岡)

松田福岡県医会長から,毎年,九州衛生

主管部長会議等で懸案事項となっている災害時の県外派遣の事後追認等について,医師会間の協定案及び傷害保険の提案があり,今後,常任委員会や各種協議会で協議していくことを承認した。

- 平成26年度九州医師会連合会及び各種関連行事予定表案について(長崎)

蒔本長崎県医会長から,平成28年2月に予定していた常任委員会及び第2回各種協議会を4月に変更する旨の提案があり,今後検討していくことを承認した。

その他

- 1) 第58回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに平成26年度九州学校検診協議会年次大会の開催について(宮崎)

稲倉宮崎県医会長から,メインテーマを「子どもを守ろう未来のために～私たちが今できること～」と掲げ,来る8月3日(日),宮崎市の宮崎観光ホテルで開催する旨の説明と参加奨励が行われた。

- 2) 平成26年度九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議の協議議題等について(状況報告)(宮崎)

稲倉宮崎県医会長から,地域医療ビジョンの策定を含めた4つの議題を中心に,来る7月4日(金)宮崎市の宮崎観光ホテルで開催する旨の説明が行われた。

出席者 - 稲倉会長,河野副会長,竹崎次長

九州医師会連合会常任委員・ 九州各県医師会次期日医代議員協議会

と き 平成 26 年 6 月 7 日(土)

ところ 沖縄都ホテル

九州医師会連合会長の宮城沖縄県医師会会長から「先に行われた常任委員会にて、全会一致で横倉先生の推薦を決定し、九州が一枚岩となって全力で支援していくことを再確認した。先生方の絶大なるご理解ご支援をお願い申し上げたい」との挨拶があった。

報 告

1. 九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議(6月7日(土)那覇市)について(沖縄)

宮城座長から会議日程及び協議内容について報告があった。

2. その他

先に行われた合同会議にて、来る 29 日に開催される第 13 回日医臨時代議員会に提出するブロック代表質問・個人質問が決定した旨の報告があった。

協 議

1. 九州ブロックから推薦する次期日本医師会役員等の候補者について(沖縄)

宮城座長から、理事・裁定委員については、先に開催された常任委員会にて確認を行った旨の報告があり、以下の先生方を候補者とすることに決定した。

理 事 長崎県 蔭本 恭 先生

大分県 近藤 稔 先生

裁定委員 福島 建一 先生

2. 平成 26 年度・27 年度における日本医師会代議員の諸委員について(沖縄)

宮城座長から、先に行われた常任委員会において、九医連の申し合わせ事項により、議事運営委員に佐賀県の池田秀夫代議員、財務委員 2 名に宮崎県の富田雄二代議員と鹿児島県の野村秀洋代議員を推薦することが確認された旨の報告があり、協議の結果、推薦することに決定した。

3. 第 13 回日医定例代議員会・第 13 回日医臨時代議員会開催に伴う九州ブロック(次期)日医代議員連絡会議(平成 26 年 6 月 2 日(金)・28 日(土)・29 日(日))の開催について

(沖縄)

今回は日医役員選挙の年のため、6 月 27 日(金) 18:00 より、新橋の第一ホテル東京にて開催し、28・29 日は日本医師会にて開催することが承認された。

4. 日本医師会次期会長候補者の推薦について

(沖縄)

松田福岡県医師会会長から、「強い医師会、強い執行部を作り、チーム横倉として一致団結して困難に立ち向かっていただきたい」との発言があった。先程の合同会議にて、九医連として横倉日医会長の推薦が承認されたこと等が報告され、承認された。

5. 日本医師会次期役員等候補者の推薦届出と都道府県医師会選出日医代議員への文書による協力依頼等について(沖縄)

推薦届出と協力依頼等について、慣例により担当県にて書類作成と準備を行うことが承認された。

その他

横倉日医会長候補、中川・今村・松原日医副会長候補、今村日医常任理事候補から挨拶があった。その他の常任理事候補者については、資料により横倉会長から紹介があった。

出席者 - 稲倉会長、河野・富田副会長、

立元・濱田常任理事、竹崎次長、

久永課長、田崎・竹本・瀬戸山主事

九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議

と き 平成 26年 6月 7日(土)

ところ 沖縄都ホテル

宮城九州医師会連合会長・沖縄県医師会長の挨拶の後、宮城会長を座長に選出し、報告に入った。

報告では、日本医師会の委員会の協議内容について、九州ブロック選出の日医委員からの報告と、藤川日医常任理事からの中央情勢報告があった。

1. 地域医療対策委員会

日医地域医療対策委員会委員 大橋 輝明

地域医師会を中心とした在宅医療のあるべき姿について、在宅医療提供側の6つのパターンを示し、高齢化と人口減少社会における日本の医療・介護の現在と将来を概括し、その上で、郡市医師会が在宅医療連携拠点の役割を担い、地域の医療ビジョン作成を主導するべきであるとの提言がなされた。在宅医療提供側の医療体制については都市部や地方、地域特性に応じて多様であり、開業医が行うべき6つの理想的な在宅医療体制が説明された。また、その在宅医療体制を組み合わせることにより、人口を基準とした都市、地方に適する在宅医療体制の選択例が示された。

2. 医療Ⅱ委員会

日医医療Ⅱ委員会委員 井上 雅公

医療Ⅱ委員会に諮問された「Ⅱを活用した地域医療連携の実践について」の概要が説明された。

インターネット上でなりすましを防止するためには、電子署名とログイン認証が必要であり、日医認証局でのこれらへの取り組みが重要になってくる。医師資格証の発行については、医師免許証の原本での本人確認など、厳格に審査をしたうえで発行する。

Ⅱを活用した地域医療連携については、過去に全国で様々なシステムが構築されたが、運営費用が高額でシステム維持が難しいことから、その取り組みがあまり進んでおらず、停止された所も多い。今後「新たな財政支援制度」によりシステム構築に取り組むところも出てくるが、県行政と十分に協議をし、継続性も考えていくべきである。

また、使いやすさとセキュリティのバランス、多職種連携の場合の国家資格でない職種の人々の認証方法等課題が示された。

3. 中央情勢報告

日本医師会常任理事 藤川 謙二

有床診療所だけでなく中小病院も全てスプリングラーの設置を義務付けるべきかという問題について消防庁検討部会で検討している。検討会では、設置・義務の対象となる有床診療所・病院を現行6,000㎡以上の有床診療所の面積基準から病院と同じ3,000㎡に引き下げる。3,000㎡未満の有床診療所・病院について、火災時に避難困難な者が入院する施設のうち、特に必要性の高い類型の施設については、面積に関わらず設置を義務づけることとしてはどうかとの提案があった。

その他、特定行為に係る看護師の研修制度についての説明と医療法人の承継税制について、中小企業再生支援による医療法人支援についての説明も合わせて行われた。

出席者 - 稲倉会長、河野・富田副会長、立元・濱田常任理事、竹崎次長、久永課長、田崎・竹本・瀬戸山主事

日医インターネットニュースから

■ 特定健診実施率，前年度比 1.52%増 — 厚労省 —

厚生労働省保険局は 7 月 4 日，2012 年度の特定健康診査・特定保健指導の実施状況を公表した。特定健診の実施率は前年度比 1.5 ポイント増の 46.2%，特定保健指導は同 1.4 ポイント増の 16.4%。ともに 08 年度から 5 年連続で増加しているものの，低い水準にとどまった。

特定健診の対象者は約 528 万人で，受診数は約 2440 万人。実施率は前年度比 1.5 ポイント増の 46.2% で，年齢階級別では 40～50 代で高く，性別では男性 51.4%，女性 41.1% となった。

一方，特定健診の結果から生活習慣改善が必要と判断された特定保健指導の対象者は約 432 万人で，健診受診者に占める割合は 17.7%。一方で，特定保健指導の終了者数は約 7 万人で，保健指導対象者の 16.4% にとどまっている。

(平成 26 年 7 月 8 日)

■ 紹介状なし大病院受診，患者負担は必要 — 医療保険部会 —

社会保障審議会・医療保険部会(部会長＝遠藤久夫・学習院大経済学部長)は 7 月 7 日，医療保険制度改革法案の来年の国会提出に向けて，紹介状なしで大病院を受診する場合の患者負担の在り方や，入院時食事療養費・生活療養費の負担などの具体的な議論に入った。

大病院を紹介状なしで受診する初・再診患者について一定の自己負担を求める方向に反対する意見はなかったが，現行の選定療養の仕組みで病院が徴収している自己負担の実効性を示すデータを踏まえて議論を深めるべきとの意見が複数あった。定額の負担額については初・再診料を上回る金額を求める意見が出た。厚生労働省は 9 月以降の議論で，負担額を入れた案を提示する方針だ。

厚労省は外来機能の分化について，200 床以上の病院ではすでに他の医療機関からの紹介状なしに病院を受診した初診患者(病院が他の医療機関(200 床未満)に対して文書による紹介を行う旨の申し出を行ったにもかかわらず受診した再診患者)について，選定療養として自己負担金を徴収できると説明。紹介状なしで大病院を受診する場合の患者負担の新たな仕組みについては<1>保険給付されていた初・再診料相当分を給付せずに，患者からの定額負

担に切り替える<2>保険給付の中で初・再診料相当分よりもさらに患者の負担を広げる<3>保険給付と一部負担金をそのままにして，外枠で別途，定額負担を設ける—の 3 パターンを示した。

いずれも各病院の判断で，選定療養として徴収する自己負担は残すとした。論点としては対象とする医療機関の範囲(対象患者・ケースなどの設定)・定額負担額・新たな定額負担は高額療養費の対象とするか—などを示した。

● 外来分離認めない措置を 鈴木常任理事

鈴木邦彦委員(日本医師会常任理事)は「紹介状なしで大病院を受診した患者の定額負担を求める考え方の方向性はよい。今回の診療報酬改定での紹介率・逆紹介率をめぐる項目の検証を進めながら，大学病院および特定機能病院から始める方向でよいのではないかと提案した。「その際には外来分離は認めないことを同時に措置することが必要だ」とも付け加えた。

定額負担の金額については「今後の議論だろうが，われわれとしては初・再診料相当分ではなく，“プラスアルファ”の金額ではないか」と述べた。高額療養費の対象にはしないとした。

● 所得高い国保組合，補助見直しで応酬

一方，同日の社会保障審議会・医療保険部会では，所得水準の高い国保組合への国庫補助見直しも話題に上がった。

委員のうち日本医師会の鈴木邦彦常任理事や日本歯科医師会の堀憲郎常務理事らが，国庫補助見直しに慎重な議論を求める一方で，健保連の白川修二副会長は，所得水準の高い国保組合への補助見直しを前向きに検討すべきと強調した。

鈴木委員は，医師国保の保険料収納率がほぼ 100% であることや，一部の赤字組合にとっては国庫補助の見直しが死活問題になるとした上で「一方的な見直しは容認できない」と指摘。堀委員も，国保組合のこれまでの歴史，活動に理解を求めながら「ただ単に所得が高いというだけでの議論」として慎重姿勢を示した。一方で白川委員は「保険制度である以上，基本的に保険料で運営するのが筋だ。財政的に保険料だけでやっていけるのであれば，それをやるべき」と突っぱねた。

また，被用者保険や国保の保険料で設定され

ている標準報酬月額上限や、保険料賦課限度額の見直しも話題になったが、被用者保険の標準報酬月額上限の引き上げには慎重な意見が目立った。（平成 26年 7 月 11日）

■ 解決に向けた課題とは

— 消費税問題 —

控除対象外消費税問題の具体的解決法をめぐる医療界の意見調整が、日本医師会を中心に水面下で進められている。

これまでの経緯を踏まえると、選択肢は大きく分けて課税ゼロ税率、課税軽減税率、非課税全額還付、非課税一部還付に絞られてきたといえ、日医は9月上旬をめどに医療界全体の最終的な意見を取りまとめる考えた。意見集約が図られるのを前に、これらの解決策がもたらす影響やそれぞれの課題をあらためて整理した。

医療機関の事務負担は、いずれの選択肢（課税ゼロ 課税軽減 非課税還付）を選んでも大きくなるが、どの程度の負担増となるかはルール次第で変わるため、現時点でははっきりしない。過去の診療報酬への補填分についても、いずれの選択肢でも引きはがされる可能性があるが、どの程度、引きはがされるかは今後の検討結果によって違ってくる。

四段階税制や診療報酬に関する事業税措置への影響も懸念材料だ。現状、社会保険診療は消費税が非課税だが、課税転換すると、これに合わせる形で事業税が課税化される可能性がある。このため非課税還付の方が、事業税措置への影響は小さいとの指摘もある。

課税軽減の場合、患者にとっては「医療の課税化」につながるため、国民の反発を招くリスクを内包する。与党内には、これを理由に「課税化せず非課税還付を採用すべき」という声がある。

現状、日本では非課税還付が認められている

事例はないという。仮に医療のみ非課税還付とするなら、法改正の労力は課税ゼロ・課税軽減に比べて大きくなるとされる。この点は非課税還付を実現する上でのハードルとなる。

● 与党が三師会からヒアリング

自民、公明両党による与党税制協議会は、生活必需品などに対する軽減税率を検討するため、関係団体からヒアリングを始めている。医療界からは日医、日歯、日薬の3団体が招かれ、いずれも7月29日に意見表明する予定だ。

医療に軽減税率を適用することになれば、課税転換に向けた道筋がつくことになる。

（平成 26年 7 月 18日）

■ 診断や発症予測は「臨床判断値」で

— 日医と日本医学会 —

日本医師会と日本医学会は7月23日の会見で、日本人間ドック学会と健保連がこのほど公表した健診の基本検査の新たな基準範囲に対し、あらためて見解を述べた。人間ドック学会などは、あくまで検査結果を評価する際の物差しとなる「基準範囲」を示したもので、疾病の診断や将来の疾病発症の予測などに用いられるべき「臨床判断値」ではないと説明。人間ドック学会などに正しい理解を周知するよう求めた。

日本医学会の高久会長は「基準範囲（の上限値・下限値）と臨床判断値は異なるのが当然。そして、疾病の診断、将来の疾病発症の予測、治療の目標に用いられるべきは臨床判断値だ」とし、理解を求めた。

日医の松原謙二副会長は「患者から『薬はもう飲まなくて良いのか』という質問を受けることがある」と述べ、医療現場に混乱を招いている状況を説明。今後、医師会員に情報提供するなど周知を図る考えを示した。（平成 26年 7 月 25日）

このコーナーの記事は“日医インターネットニュース”から抜粋して掲載していますので、詳細を知りたい方は日本医師会ホームページをご覧ください。毎週火・金に更新していますので全ての記事が閲覧できます。

日医インターネットニュースへのアクセス方法

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) にアクセス

日本医師会ホームページ右上のメンバーズルームをクリック

メンバーズルームに入る方法

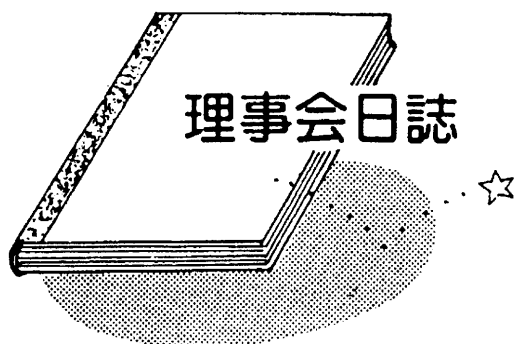
ユーザー ID 会員 ID 番号(日医からの送付物の宛名シール下部に印刷されている10桁の数字)を0も含め、全て半角で入力

パスワード 先生の生年月日の6桁の数字を半角で入力
例) 1964年5月1日生まれの場合、610501

第 16 回生命を見つめるフォトコンテスト

応募規定は、以下のアドレスをご覧ください。

〔公式ホームページ〕<http://info.yomiri.co.jp/event/contest/>



平成 26年 6 月 17日(火)第 7 回常任理事協議会

医師会関係
(議決事項)

1. 8 / 23(土)・24日(日)『第 45 回中四九地区医師会看護学校協議会』への担当理事派遣について
呉医師会看護専門学院が当番校となり「教育はおもしろい - 共に育つことをめざして - 」をテーマに開催される協議会で、役員と職員が出席することが承認された。
2. 6 / 21(土)第 160 回定例代議員会、第 161 回臨時代議員会の役割分担について
当日のスケジュールと役割分担等の確認が行われ、スケジュールのとおり開催することが承認された。
3. 平成 26 年度救急医療事業功労者の知事表彰候補者の推薦について
救急医療対策の推進等救急医療の確保に貢献した団体及び個人に対し贈られる表彰で、4 名の先生を推薦することが承認された。
4. 宮崎県医師会役員報酬支給について
県医師会役員等報酬等規程に基づき支給することが承認された。
5. 役員退任に係る役員退任慰労金支給について
退任される 9 名の役員に対して、県医師会役員等報酬等規程に基づき支給することが承認された。
6. 職員の夏季手当支給について
県医師会職員給与規程に基づき、県人事委員会の勧告を参考に期末・勤勉手当を支給することが承認された。
7. 8 / 18(金)ニューウェルシティ宮崎)みやざき若手医師キャリアプラン講演会について
臨床研修医 2 年次(県内基幹型臨床研修病院で研修中の研修医)及び県内医師を対象に、日本専門医機構の池田理事長から「新たな専門医制度について」をテーマに講演会を企画したことから、役員に対し参加奨励が行われた。
8. 7 / 26(土)日医)第 10 回男女共同参画フォーラムの開催について
「医療会における男女共同参画のさらなる推進にむけて～ 10 年で医療会における男女共同参画は進んだのか～」をメインテーマに開催されるフォーラムで、荒木常任理事と金丸常任理事の出席が承認された。
9. 業務委託について
平成 26 年度女性医師キャリア支援相談窓口運営等事業に係る業務の委託契約について
→ 女性医師の離職を防止し、安心して出産・育児と勤務の両立ができる環境の整備を目的に、相談窓口の設置と意識啓発セミナー等を行う事業で、契約を締結することが承認された。
10. 平成 26 年度全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員・運営委員の推薦について
医療秘書学院を設置する都道府県医師会をもって組織される協議会で、常任委員に富田副会長を、運営委員に牛谷常任理事を推薦することが承認された。
11. (公財)労災保険情報センター長期運転資金の貸付に係る意見について
5 医療機関の照会があり、会員医療機関 4 件については意見を付けて回答し、非会員 1 件については意見しないことが承認された。

(報告事項)

1 . 週間報告について

2 . 6 /11(火) 日医)日医医療秘書認定試験委員会
について3 . 6 /12(水) 県総合保健センター)県健康づくり
協会理事会について4 . 6 /10(火) 宮観ホテル)現執行部と次期執行部
との引継ぎ懇談会について

5 . 6 /17(火) 県医)治験審査委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1 . 6 /28(土) ひまわり荘)自民党県連選挙対策委
員会の開催について

当日は日医代議員会等と重なっており、事
務局対応とすることが承認された。

平成 26 年 6 月 24 日(火) 第 2 回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1 . 本会外の役員等の推薦について

社会保険診療報酬支払基金宮崎支部幹事の
推薦について

→ 稲倉前会長が退任されたことに伴う後任
幹事の推薦依頼であり、河野会長を推薦す
ることが承認された。

宮崎県後期高齢者医療広域連合運営懇話会
委員の推薦について

→ 広域連合会長の諮問機関として、後期高
齢者医療制度に関連する事項について広く
意見を求めるために設置される懇話会で、
石川常任理事の退任に伴う後任委員の推薦
依頼であり、医療保険担当の小牧常任理事
を推薦することが承認された。

2 . 後援・共催名義等使用許可について

11/15(土)・16(日) 宮大 第 10 回清花祭清武キャン
パス医学展名義後援申請について

→ 宮大医学部学生による医学・医療に関す
る展示発表を行う医学展で、名義後援を行
うことが承認された。

10/19(日) 鹿児島 第 5 回九州在宅医療推進
フォーラムの開催のお知らせとご後援のお
願いについて

→ 九州の在宅医療の普及および振興におけ
る多職種間の連携と信頼関係構築を目的に、
鹿児島市で開催されるフォーラムで、名義
後援を行うことが承認された。

8 /4(月)~ 6(水) 南九州大学都城キャンパス)
全国訪問教育研究会第 2 回全国大会(南九
州大会)の後援名義の使用について

→ 障害が重く学校に通学できない児童生徒
に対する訪問教育の実践について研究し、
質的向上を目指して開催される南九州大会
であり、名義後援を行うことが承認された。

3 . 業務委託について

家族計画及び避妊指導に関する調査研究事
業の業務委託契約について

→ 望まない妊娠の防止や家族計画・避妊指
導の充実を目的に、実態調査や手引きの作
成、配布を行う事業で、契約を締結するこ
とが承認された。

H T L V -1(ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型)

母子感染対策事業の業務委託契約について
→ 疾病に対する基本的知識等を得得するた
めの研修会やマニュアルの作成、相談支援
の普及啓発、実態調査等を行う事業で、契
約を締結することが承認された。

県立学校における長時間勤務職員に対する
医師による面接指導に係る業務委託契約に
ついて

→ 県立学校職員で 1 か月あたりの超過勤務
時間が 80 時間を超え、かつ面接を希望する
職員を対象に行われる事業であり、面接指
導協力医療機関については、毎年、協力の

有無を確認し、契約を締結することが承認された。

平成 26年度訪問救急救室事業の業務委託契約について

→地域の小児科医が、県内の保育所や幼稚園に出向き、職員・保護者等を対象に、小児救急医療の基礎知識を中心に講演を行う事業で、契約を締結することが承認された。

平成 26年度小児救急医療電話相談事業の業務委託契約について

→小児救急患者の保護者等からの電話による相談を受けることにより、その不安を軽減するとともに、小児救急医療機関への不必要な受診を抑制することで、小児科救急医の負担軽減を図り、本来の小児救急患者への対応に専念できる体制づくりを進める事業で、契約を締結することが承認された。

平成 26年 4 月より一時的に県医師会館 1 階「救急医療情報室」で対応していたが、セキュリティの不安要素も改善され、防犯上の安全確保もなされ、相談看護師の評判も良いので、継続的に本会で相談業務を実施することとなった。

平成 26年度小児科専門研修医症例研究事業の業務委託契約について

→県内の小児医療機関及び大学が共同で症例研究会を開催することにより、小児科専門研修医の更なる資質向上及び小児医療の充実を図ることを目的に実施される事業で、契約を締結することが承認された。

4. 宮崎県医師会役職員緊急連絡網への登録について

緊急時や災害時に速やかに県医役職員に連絡ができるよう、携帯電話のメール機能を使った緊急連絡網を構築しているので、新理事に登録の依頼が行われた。

5. 7・8月の行事予定について

7月の追加行事と8月の行事の確認が行われた。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 6/18(県医) 医家芸術展世話人会について

3. 6/19(県医) 県有床診療所協議会役員会について

4. 6/24(県庁) 九州地区健康教育研究大会 県実行委員会について

5. 6/21(県医) 県医定例代議員会等について

6. 6/22(県医) 透析医会協議会について

7. 6/23(県医) 広報委員会について

8. 6/23(県医) 宮崎市郡医師会予防接種研修会について

9. 6/12(県医) 県医医学会役員会について
医師連盟関係

(議決事項)

1. 日本医師連盟執行委員のご推薦について

執行委員 2 名の推薦依頼であり、河野委員長と富田副委員長を推薦することが承認された。

2. 平成 26年度国・県に対する要望並びにヒアリング・懇談会の案内について

昨年度提出した 6 項目(医療税制、医師不足対策、有床診療所存続、予防接種体制の整備強化、医師会立看護師・准看護師養成校への財政支援、国民皆保険制度堅持)を中心に修正を加え、各都市医師連盟にも 7/10を締め切りとして要望を聞くことが承認された。

8/1のヒアリングへの出席者については、河野委員長と各テーマの担当理事を後日調整することとなった。

平成 26 年 7 月 1 日(火)第 8 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 国保共同電算処理システム不具合に伴う保険者間調整の実施について

高額療養費の計算で診療月以降に世帯変更した場合不具合がで誤りが生じるとのことであり、医療機関に返戻せず国保連合会が県医師会と診療報酬債権の行使に関する代理権限を付与することにより、会員の医療機関を介さず、全国の保険者間で調整することを基本として処理するために、河野会長名で会員リストを添付の上、国保連合会へ委任状を提出することが承認された。

2. 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者(医科)の新規個別指導の実施に係る立会について

8 医療機関を対象に行われる病院に対する新規個別指導で、金丸常任理事を立会人として派遣することが承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について

宮崎県医師国民健康保険組合理事の推薦について

→慣例で本会理事が医師国保組合の理事に就任しており、6 名の理事を推薦することが承認された。

県立看護大学あり方検討委員会委員の就任について

→県立看護大学の今後のあり方、運営形態について検討を行う委員会であり、河野会長が委員に就任することが承認された。

県立病院事業評価委員会員への就任について

→県立病院事業中期経営計画の進捗状況等を評価する委員会であり、河野会長が委員に就任することが承認された。

日本赤十字社宮崎県支部評議員の選出について

→赤十字事業についての評議員への就任依頼であり、河野会長が委員に就任することが承認された。

宮崎県がん対策推進協議会委員の就任について

→がん対策の効果的な推進を図るための協議会であり、河野会長が委員に就任することが承認された。

宮崎県生活習慣病検診管理指導協議会委員の推薦について

→健康審査の実施状況や検診実施機関の精度管理の状況を把握・評価して、専門的な見地から適切な指導を行うことを目的として協議会が設置されており、協議会長に河野会長を推薦し、生活習慣病登録・評価等委員、乳がん委員、肺がん委員にそれぞれ理事を推薦することが承認された。

宮崎県学校保健会役員の推薦について

→学校保健会の会長には河野会長、監事には糸数理事を推薦することが承認された。

介護給付費審査委員会サービス担当者代表委員の推薦について

→介護給付費請求書の適正なる審査に資することを目的に審査委員会が設置されており、立元常任理事を推薦することが承認された。

宮崎県准看護師試験委員の推薦について

→試験問題作成の委員推薦であり、立元常任理事を推薦することが承認された。

宮崎県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会委員の推薦について

→ジェネリック医薬品の促進協議会委員の推薦依頼であり、池井常任理事を推薦することが承認された。

宮崎県献血推進協議会委員の推薦について
→献血事業の推進についての協議会であり、
本会理事を推薦することが承認された。

宮崎大学医学部医の倫理委員会委員の推薦
について

→医学部医の倫理委員会外部委員の推薦依
頼であり、本会理事を推薦することが承認
された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

9 / 6 (土) (JA - A Z M) 2014 第 2 回宮崎県輸血
懇話会の名義後援について

→輸血医療および血液事業の活性化を図る
ことを目的として、輸血医療に携わる医療
従事者を対象に行われる懇話会で、名義後
援を行うことが承認された。

9 / 13 (土) (メディキット) 宮崎をホスピスに
～高齢期の終末を自分らしく～名義後援の
お願いについて

→「宮崎をホスピスに～高齢期の終末を自
分らしく～」をテーマとして開催される市
民公開講座で、名義後援を行うことが承認
された。

5. 9 / 26 (金) (日医) 「大学医学部・医学会女性医 師支援担当者連絡会」～よりよい男女共同参 画を目指して～の開催について

医師会と大学医学部・医学会の女性医師支
援や男女共同参画の担当者を集めて開催する
ものであり、荒木・金丸常任理事が出席する
ことが承認された。

(報告事項)

1. 6 / 27 (金) ～ 29 (日) (東京・日医) 九州ブロック日 医代議員連絡会議について

2. 6 / 28 (土) ～ 29 (日) (日医) 日医定例・臨時代議員 会について

3. 6 / 30 (日) (県立看護大) 県立看護大学あり方検 討委員会について

4. 7 / 1 (火) (県庁) 県総合計画審議会について

5. 7 / 1 (火) (県医) 治験審査委員会について

6. 6 / 30 (日) (県医) 県糖尿病対策推進会議小幹事 会について

7. 6 / 27 (金) (県医) 宮崎県予防接種広域化検討 会議について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 7 / 29 (火) (日医) 日医連執行委員会の開催に ついて

河野委員長と富田副委員長の出席が承認さ
れた。

(報告事項)

1. 6 / 28 (土) (ひまわり荘) 自民党県連選挙対策 委員会について

平成 26年 7 月 8 日 (火) 第 3 回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 7 / 31 (木) (JA - A Z M) 新規集団指導 (医科) の実施 について

7 医療機関を対象に行われる新規集団指導
の後、県医師会主催で「指導・監査について」、
「県医師会の活動について」等の説明会を開催
することが承認された。

2. 会長の職務代行の順位について

立元常任理事から、「定款第 3 条、第 6 項
及び 7 項の規程により、会長や副会長が欠け
た時又は事故ある時の職務代行の順位を決め
る必要がある。ついてはその順位を役員名簿
の掲載順のとおりとしたい」との説明が行わ
れた。

審議の結果、提案通り 富田副会長、濱
田副会長、立元常任理事 吉田常任理事、
小牧常任理事、荒木常任理事、池井常
任理事、牛谷常任理事、金丸常任理事、
⑩佐々木常任理事、⑪高村常任理事の順序と

することが了承された。正式決定は理事会となるので、次回、理事会で決議することが承認された。

なお、立元常任理事から「規程により、会長・副会長が欠けた場合は常任理事が職務代行することになる。しかし、本会の代表権は会長・副会長のみにある。もし、常任理事が職務代行者になったとしても本会を代表する職務は出来ないの、本会の業務は大幅に制約されることになる。従って会長・副会長がそろって欠けるようなことが有ってはならない。ついてはそのような可能性のある行為、例えば同じ飛行機に乗る等の行為は極力避けていただきたい」と要望があった。

3. 本会外の役員等の推薦について

宮崎大学医学部附属病院医師研修管理委員会委員の委嘱について

→役員改選に伴う委員委嘱の依頼であり、外部有識者として、河野会長を委員に委嘱することが承認された。

社会福祉法人宮日母子福祉事業団評議員並びに宮日母子福祉センター宮日診療所長の就任について

→役員改選に伴う評議員等への就任依頼であり、評議員並びに宮日診療所長として、河野会長が就任することが承認された。

公益財団法人宮崎県暴力追放センター顧問への就任依頼について

→役員改選に伴う暴力追放のための各種事業を積極的に推進する顧問への就任依頼であり、河野会長が顧問に就任することが承認された。

宮崎県ユニセフ協会理事の委嘱について

→役員改選に伴う理事への委嘱依頼であり、河野会長を理事に委嘱することが承認された。

公益財団法人宮崎県移植推進財団評議員・理事の推薦について

→役員改選に伴う評議員・理事の推薦依頼であり、評議員には河野会長を、理事には濱田副会長を推薦することが承認された。

日本医師会の委員会委員の委嘱について

→医療情報システム協議会運営委員会の委員について、富田副会長に委嘱依頼があり、委嘱することが承認された。

健やか妊娠推進事業における人工死産調査検討会委員の就任について

→健やか妊娠推進事業の新たに設けられた、望ましい妊娠・出産に有効な施策の推進についての検討会であり、県産婦人科医会の会長として濱田副会長に委嘱することが承認された。

東九州メディカルバレー構想宮崎県推進会議に係る委員の推薦について

→役員改選に伴う委員の推薦依頼であり、県や大学、旭化成等の産官学で設置されている推進会議の委員として、地域医療担当の池井常任理事を推薦することが承認された。

宮崎県慢性腎臓病(CKD)対策連絡協議会委員の推薦及び就任について

→役員改選に伴う委員の推薦依頼であり、慢性腎臓病対策に関する協議会の委員として、地域医療担当の池井常任理事を推薦することが承認された。

社会福祉法人宮崎県社会福祉事業団評議員の推薦について

→役員改選に伴う評議員の推薦依頼であり、介護保険担当の金丸常任理事を推薦することが承認された。

宮崎県重症難病患者入院施設確保事業における難病医療連絡協議会委員の推薦及び承諾について

- 役員改選に伴う委員の推薦依頼であり、地域医療担当の池井常任理事を推薦することが承認された。
- 宮崎県衛生環境研究所調査研究評価委員会委員の推薦について
- 役員の業務分担の変更に伴う委員の推薦依頼であり、公衆衛生担当の高村常任理事を推薦することが承認された。
3. 九州医師会連合会会員数並びに常任委員・委員の推薦について
- 会員数、郡市医師会の住所・会員数は事務局で報告を行う。常任委員については河野会長、委員については日医代議員の富田・濱田副会長、立元常任理事と代議員会議長の渡邊先生、吉田常任理事の合計6名を推薦することが承認された。
4. 業務委託について
- 平成 26年度救急医療施設医師研修事業の委託契約について
- 救急医療を担当する医師の救急医療に対する知識と技能の向上を図ることを目的に、ICLS指導者養成ワークショップ、ACLS研修会等を実施する事業で、委託契約を締結することが承認された。
- 平成 26年度緩和ケア研修事業に係る業務の委託契約について
- 緩和ケアチームやホスピス・緩和ケア病棟、在宅療養支援診療所等による地域連携を目的に、緩和医療に取り組む医療従事者を対象にした研修会を中心とする事業で、委託契約を締結することが承認された。
5. 8/8(金 ニューウェルシティ)みやざき若手医師キャリアプラン講演会・交流会について(再提出)
- 6/17の常任理事協議会で開催することが承認された講演会であり、役員に対し参加奨励が行われた。
6. 参考資料；骨太や成長戦略に入った医療関係の主な項目
- 経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)2014, 日本再興戦略改訂 2014 改訂成長戦略), 規制改革実施計画(財政改革に関する第2次答申)に関する記事であり、参考のため配布された。
- (報告事項)
1. 6月末日現在の会員数について
2. 7/4(金 宮観ホテル)九医連常任委員会について
3. 7/4(金 宮観ホテル)九州医連連絡会常任執行委員会について
4. 7/4(金 宮観ホテル)九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議について
5. 7/6(日 宮観ホテル)池ノ上克先生退任記念祝賀会について
6. 7/12(水 県看護等研修センター)新人看護職員研修推進協議会について
7. 7/16(日 大阪)レジナビフェアについて
8. 7/15(土 県医2階)産業医研修会(実地)について
- 医師連盟関係
- (議決事項)
1. 九州医連連絡会の役員について
- 規約第5条に「執行委員は九州医師会連合会委員をもってあてる」とあり、河野常任委員、富田・濱田・立元・渡邊・吉田委員の合計6名が就任することが承認された。
2. 7/11(金 宮観ホテル)衆議員議員たけい俊輔国政報告会について
- 特別講師に岸田文雄外務大臣を招き開催される報告会で、協力することが承認された。

県 医 の 動 き

(7 月)

1	県総合計画審議会(会長) 治験審査委員会(富田副会長他) 第 8 回常任理事協議会(会長他)	17	社会保険医療担当者(医科)の新規個別指導 (金丸常任理事) 産業医研修会 医療施設スプリングラー等整備補助事業説明会 及び情報交換会(会長他)
2	新人看護職員研修推進協議会(牛谷常任理事)		
3	産業医研修会 県内科医会理事会(小牧常任理事他)		
4	九医連常任委員会(会長) 九州医連連絡会常任執行委員会(会長) 九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師 会長合同会議(会長他)	19	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事 会(金丸常任理事) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総会・ 全体研修会(金丸常任理事) 全国有床診療所連絡協議会総会(岐阜 〳 川野理事) 首都圏医師との交流会(東京 〳 会長他)
5	産業医研修会(実地 〳 佐々木常任理事)	20	全国有床診療所連絡協議会総会(岐阜 〳 川野理事) レジナビフェア(東京 〳 会長他)
6	レジナビフェア(大阪 〳 金丸常任理事) 池ノ上克先生退任記念祝賀会(会長他)	22	医協理事会(富田副会長他) 第 10 回常任理事協議会(会長他)
7	県内科医会会誌編集委員会(小牧常任理事他)	23	県による公益法人立入検査 広報委員会(荒木常任理事)
8	第 3 回全理事協議会(会長他) 県福祉保健部・病院局との意見交換会(会長他) 県福祉保健部・病院局との懇談会(会長他)	24	県衛生環境研究所調査研究評価委員会 (高村常任理事) 医師国保組合通常組合会(会長他)
9	支払基金幹事会(会長)		
10	医師国保組合理事会(会長他) 県産婦人科医会常任理事会(濱田副会長)	26	男女共同参画フォーラム(日医 〳 荒木常任理事他) 九州医師協同組合連合会購買・保険部会(福岡) (立元常任理事) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員会 (東京 〳 富田副会長)
12	京都府医師会在宅医療実地研修会(京都) (富田副会長他) 県外科医会理事・評議員会 県整形外科医会総会(川野理事) 県外科医会総会 労災部会総会(会長他) 県外科医会・県整形外科医会・労災部会合同学 会(会長他)	27	産業医研修会 県プライマリ・ケア研究会世話人会(会長他) 県プライマリ・ケア研究会総会・講演会(会長他)
14	広報委員会(富田副会長他)	28	広報委員会(会長他)
15	医協打合会(立元常任理事) 第 9 回常任理事協議会(会長他)	29	日医連執行委員会(日医 〳 会長他) 日医役員改選後就任披露パーティ(東京 〳 会長)
16	産業医研修会 宮崎市郡医師会 7 月例会特別講演会ならびに懇 親会(会長)	30	労災診療指導委員会(川野理事)
		31	国保連合会理事会(秦理事長) 国保連合会通常総会(秦理事長) 新規集団指導(医科) 新規保険医療機関への説明会(会長他)

みやざきメディカルトライアングル通信～働きやすい医療現場を目指して 平成 26年度ワークライフバランスセミナー開催のお知らせ

宮崎県医師会常任理事 荒木 早苗

医療現場において、男女を問わない働きやすい環境整備の必要性や実現に向け考える機会とすることを目的に、セミナーを開催いたします。今年度は、ご夫婦で医師の藤巻先生ご夫妻による、かけ合い形式によるご講演です。お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

日 時 平成 26年 9 月 19日(金) 19:00~ 20:40

会 場 宮崎観光ホテル 東館 2 F 大虹の間

演 題 ワークライフバランスの先に見えてきた世界

～大学教員、研究者、小児科医、医師の妻として～

女子栄養大学栄養学部 藤巻 わかえ 先生

～大学教員、上司、脳神経外科医、医師の夫として～

埼玉医科大学脳神経外科 藤巻 高光 先生

講演要旨 30年前、日本にワークライフバランスという言葉はなく、医師は滅私奉公が当たり前でした。そんな中で私達夫婦はお互いのキャリアも子育てもともに大事にしたいと思いました。しかし社会構造はもちろん、実は男女の潜在意識が大きな障壁でした。セミナーでは、それを乗り越えるまでの夫婦の泣き笑い人生をご紹介します、その先に見えてきた世界を、医師、大学教員、上司など、さまざまな視点からご紹介したいと思います。

無料託児ルームを設置いたします。ご希望の方は、9月5日(金)までにお申込みください。

お問合せお申し込み先：宮崎県医師会地域医療課 野尻 (TEL 0985-22-5118 FAX 0985-27-6550)

「医師」として、自分らしく、一歩前へ

「宮大病院キャリア支援枠」について

宮崎大学清花アテナ男女共同参画推進室長 伊達 紫

宮崎大学医学部附属病院が、医師復職支援として「宮大病院キャリア支援枠」(以下：支援枠)を導入し2年が経過しました。育児や介護によりフルタイムでの勤務が難しい方や本格的な復職を目指したスキルアップを希望する方など、現在4名の支援枠利用者が本学に勤務しています。

本制度では、利用希望者と受け入れる診療科が、あらかじめ勤務スケジュール等について相談し、柔軟な勤務形態を選択することが可能です。本人の事情に応じた勤務が実現することで、各利用者は無理なく順調にキャリアを継続しており、診療科からも高い評価が得られています。

本学では、こうした取り組みを通じて、一人ひとりの状況に応じた働きやすい環境づくりを目指しています。詳しくは下記までお問い合わせください。

(右図：「宮大病院キャリア支援枠」利用者が着用するバッジのデザイン)

宮崎大学清花アテナ男女共同参画推進室 住所〒 889-1692 宮崎市清武町木原 5200

TEL/FAX 0985-85-1252 Email info-athena@med.miyazaki-u.ac.jp

団体所得保障保険

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成 26年 7 月 14日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問合せは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

1 . 求職者登録数 4 人

1) 男性医師求職登録数 4 人 (人)

希 望 診 療 科 目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	3	2	1
外 科	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0 人

2 . 斡旋成立件数 49人

	男性医師	女性医師	合 計
平 成 26 年 度	1	1	2
平成 16年度から累計	35	14	49

3 . 求人登録 78件 311人 (人)

募 集 診 療 科 目	求 人 数	常 勤	非 常 勤
内 科	97	73	24
外 科	35	28	7
整 形 外 科	27	22	5
精 神 科	14	12	2
循 環 器 科	6	6	—
脳 神 経 外 科	10	8	2
消 化 器 内 科	15	12	3
麻 酔 科	12	8	4
眼 科	6	5	1
放 射 線 科	10	8	2
小 児 科	4	3	1
呼 吸 器 内 科	12	11	1
リハビリテーション科	3	3	—
総合診療科・内科	5	4	1
神 経 内 科	7	6	1
救 命 救 急 科	6	6	—
健 診	5	2	3
産 婦 人 科	3	3	—
泌 尿 器 科	1	—	1
検 診	4	2	2
皮 膚 科	3	2	1
人 工 透 析	2	2	—
在 宅 担 当 医	1	1	—
そ の 他	23	18	5
合 計	311	245	66

求 人 登 録 者 (公 開)

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
160011	赤十字血液センター	宮 崎 市	検診	3	非常勤
160013	医 三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外 整 放 麻 内	10	常勤・非常勤
160017	医 プレストピア プレストピアなんば病院	宮 崎 市	乳外 内 麻	3	常勤
160020	財 弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精 内	2	常勤
160031	社医 同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼 神内 眼 総診 呼外 , 臨病 乳外 整外 麻酔	11	常勤
160033	医 如月会 若草病院	宮 崎 市	精	2	常勤
170046	医 社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内 内分泌糖内 呼 リウマチ , 神経内 健診	6	常勤・非常勤
170048	医 慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内 放 在宅医療	3	常勤
170052	医 春光会	宮 崎 市	外 内	6	常勤・非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内 神内 整 消内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内 呼内	6	常勤
190094	医 耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内 外 整	8	常勤・非常勤
190095	医 慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
190096	医 晴緑会 宮崎医療センター病院	宮 崎 市	消化 麻 循 リハビリ	5	常勤・非常勤
200104	医 社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内 外 救急 呼外 婦人	7	常勤
200105	医 誠友会 南部病院	宮 崎 市	内 外 放	3	常勤
210110	医 幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮 崎 市	内 外 整	12	常勤・非常勤
230128	医 真愛会 高宮病院	宮 崎 市	内 精	2	常勤
230132	医 康友会 青島クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
230139	介護老人保健施設サンフローラみやざき	国 富 町	内 外	2	常勤
230140	医 将優会 クリニックうしたに	宮 崎 市	外 内 整 家庭医 総合臨床	1	常勤
230141	医 博愛社 佐土原病院	宮 崎 市	内	1	非常勤
230143	医 社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外 内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮 崎 市	総内 呼吸内 消化器内 , 健診	8	常勤・非常勤
230146	財 潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内 神内 外 整外 脳外 , リハ 麻酔 救急 緩和ケア	10	常勤
230148	医 コムコ美容外科	宮 崎 市	美外 形成外 外 麻酔	8	常勤・非常勤
230159	医 常聖会 巴外科内科	宮 崎 市	内	1	非常勤
160008	医 正立会 黒松病院	都 城 市	泌	1	非常勤
160010	特医 敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内 消内 整 神内	7	常勤・非常勤
160018	医 宏仁会 メディカルシティ東部病院	都 城 市	内 救急 放射 脳外 外 , 眼 透内 皮膚	8	常勤
170057	医 清陵会 隅病院	都 城 市	内 外 整	3	常勤
180064	国立病院機構都城病院	都 城 市	消内 内 呼内 総合内	4	常勤
180081	医 恵心会 永田病院	都 城 市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内 呼	6	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
210114	藤元病院	都 城 市	精 , 内	3	常勤
230127	医) 倫生会 三州病院	都 城 市	外 , 内 , 整	7	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤
230137	医) 宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医) 魁成会 宮永病院	都 城 市	内 , リハビリ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	放 , 消内 , 消外 , 健診	8	常勤・非常勤
230157	医) 一誠会 都城新生病院	都 城 市	精 , 内	4	常勤・非常勤
160012	医) 伸和会 共立病院	延 岡 市	外 , 整 , 放 , 内	6	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医) 健寿会 黒木病院	延 岡 市	外 , 内 , 緩ケア	6	常勤・非常勤
160036	医) 久康会 平田東九州病院	延 岡 市	内 , 外 , 麻 , 精 , 神内 , 脳神経 , 老施 , 心内	5	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延 岡 市	産婦 , 内 , 小	3	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内 , 消外 , 内	5	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内 , 小	2	非常勤
230151	介護老人保健施設エクセルライフ	延 岡 市	内	1	常勤
230156	医) 中心会 野村病院	延 岡 市	内 , 外	2	常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日 向 市	外 , 内 , 整 , 神内	6	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内 , 整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内	1	常勤
230160	日向市立東郷病院	東 郷 町	内	1	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内 , 放 , 外	3	常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整 , 内 , 総合診療 , 麻 , 眼 , 健診 , 循 , 脳	10	常勤・非常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内 , 外	2	常勤
150002	医) 慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医) 同仁会 谷口病院	日 南 市	精	1	常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	2	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串 間 市	精 , 内(いずれか)	1	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内 , 外 , 整 , リハビリ , 在宅診療	5	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内 , 外	2	常勤
230138	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
230149	介護老人保健施設おびの里	日 南 市	内	2	常勤・非常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内 , 整 , 皮膚	5	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	循 , 救急 , 産婦 , 放 , 小	10	常勤
180076	医) 友愛会 園田病院	小 林 市	外 , 内 , 整	7	常勤・非常勤
190090	特医) 浩然会 内村病院	小 林 市	精 , 内	3	常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整 , 内	4	常勤・非常勤
230155	医) 三和会 池田病院	小 林 市	脳外 , 整 , 麻 , 内 , 放射 , 外	7	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内 , 外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内 , 透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内 , 整	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 26 年 7 月 14 日現在

1. 譲渡物件	宮崎市阿波岐ヶ原町前田 263 番 , 263 番 土地のみ : 593.57 坪 (2022.17m ²) ＜所有者 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック＞
2. 譲渡又は 賃貸物件	宮崎市大字本郷南方 407 番 建物 鉄筋コンクリート 2 階建 (905m ²) 駐車場 14 台分 別途職員専用駐車場有り ＜黒岩医院跡＞

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の午前 9 時から 12 時及び 13 時から 17 時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 (宮崎県医師協同組合)

0985-23-9100 (代) ・ FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@m-iyazakimed.or.jp

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 26年 7 月 29日現在

8				月			
1	金	13 00	自民党県連による国・県に対する ヒアリング	12	火	18 20	医協打合会
		18 30	県外科医会夏期講演会			19 00	第 12回常任理事協議会
2	土	9 00	病院部会・医療法人部会病床機能に 関する個別相談会	13	水		医
		13 00	九州地区医師会立共同利用施設連絡 協議会	14	木		家
		15 00	九州学校検診協議会専門委員会	15	金		芸
		16 00	九医連常任委員会	16	土	14 30	産業医研修会(前期)
		17 00	九州学校検診協議会幹事会			16 00	県有床診療所協議会総会
		18 00	九州各県医師会学校保健担当理事 者会	17	日		国
		19 00	九州ブロック学校保健・学校医大会 懇親会	18	月		保
3	日	9 00	九州ブロック学校保健・学校医大会	19	火	18 15	医協理事会
		9 00	九州地区医師会立共同利用施設連絡 協議会			19 00	第 13回常任理事協議会
		9 00	九州学校検診協議会	20	水	14 00	産業医研修会
		9 00	病院部会・医療法人部会病床機能に 関する個別相談会			15 30	(日医)日医医療秘書認定試験委員会
		11 30	九医連学校医会評議員会	21	木	19 00	産業医研修会
		15 00	九州地区健康教育研究大会合同会議	22	金	19 00	産業医研修会
		15 00	学校医部会総会			19 00	県内科医会医療保険委員会
4	月	15 30	学校保健会理事会	23	土	15 30	全国国保組合協会九州支部幹事会 ・総会
						15 30	中四九地区医師会看護学校協議会
5	火	10 00	九州地区健康教育研究大会開会式	24	日	9 30	中四九地区医師会看護学校協議会
		16 30	県訪問看護ステーション連絡協議会 役員会			13 00	TPP問題シンポジウム「宮崎から TPPを考える - TPPでわたした ちの暮らしはどう変わる? - 」
		18 00	治験審査委員会	25	月	19 00	広報委員会
		19 00	第 11回常任理事協議会				審
6	水	16 00	支払基金幹事会				査
		19 00	稲倉顧問感謝の会	26	火	15 00	県立看護大学あり方検討委員会
						18 30	第 4 回全理事協議会
7	木	15 30	(日医)日医医療情報システム協議会 運営委員会			終了後	医協理事・運営委員合同協議会
		19 30	県産婦人科医会全理事会			19 00	役職員懇談会
8	金	18 30	みやざき若手医師キャリアプラン 講演会・交流会	27	水	15 00	労災診療指導委員会
		19 00	産業医研修会	28	木	19 00	産業医研修会
						19 00	生活習慣病検診各部会長連絡会議
9	土	15 00	九州地区医師国保組合連合会監査会	29	金	18 00	九州地方社会保険医療協議会宮崎 部会
		15 00	母体保護法指定医師研修会				
		15 30	九州地区医師国保組合連合会理事会				
		16 00	九州地区医師国保組合連合会全体 協議会	30	土	14 00	在宅医療協議会役員会
10	日					15 00	在宅医療協議会総会・研修会
						16 00	九医連常任委員会
						17 00	九医連定例委員総会
11	月	19 00	県内科医会会誌編集委員会	31	日	12 00	日本プライマリ・ケア連合学会 九州支部長会

都合により、変更になることがあります。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 26 年 7 月 29 日現在

9 月			
1	月	19 00	県内科医会理事会
2	火	19 00	第 14 回常任理事協議会
3	水	19 00	土曜会(報道機関支局長の会)との 懇談会
4	木	13 00 15 30 18 00	社会保険医療担当者(医科)の個別 指導 (日医)日医医療情報システム協議会 運営委員会 宮崎銀行経営説明会
5	金		
6	土	15 00	県医学会
7	日		
8	月	19 00	医学会誌編集委員会
9	火	19 00	第 15 回常任理事協議会
10	水	16 00	支払基金幹事会
11	木	19 00 19 30	県糖尿病対策推進会議幹事会 県産婦人科医会常任理事会
12	金	12 30 13 40 19 30	全国医師国保組合連合会代表者会 全国医師国保組合連合会全体協議会 広報委員会
13	土	8 30 15 00	全国医師国保組合連合会全体協議会 観光 園医部会総会・医学会
14	日	8 30	全国医師国保組合連合会全体協議会 観光
15	月		(敬老の日)
16	火	19 00	第 16 回常任理事協議会
17	水		
18	木	18 30	社会保険医療担当者(医科)の 集团的個別指導
19	金	14 00 19 00	産業医研修会 医療現場のワークライフバラ ンスセミナー
20	土	16 00 16 00	九医連常任委員会 九医連各種協議会
21	日		県産婦人科医会新生児蘇生法 講習会
22	月	19 00	広報委員会
23	火	10 00 12 00	(秋分の日) 九州ブロック初期・後期臨床 研修進路説明会実行委員会 九州ブロック初期・後期臨床 研修進路説明会
24	水	15 00	労災診療指導委員会
25	木	10 00 19 00	日本看護学会学術集会開会式 産業医部会理事会
26	金	14 00	(日医)日医大学医学部・医学会女性 医師支援担当者連絡会
27	土	14 30 15 00 15 40	産業医研修会(前期) 県産婦人科医会秋期総会・市民公開 講座 全国医師会医療秘書学院連絡協議会 定例総会
28	日		
29	月		
30	火	18 00 19 00	九州地方社会保険医療協議会宮崎 部会 第 5 回全理事協議会

都合により、変更になることがあります。

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E -Mail genko @ m iyazakim ed.or.jp

FAX 0 9 8 5 -2 7 -6 5 5 0

TEL 0 9 8 5 -2 2 -5 1 1 8

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注 FAX の際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX 0 9 8 5 - 2 7 - 6 5 5 0

き
り
と
り
せ
ん

お名前

ご所属

TEL

FAX

お知らせ

平成 26年度日本医師会認定医療秘書養成制度
卒業生求職のお願い

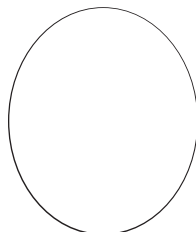
宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内 3 教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内 3 教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

宮崎学園短期大学 (宮崎市)	宮崎医療管理専門学校 (宮崎市)	都城コアカレッジ (都城市)
就職希望者 18名 (女 18名)	就職希望者 16名 (男 1 名, 女 15名)	就職希望者 11名 (女 11名)
連絡先: 0985-85-0146 宮崎市清武町加納丙 1415 担当: 佐土原 敦 倉永 愛子	連絡先: 0985-86-2271 宮崎市田野町甲 1556-1 担当: 平島しおり 福元 進	連絡先: 0986-38-4811 都城市吉尾町 77-8 担当: 吉原真由美 中山さおり

診療メモ



出生前診断と遺伝カウンセリング

宮崎大学医学部附属病院産婦人科
宮崎大学医学部附属病院遺伝カウンセリング部

やま ぐち まさ とし
山 口 昌 俊

はじめに

前回、遺伝子診断と遺伝カウンセリングの解説をさせていただきました。今回は出生前診断について説明させていただきます。前回の原稿で、西洋医学では治療を行うために診断を付けるというプロセスが、原則的に必要なのだと申しました。その様に考えると、出生前診断は、ただ単に「診断」を「出生前に行っている」だけであって、特別扱いする必要はないと思われるのではないのでしょうか。そのあたりから考えてみましょう。

出生前診断の目的

まず、何のための「診断」なのかを考えてみましょう。今では、産科外来に超音波断層法がないという施設はないと思います。そこで行われる胎児診断の目的には、1)胎児の発育が正常であるか判断する、2)胎児の健康状態を判断して、娩出時期を決める、3)2分脊椎や心奇形などの疾患を発見して出生後の治療計画を立てる等が考えられます。胎児の項部浮腫(NT)が厚いと胎児が染色体異常等がある確率が高いことが判り、ソフトマーカーと呼ばれます。最近では、胎児のNTが陽性であるという紹介患者が増えてきました。超音波検査をしていたら、たまたま胎児の異常が見つかった場合、どうするべきかという点は考慮すべき問題です。

人工妊娠中絶の問題

さて、胎児に何らかの異常がある場合、それが妊娠22週未満であれば、人工妊娠中絶術が選択肢の一つになります。出生前診断に伴う最も大きな問題は、人工妊娠中絶術が倫理的な問題を伴うことです。時々、倫理学と道徳を混乱して使用していることがあります。もともと倫理学は哲学の一つのカテゴリーですから、絶対的な正解がないのです。例えば、「ヒトは他人を殺めてもよいか」と考えてみましょう。ほとんどの方は、殺人は行ってはならないと答えるでしょう。絶対的なスタンダードがあるので、道徳の範疇に入る内容です。では人工妊娠中絶術は殺人なのかと考えてみましょう。これに関しては、妊娠21週までの胎児は、救命が不可能であるから、母体救命の目的に限って行う人工妊娠中絶術は許されるという説明がされます。ただし、胎児は妊娠何週になったら、ヒトであるのかという倫理的な命題が存在します。ヒトであると認識すれば、人工妊娠中絶は殺人であるとみなされる可能性があるからです。妊娠何週であればヒトなのかという認識は個人個人で異なります。したがって、ローマカトリック教会の様に人工妊娠中絶術を認めないという考え方の人がいても誤りではないのです。

人工妊娠中絶術以外の問題点

出生前診断のためには胎児の細胞を採取する

必要があります。そのために行われる手技が、羊水穿刺と絨毛生検です。この手技は、ある程度の確率で流産するというリスクを伴います。ちょっと考えれば理解出来ることですが、診断を行おうとしたら、胎児を失ってしまった。後で調べたら、胎児は正常であったというようなことになれば、誰でも「あんな検査をしなればよかった」と思うでしょう。

検査を希望する妊婦さんの中には、「大丈夫だと言ってほしい」という気持ちで検査を希望する方も少なからずいます。しかし、「この検査を行えば、子宮中の胎児を中絶するかどうかという決断を迫られることがある」という事実を認識せずに検査すると、望まない結果が出たときに、パニックになるものです。

マーカー検査と母体血中胎児DNA検査

羊水検査と絨毛生検には流産というリスクを伴います。そこで、流産のリスクのない検査として、有名になったのが、トリプルマーカー検査、クワトロマーカー検査や母体血中胎児DNA (NIPT, 通称, 新型出生前診断) 検査です。これらの原理は説明しませんが、重要なことは、結果が確率で出てくることです。つまり、羊水検査という確定検査が、流産というリスクを伴うので、リスクを伴う検査を行うかどうかの参考にするための検査です。特に、NIPTは報道各社が、この検査で白黒がつくような報道を行ったために、患者さんの誤解を招いています。NIPTは陰性という結果が出たのに、実際は陽性である(偽陰性)確率が低いので、陰性という結果が出れば、ほとんど陰性です。しかし、陽性という結果が出ても、染色体異常が確定したわけではないので、追加で羊水検査が必要な検査です。偽陰性率が1万分の1であるということは、万が一でも偽陰性は困るというのであれば、この検査の意味がありません。実際、NIPTを希望して検査施設を受診した妊婦さんの5%は、最初

から羊水検査を行うという決断をされるようです。

羊水検査の含む問題点

では羊水検査は100%確実なのでしょうか？出生前診断を希望される方の中には、とまかく21トリソミーが心配だという方がおられます。この場合、21トリソミーではなかったが、正常ではなかったという結果が出ると、パニックになります。特に不均衡転座の様に染色体の一部に欠損や重複がある場合、どの様な臨床症状が出るのか確率でしかわかりません。モザイクという結果が出ることもあります。

心理的サポートの重要性

何であれ、人間は予想外の結果が出ると、それを受け入れるのには時間が必要です。先月の解説でも述べましたが、治らない病気の診断は、診断をすればそれで良いというものではありません。多かれ少なかれ、受け入れるために心理的サポートが必要になります。その場だけではなく、将来的なサポートや血縁者のサポートも必要になります。出生前診断で、やたらと遺伝カウンセリングが強調されるのは、このようなバックグラウンドがあることを理解してください。

もっとも、遺伝カウンセリングを行っている人間は、遺伝カウンセリングが問題の解決法だとは思っていません。出生前診断でなくても、このようなサポートは医学的診療を行うためには必要です。将来的に全ての医師が遺伝カウンセリングのマインドを持つことが必要ではないかと考えています。



県医師会よりお知らせ

9月6日(土)の宮崎県医師会医学会において、山口昌俊先生から「遺伝カウンセリングはなぜ必要か」と題した講演をいただきます。詳細は8ページをご覧ください。

ご案内

宮崎県医師会親善ゴルフ大会

県医親善ゴルフ大会を本年は下記の日程で開催いたします。ぜひ会員の先生方お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。詳細は 8 月中旬までに、FAX（A 会員）とハガキ（B 会員）にてご案内いたしますので、ご確認ください。

と き 平成 26 年 11 月 3 日（月・祝）
 ところ ハイビスカスゴルフクラブ
 宮崎市佐土原町下田島 21085-1

（担当 総務課 田崎）

7 月のベストセラー

- | | | |
|-----------------------------------|----------------------|-----------|
| 1 おかげさまで生きる | 矢 作 直 樹 | 幻 冬 舎 |
| 2 雨の狩人 | 大 沢 在 昌 | 幻 冬 舎 |
| 3 2015 年～世界の真実 | 長 谷 川 慶 太 郎 | ワック株式会社 |
| 4 里山資本主義
日本経済は「安心の原理」で動く | 藻 谷 浩 介
NHK 広島取材班 | KADOKAWA |
| 5 破門 | 黒 川 博 行 | KADOKAWA |
| 6 置かれた場所で咲きなさい | 渡 辺 和 子 | 幻 冬 舎 |
| 7 春の庭 | 柴 崎 友 香 | 文 藝 春 秋 |
| 8 他人を攻撃せずにはいられない人 | 片 田 珠 美 | PHP 研 究 所 |
| 9 昭和史 1926- 1945 戦後篇 1945- 1989 半 | 藤 一 利 | 平 凡 社 |
| 10 「自分」の壁 | 養 老 孟 司 | 新 潮 社 |

宮脇書店本店調べ 提供 宮崎店（宮崎市青葉町）☎（0985）23-7077

医師年金

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位 日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診 各種がん検診登録・指定・更新による研修会。（胃・大腸・肺・乳）

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ＝ 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
平成 26 年度宮崎県 外科医会夏期講演 会（日本臨床外科 学会地方会） 8 月 1 日（金） 18 30～ 20 30 県医師会館	DCF 療法後に切除可能となった cT 4 食道癌の 1 例 宮路医院 中島 真也 他 7	主催 宮崎県外科医会 （日本臨床外科学会宮崎県支部） ☎ 0985-22-5118 共催 大正富山医薬品（株）	2	1 2 15 84
第 44 回 宮 崎 救 急 医学会 8 月 2 日（土） 13 00～ 18 00 宮崎市佐土原総合 文化センター	サンダーバード作戦 八戸市立市民病院救命救急センター所長 今 明秀 他一般演題 参加費 500 円	主催 西都児湯医療センター ☎ 0983-42-1113 共催 東レ・メディカル（株） 後援 宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター	5	5 10 13 16 17 18 19 32 50 57
第 58 回九州ブロッ ク学校保健・学校 医大会 平成 26 年 度九州学校検診 協議会 8 月 3 日（日） 9 00～ 15 00 宮崎観光ホテル	フッ化物を用いて みんなで守る 子どもの歯 宮崎市郡歯科医師会歯科医師 櫛山 実寿 学校におけるアナフィラキシー対応 - 調布市での取り組み 東京慈恵会医科大学附属第三病院 小児科准教授・診療部長 勝沼 俊雄 他教育講演等	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	5	1 2 11 12 13 16 36 38 72 82

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
第 89回宮崎市郡医 師会心臓病研究会 8 月 6 日(水) 18 50~ 20 20 宮崎観光ホテル	Transcatheter aortic valve im plantation 我々は何を知り, 何をすべきか? 慶應義塾大学医学部循環器内科講師 林田 健太郎	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 興和創薬(株)	1.5	1 2 9
宮崎県医師会産業 医研修会 8 月 8 日(金) 19 00~ 21 00 延岡地域職業訓練 センター	(6)作業環境管理・作業管理 労働衛生保護具について 下津労働衛生コンサルタント事務所代表 下津 義博 生涯研修の現地研修会 2 単位	共催 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	9 10 11 46
延岡医学会学術 講演会 8 月 8 日(金) 19 00~ 21 00 ホテルメリージュ 延岡	病態理解に基づいた喘息治療・管理の新展開 京都大学医学部附属病院呼吸器内科講師 松本 久子	共催 延岡医学会 アステラス製薬(株) アストラゼネカ(株) ☎ 0985-38-6611 後援 延岡内科医会	1	45 79
宮崎県医師会産業 医研修会 8 月 16日(土) 14 30~ 17 30 県医師会館	(1)総論 安全管理の考え方 原國労働安全コンサルタント事務所代表 原國 政久 (1)総論 衛生管理の考え方 西部労働衛生コンサルタント事務所代表 矢崎 武 (3)メンタルヘルス対策 メンタルヘルスケアの必要性和実態 門川労働安全コンサルタント事務所代表 門川 信孝 村尾労働安全コンサルタント事務所代表 村尾 保義 基礎研修の前期研修会 3 単位	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	3	3 8 12 13 69 70

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ＝ 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
宮崎県有床診療所 協議会総会 8 月 16 日(土) 16 00～ 17 30 県医師会館	有床診療所と在宅医療 岐阜県医師会長 小林 博	主催 宮崎県有床診療所協議会 ☎ 0985-22-5118	1	5 13
宮崎県医師会産業 医研修会 8 月 20 日(水) 14 00～ 16 00 県医師会館	(4)メンタルヘルス対策 職場の精神医学的諸問題 宮崎大学医学部名誉教授 生涯研修の専門研修会 2 単位 鶴 紀子	共催 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	3 5 69 70
第 55 回都城心臓血 管懇話会 8 月 21 日(木) 19 00～ 20 00 都 城 ロ イ ヤ ル ホテル	高血圧治療ガイドライン 2014 に基づいた高血圧診療 宮崎大学医学部循環体液制御学分野教授 北村 和雄	共催 都城心臓血管懇話会 アステラス製薬(株) 日本ペーリンガーインゲルハイム(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎ 0986-22-0711	1	9 74
宮崎県医師会産業 医研修会 8 月 21 日(木) 19 00～ 21 00 県医師会館	(3)健康管理 労働者のお酒とのつきあい方 - 産業医・警察医の視点 - 大西医院長 生涯研修の専門研修会 2 単位 大西 雄二	共催 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	5 9 11 19

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
延岡医学会学術 講演会 8月22日(金) 18 45~ 20 30 ホテルメリージュ 延岡	認知症の薬物療法について - どのような患者にどのような薬剤を使うのか - 上野公園病院診療部長 大神 博央	共催 延岡医学会 第一三共(株) ☎ 0985-23-5710 後援 延岡内科医会	1	5 29
宮崎県医師会産業医 研修会 8月22日(金) 19 00~ 21 00 県医師会館	(4)メンタルヘルス対策 事業所におけるメンタルヘルス事例() 西都病院 植田 勇人 生涯研修の専門研修会 2単位	共催 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	5 6 69 70
第29回宮崎県リウ マチ研究会 8月23日(土) 15 30~ 18 00 ホテルJALシティ 宮崎	当院のリウマチ診療の実際と問題点 当院のデータ ベースの解析より症例を中心に 鹿児島赤十字病院長 松田 剛正	共催 宮崎県リウマチ研究会 宮崎リウマチのケア研究会 参天製薬 エーザイ(株) ☎ 0985-26-2676	2	10 61
第90回宮崎市郡医 師会心臓病研究会 8月27日(水) 18 45~ 20 30 宮崎観光ホテル	動脈硬化疾患に対するCibastazo10の効果 琉球大学医学研究科循環器・腎臓・神経 内科学講座准教授 岩淵 成志 沖縄の長寿復活を目指して - ゆいまーるを活かした健康増進の取組み - 同 教授 大屋 祐輔	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 大塚製薬(株)	1.5	2 9 15

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
プライマリ・ケア 宮崎講演会 8 月 2 日(水) 19 00~ 20 30 ホテルJA Lシティ 宮崎	知っていて欲しいうつ病治療の基本 昭和大学医学部精神医学講座講師 山田 浩樹	共催 日本プライマリ・ケ ア連合学会九州支部 大日本住友製薬(株) ☎ 0985-29-5855 グラクソ・スミスクライン(株) 後援 宮崎県医師会	1.5	20 69 70
宮崎県医師会産業 医研修会 8 月 28 日(木) 19 00~ 21 00 都城市北諸県郡医 師会館	(1)労働安全関係法規と関係通達の改正 この頃の産業保健の動向 - 厚生労働省報道発表資料から - 西部労働衛生コンサルタント事務所代表 矢崎 武 生涯研修の更新研修会 2 単位	共催 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	3 7 8 9
宮崎県皮膚科医会 学術講演会 8 月 28 日(木) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	エビデンスに基づく抗ヒスタミン薬の使い方 東京女子医科大学皮膚科学教室教授 川島 眞	共催 宮崎県皮膚科医会 田辺三菱製薬(株) ☎ 0985-32-9205	1	2 26
第 35 回 宮 崎 整 形 外科セミナー 8 月 30 日(土) 18 15~ 19 30 ホテルJA Lシティ 宮崎	脊椎関節炎 - 見過ごされてきたリウマチ性疾患 - 千代田病院リウマチ科・整形外科部長 首藤 敏秀	共催 宮崎県臨床整形外科医会 武田薬品工業(株) ☎ 0985-24-6763	1	59 60

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
第 42回ひむか運動 器セミナー 9 月 2 日(火) 18 50~ 20 30 宮崎観光ホテル	変形性膝関節症に対する保存的治療の有効性と課題 島根大学医学部整形外科学教室教授 内尾 祐司	共催 ひむか運動器セミナー 昭和薬品化工(株) ☎ 0120-56-4089	1	61 62
第 32回宮崎呼吸器 乳腺懇話会 9 月 5 日(金) 19 00~ 20 30 KITEN	肺結核，肺非結核性抗酸菌症の診断と治療について - 一般の内科医外科医が知っておくべきポイント - 国立病院機構宮崎東病院呼吸器内科部長 伊井 敏彦 参加費 500円	共催 宮崎呼吸器乳腺懇話会 協和発酵キリン(株) ☎ 0985-22-8801	1.5	2 45 46
第 22回都城緩和 ケア研究会 9 月 6 日(土) 13 30~ 16 40 都城市北諸県郡医 師会館	多職種からみた緩和ケア 三州病院緩和ケア病棟 溝口 裕郁 他 参加費 500円	主催 都城緩和ケア研究会 共催 田辺三菱製薬(株) 後援 宮崎県医師会 他 (連絡先) 三州病院 ☎ 0986-22-0230	3	80 81
平成 26年度宮崎県 医師会医学会 9 月 6 日(土) 15 00~ 17 00 県医師会館	遺伝カウンセリングはなぜ必要か 宮崎大学医学部附属病院産婦人科 病院教授 山口 昌俊 海外旅行者の発熱 国立国際医療研究センター国際感染症センター 国際感染症対策室医長 加藤 康幸	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	4 5 9 11

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第 26 回宮崎県糖尿病教育セミナー 9 月 7 日(日) 9 55~ 16 45 かんぼの宿日南	糖尿病網膜症 Up to date(仮) みつとめ眼科理事長 満留 武宣 糖尿病腎症 Up to date 千葉大学医学研究院細胞治療内科学 内分泌・代謝・血液内科准教授 竹本 稔 他 参加費 3,000円	共催 宮崎県糖尿病懇話会 ノボルディスクファーマ(株) ☎ 0985-20-1891 後援 宮崎県医師会 他	5	1 2 5 9 10 15 23 36 76 82
南那珂医師会生涯教育医学会 9 月 10 日(水) 18 50~ 20 00 南那珂医師会館	骨粗鬆症の新しい治療戦略(仮) 宮崎大学医学部附属病院整形外科助教 渡邊 信二	共催 南那珂医師会 ☎ 0987-23-3411 第一三共(株)	1	77
宮崎県内科医会 学術講演会 9 月 12 日(金) 18 40~ 20 40 ガーデンテラス 宮崎	血管治療の現状と課題(仮) 防衛医科大学抗加齢血管内科教授 池脇 克則 今後期待される糖尿病治療薬(仮) 昭和大学糖尿病・代謝内分泌教授 平野 勉	共催 宮崎県内科医会 アストラゼネカ(株) ☎ 0985-38-6611 小野薬品(株)	2	5 11 23 76
第 17 回 宮崎 神経 眼科セミナー 9 月 13 日(土) 18 30~ 21 00 宮崎観光ホテル	チャレンジ神経眼科学 - とっておきの 4 問 愛知淑徳大学健康医療科学部教授 柏井 聡 参加費 2,000円	共催 宮崎神経眼科ネットワーク 参天製薬(株) (連絡先) 尾崎眼科 ☎ 0982-52-5600	2.5	1 2 13 36

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
南那珂医師会生涯 教育医学会 9 月 16日(火) 19 15~ 20 30 南那珂医師会館	プライマリケアにおける喘息診療(仮) 琉球大学第一内科 原永 修作	共催 南那珂医師会 ☎ 0987-23-3411 アステラス製薬(株) アストラゼネカ(株)	1	45
宮崎県医師会産業 医研修会 9 月 17日(水) 14 00~ 16 00 都城圏域地場産業 振興センター	(4)メンタルヘルス対策 アサーション - はじめの一步は聞くことから - 都城新生病院 前原 正法 生涯研修の専門研修会 2 単位	共催 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	3 6 8 13
宮崎大学がん診療 部医療連携講演会 9 月 19日(金) 18 50~ 20 50 M R T m i c c	転移性脳腫瘍の集学的治療ガイドライン 静岡県立静岡がんセンター 脳神経外科部長 中洲 庸子	共催 宮崎大学医学部附属病院がん診療部 エーザイ(株) ☎ 0985-26-2676	1	35
宮崎県医師会産業 医研修会 9 月 27日(土) 14 30~ 18 30 県医師会館	(6)作業管理 産業医に必要な職場における作業管理の基礎知識 宮崎県立看護大学看護学部教授 江藤 敏治 (7)有害業務管理 職域に必要な不可欠な危険有害業務管理 1 : 労働安全 対策 川瀬治労働安全コンサルタント事務所代表 川瀬 治 (7)有害業務管理 職域に必要な不可欠な危険有害業務管理 2 : 労働衛生 対策 宮崎県立看護大学看護学部教授 江藤 敏治 基礎研修の前期研修会 4 単位	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	4	3 5 8 9 11 12 13 84

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ＝ 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
第 9 回宮崎市郡医 師会心臓病研究会 9 月 29 日(月) 19 00～ 20 30 宮崎観光ホテル	虚血性心疾患の Optimal Medical Therapy に ついて 千葉大学医学研究院循環病態医科学教授 小林 欣夫	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 サノフィ(株)	1.5	2 9 15
宮崎県警察医会総 会・特別講演会 10 月 4 日(土) 15 30～ 17 00 県医師会館	鈍器損傷の観察 北海道大学医学研究科・医学部法医学分野 教授 寺沢 浩一	主催 宮崎県警察医会 ☎ 0985-22-5118	1.5	1 2 4
宮崎県医師会産業 医研修会 10 月 9 日(木) 19 00～ 21 00 延岡地域職業訓練 センター	(1)労働安全関係法規と関係通達の改正 この頃の産業保健の動向 - 厚生労働省報道発表資料から - 西部労働衛生コンサルタント事務所代表 矢崎 武 生涯研修の更新研修会 2 単位	共催 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	3 7 8 9
宮崎県内科医会学 術講演会 Asthma control seminar 2014 10 月 17 日(金) 19 15～ 20 30 ガーデンテラス 宮崎	喘息・COPD 診療の実際 - オーバーラップも含めて - 東邦大学医療センター大橋病院教授 松瀬 厚人	共催 宮崎県内科医会 アステラス製薬(株) ☎ 0985-61-1537 アストラゼネカ(株)	1	46 79

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
宮崎県医師会産業 医研修会 10月 23日(木) 14 00~ 16 00 県医師会館	(8)有害業務管理 騒音性難聴を予防する 宮崎大学医学部公衆衛生学分野教授 黒田 嘉紀 生涯研修の専門研修会 2 単位	共催 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	8 11 12 38
第 51回 宮 崎 県 スポーツ学会 10月 25日(土) 15 00~ 18 30 県医師会館	スポーツ栄養サポートの実際と課題 福岡大学スポーツ科学部教授 小清水 孝子 スポーツフィールドにおけるリハビリテーションと 外傷予防対策 日本福祉大学健康科学部リハビリテーション 学科理学療法学専攻教授 小林 寛和 野球肘の治療戦略 - 手術的治療を中心に - 横浜南共済病院スポーツ整形外科部長 山崎 哲也 参加費 1,000円	共催 宮崎県スポーツ学会 久光製薬(株) 後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986	3	10 11 21 23 57 61

県医師会在宅医療協議会入会のご案内

県医師会在宅医療協議会は、在宅医療に携わる医師の知識向上、情報交換、並びに在宅医療の普及を目的に平成 24年 5 月に会員 130名をもって設立されました。

年数回の研修会開催のほか、現在は地域ごとの在宅医療ネットワーク構築に向け、役員、世話人が奔走しています。また、在宅で困っていること、多職種連携の方法など会員同士の情報交換のためにメーリングリストを運用しています。

ご興味のある先生は、ぜひご入会いただき、いっしょに在宅医療を推進していきましょう。ご入会につきましては、県医師会地域医療課に入会申込書をご請求ください。

* 協議会に入会済みでメーリングリストに加入されていない先生は、事務局までメールアドレスをお知らせください。

お知らせ

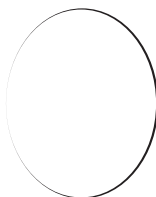
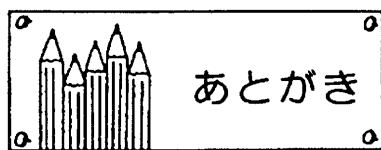
県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属都市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会にお問い合わせください。また、MMA 通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会地域医療課までご連絡ください。（TEL 0985-22-5118）

送付日	文 書 名
7 月 1 日	・「看護師等養成所における実習に関する調査」結果について ・准看護師学校養成所における実習施設について
7 月 2 日	・平成 26 年度（第 48 回）臨床検査精度管理調査の実施について ・「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について（依頼） ・医療機関等において多剤耐性菌によるアウトブレイクを疑う基準について（通知） ・「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・日本医師会 ACLS（二次救命処置）研修について ・食中毒の発生について
7 月 3 日	・厚生科学審議会感染症部会「感染症対策の見直しについて」とりまとめについて ・がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針の一部改正について（通知） ・大腸がん検診の結果の判定について（通知） ・粉じん障害防止規則の一部を改正する省令の施行について
7 月 8 日	・予防接種法に基づく肺炎球菌感染症（高齢者がかかるものに限る）に係る定期の予防接種に使用するワクチンについて ・季節性インフルエンザワクチンの供給について（通知） ・がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針の一部改正の周知について ・診療放射線技師法等の一部改正の施行について ・「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」の一部の施行等について
7 月 9 日	・矯正施設の医療に関する御支援と御協力をお願いについて（通知） ・平成 26 年度版産業保健業務基準の送付について
7 月 14 日	・フェンタニルクエン酸塩経皮吸収型製剤の使用に当たっての留意事項について ・平成 26 年度人生の最終段階における医療体制整備事業の公募について（通知） ・子宮頸がん予防ワクチンの取り扱いについて ・季節性インフルエンザワクチンの供給について ・人を発病させるおそれがほとんどないものとして厚生労働大臣が指定する病原体等の一部を改正する件の公布について ・「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」の一部の施行等について（介護保険関連） ・「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」の一部の施行等について（通知） ・平成 26 年度人生の最終段階における医療体制整備事業の実施について（通知） ・診療放射線技師法等の一部改正の施行について（通知） ・診療放射線技師法施行令の一部を改正する政令の施行について（通知） ・日本医師会作成「改定診療報酬点数表参考資料」正誤表（その 1）の送付について

送付日	文 書 名
7 月 14日	・ 使用薬剤の薬価 (薬価基準)等の一部改正について ・ 医療事故情報収集等事業第 3回報告書の送付について ・ ファイバ注射用 500及び同 1000の薬事法上の用法・用量の変更に伴う留意事項の一部改正等について
7 月 15日	・ 平成 26年度食生活普及運動の実施について
7 月 16日	・ 平成 26年度予防接種従事者研修事業の実施について (通知) ・ 厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その 8)」の送付について
7 月 18日	・ 趣意書(平成 26年度宮崎地域糖尿病療養指導士認定のための講習会のお知らせ) ・ 医療機関等において多剤耐性菌によるアウトブレイクを疑う基準について ・ 介護支援専門員資質向上の実施について ・ 老人福祉施設等の整備に関する制度の活用について(情報提供) ・ 「医療施設における 2014年度夏季の電力需給対策について」に係る「2014年度夏季の需給ひっ迫時の対応について」の周知について ・ 毎月勤労統計調査(第二種事業所)への調査協力依頼について(依頼) ・ 「使用上の注意」の改訂について ・ 独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について
7 月 22日	・ 共済組合員証の無効通知について ・ ニボルマブ(遺伝子組換え)製剤の使用に当たっての留意事項について ・ アレクチニブ製剤の使用に当たっての留意事項について ・ カバジタキセル アセトン付加物製剤の使用に当たっての留意事項について ・ 日本医師会薬務対策ウェブページについて ・ 医療用医薬品への新バーコード表示に伴う J A N / I T F コード表示の終了について(周知徹底及び注意喚起依頼) ・ 東日本大震災に関連する診療報酬の特例取扱いの利用状況等の資料提出について ・ 「医療施設運営費等及び中毒情報基盤整備事業費の国庫補助について」および新たな専門医制度と医師会の協力・連携について
7 月 23日	・ ヒトパピローマウイルス感染症の定期接種に関するリーフレットについて ・ 子宮頸がん予防ワクチン接種後の痛みの診療について ・ 「予防接種法第 5 条第 1 項の規定による予防接種の実施について」の一部改正について ・ 「定期的予防接種等による副反応の報告等の取扱いについて」の一部改正について ・ 予防接種法施行令の一部を改正する政令並びに予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行について ・ 中東呼吸器症候群を指定感染症として定める等の政令の施行等について ・ 予防接種法施行令の一部を改正する政令並びに予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行について ・ 中東呼吸器症候群を指定感染症として定める等の政令の施行等について

あなたできますか？ (解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
b	a	e	c	d	b	b , d	a , d , e	a	a



暑い夏が来ましたね！今日は、自分の所属している宮崎大学第一内科の消化器グループで取り扱っている、大腸カメラについて書きたいと思います。子育てもあり大腸カメラに触れるのは週に1,2回なのです(先に言い訳をしておきます...)が、未だに深部まで入りません。手替わりしていただく先生からは「本を読んだだけじゃだめ。カメラをした回数だよ」とのこと。

父も消化器内科なのですが、模型で練習していきなり一人で患者様のカメラをしていたとのこと。自分にそんな器用さが遺伝しなかったこと、などなど父をうらやみつつ頑張っております。癒着等が無ければ、深部までたどり着くのに早い先生は5分ほどで着いてしまいます。まるでマジシャン！魔法使いもびっくりの早業です。こちらとしてはどうしたらS状結腸固定されておらず伸びます(を)ちっとも伸ばさずにクリアして行くのか、手元やモニターを目を凝らして観察しているのですが、あっという間に魔法の時間が終わるのです…。先生によっても入れ方に違いがあったり、挿入法についての研究会などもあったりと、奥深い世界です。

研修医時代に大腸カメラを見ていた時は、ピンク色の腸管の画像が繰り返し出ていて正直言ってつまらなくて立ちながら寝ていたこともありましたが(汗)。しかも、便が付きそうで全く良いイメージはありませんでした。カメラが入らないので説得力はゼロですが、カメラ面白いよ！と研修医の先生方にお勧めしたいです。(大野)

* * *

先月、うちに新しい家族が増えた。ワンちゃんだ。田舎ではずっと外犬を飼っていたが、内犬として飼うのは初めて。壮絶な1か月だった。生後3か月だったが、糞をシートの上にするまではいいのだが、その後どうしても踏み散らかして、体中が糞まみれになっている。一日8回はしていただろうか。しかも下痢が続いたため、夜中も犬を洗う生活が続いた。ほとんどは家内がしていたのだが。1か月经ちやっとな落ち着いてきた今日この頃だ。家内曰く、「赤ちゃんより大変」と。(沖田)

* * *

前回の台風のこと、宮崎を直撃するかもとのことで、前日早々に休診を決めました。玄関他に本日休診を貼り、留守電を台風のため休診と切り替え、できる準備をして病院を閉め、明日1日をどう過ごすかと床に就きました。翌朝、雨風少し、でもテレビではこれから激しくなるおそれありと言っています。直感を信じ急ぎょ休診取りやめ、休みのつもののスタッフに連絡を取り、時間遅れで開始しました。その後の経過は普通でした。うーん、悩ましい。(西田)

* * *

新居に蒔ストーブを設置したので、冬に備えて休日に蒔を割っている。患者さんから頂いた大量の栗の丸太を割るのだが、30kg以上はありそうな丸太がゴロゴロ。斧で割れるのはせいぜい直径20cmまでで、それ以上のものはハンマーを振りかぶりクサビを叩き込んで割っている。割れた瞬間は楽しく汗だくなっているが、とても安全とはいえないので子供達は戦力外。もらった丸太を割り終わるまで孤独な戦いが続く予定である。(岡本)

* * *

「ある壺がいっぱいになるまで石をつめました。この壺は満杯でしょうか？答えはNOです。石の間に砂利を敷き詰めることができました。さて今度こそ壺は満杯でしょうか？答えはまたNOです。砂利の間に水を注ぐことができますから」

この話の解釈は様々ですが、個人的には「細かいものは後からで良い。自分にとって大きな意味を持つものから行うべし」という解釈が好きです。限りある学生生活、後悔しないよう過ごしていきたいものです。(川上)

* * *

大失敗です。自動車保険の更新のために、免許証を確認したら…期限が切れておりました。5年ぶりの免許更新で、この間に3回の引越しを行ったのですが、最後の1回で住所変更を失念していたために、免許更新のはがきが届いていなかったようです。無事故無違反の優良ドライバーのつもりでしたが、とんだ大失敗でした。この記事をお読みくださった皆様も、ご自分の免許証をご確認いただけますと幸いです。(枝元)

* * *

広報委員会の副担当理事として今回から参加することになりました。宮崎市内で眼科を開業して20年目になります。以前に広報委員を4年間勤めましたが再び関わるとは思いもよりませんでした。診療メモも今までに3回執筆させていただきましたが苦勞した覚えがあります。開業も長くなると日頃の診療が医師会によって支えられていることが分かります。会員の先生方のお役に立てればと考えています。(佐々木)

* * *

今 月 の ト ピ ッ ク ス

日州医談 医療版事故調査委員会設置

去る 6 月 18 日、国会で一括採決された 19 本の地域医療・介護総合確保推進法の中の一つとして、医療版事故調査委員会設置法が成立しました。医療事故の原因を解明し、再発防止に取り組むことに対して国民の誰も反対はないはずですが、では具体的にどのような組織・委員会が相応しいのかという点では、まだまだ国民的議論が必要のようです。今回の法律でも「とりあえず来年の 10 月に『医療事故調査制度』を設置するという制度の概要が決まっただけ」とのこと。ここに至るまでの歴史的背景と今後の展望について、濱田政雄副会長の解説です。

4 ページ

報告 第 159 回・160 回・161 回 県医師会臨時・定例代議員会および第 7 回県医師会総会

今月号は、代議員会と総会の報告が長々と続き少々取っつきにくかったでしょうか？しかし、じっくりと読み解いていただくと、この間の医師会活動の総括と今後の課題についての議論が、会長の交代を含めて粛々と進められていく様子が、ドキュメンタリー番組のように伝わってきます。

33, 39, 43, 46 ページ

報告 九州医師会連合会第 33 回常任委員会

この欄ではあまり取り上げない会議ですが、報告と協議の項目に「日本医師会理事(勤務医・女性医師)選出について」というのがあります。わかりづらい内容ですが、日医の理事を改めて見てみると女性医師が極端に少ないことがわかります。内閣府は「2020 年 30%」という目標で、近い将来、社会のあらゆる分野において、指導的地位に女性が占める割合を少なくとも 30% に引き上げるとしています。これに呼応して女性理事の特別枠を増やそうということだそうです。では宮崎県からこの枠で理事が誕生するのは... 46 年後ですね。

50 ページ

日 州 医 事 第 780 号 (平成 26 年 8 月号) (毎月 1 回 10 日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 0985-22-5118 (代) FAX 27-6550

<http://www.miyazakimed.or.jp/> E-mail office@miyazakimed.or.jp

代表者 河 野 雅 行

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 上野 満・副委員長 釜付 弘志、沖田 和久

委 員 篠原 立大、上園 繁弘、原尾 拓朗、上條 苑子

大野 妙子、西田 隆昭、岡本健太郎、川上 勲、枝元 真人

担当副会長 富田 雄二・担 当 理 事 荒木 早苗、佐々木 究

事 務 局 学術広報課 瀬戸山千春、久永 夏樹

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350 円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)